沖縄県公文書館年報

第 1 号

平成7年度～平成9年度

沖縄県公文書館

平成 11 年 3 月

1．沖縄県公文書館全景

2．開館テープカット（平成７年８月１日）

3　エントランスホール

4　講堂

5　展示室

6　閲覧室

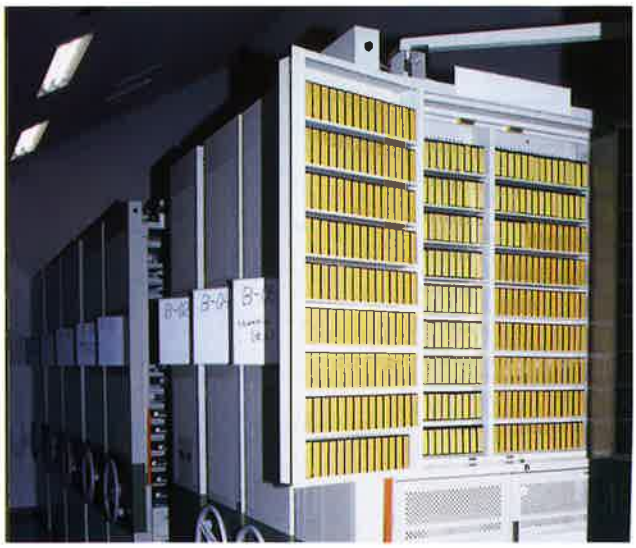
7　参考資料室

8　特別閲覧室

9　研修室

10　ミニシアター

11　特別保存庫



12　フィルム、テープ保管庫

13　中間書庫

14　製本補修室

15　琉球政府文書

16　沖縄県文書

17　収納されたUSCAR文書のマイクロフィルム

18　琉球関係中国档案資料

19　岸秋正文庫の沖縄県行政刊行物（明治～大正年間）

発 刊 に あ た っ て

沖縄県公文書館館長　**宮　城　悦二郎**

沖縄県は昭和47年の日本復帰時に琉球政府から厖大な琉球政府文書を引き継いだが、適当な保管施設が無く数カ所の施設に分散して保管していた。しかし、雨漏り等の被害があり公文書保管の専用施設である公文書館の早期設置が強く望まれていた。

また、毎年保存期限が切れ、廃棄される大量の沖縄県文書をどう保存するかの問題も抱えていた。

それから、戦後27年間沖縄を統治した米国民政府が作成、収集した文書や写真、映画フィルム等は米国の国立公文書館に保管されており、戦後の沖縄を研究するには特に重要な資料であるが、これを活用するにはわざわざ米国まで行かなければならない状態であった。

沖縄県は戦前まで多数の文化遺産を有していたが沖縄戦でその大半を失い、過去の歴史を証する記録資料は県外、特に中国に所蔵されている档案資料に求める状況にあり、沖縄研究に大きな障害となっていた。これらの懸案を解決するために、平成７年８月１日に沖縄県公文書館が設置された。

開館以後、琉球政府文書、USCAR文書、県文書、地域資料、映像・音声資料等を収集、整理してきた。

特に、沖縄戦で失われた記録資料の欠落を多少でも補うため県内外で精力的に収集活動を展開した。その結果、多くの方々の協力を頂き予想以上の速さで貴重な資料を数多く収集することができた。

琉球政府文書や沖縄県文書以外のもので、これまでに収集された文書等には、中国国家档案局の協力により収集した琉球王国時代の古文書（档案資料）、国立国会図書館と共同で米国立公文書館から収集している戦後の米国民政府統治時代の英文資料、福岡市に所在するRKB毎日放送株式会社が所蔵している沖縄関係映像資料等の複製がある。

これらの資料が県内外の学者や研究者はもちろんのこと、広く一般県民にも利用されるよう歴史資料の記録センターとして公文書館の存在をアピールするため、収蔵資料の企画展、公文書館講座、講演会、映写会、保存・修復講習会等を実施してきた。

公文書館を沖縄県の歴史資料の記録センターとして今後も積極的に資料を収集して恒久的に保存して、沖縄研究の拠り所としていきたい。

ここに年報の創刊号を発刊し、県民の利用に供したい。

目　　次

口　絵

発刊にあたって

概　要

1　設置目的…… 1
2　施設の概要…… 1
3　開館前後の記録…… 7
(1)　開館までの主要日誌…… 7
(2)　開館後の主要日誌…… 10
(3)　主な施設見学者…… 19
4　組織及び職員構成…… 24
5　予算・決算の概要…… 26
6　収蔵資料の概要…… 27
7　公文書館システム…… 28
8　閲覧業務…… 32
(1)　利用状況一覧…… 32
(2)　レファレンス…… 32
9　研修、調査、研究等…… 40
10　公文書館懇話会…… 41
11　出版事業…… 42
12　館内における物品販売…… 42
13　沖縄県公文書館感謝状贈呈者一覧…… 43

業務報告

1　資料の利用・閲覧業務の概要…… 44
2　資料の収集・整理業務の概要…… 44
3　保存・修復・マイクロ・電算業務の概要　… 45
4　普及業務の概要…… 45

（平成７年度）

写真による業務紹介…… 46
1　利用状況…… 48
(1)　利用状況一覧…… 48
(2)　特別利用…… 49
2　収集、整理業務…… 50
(1)　資料収集整理数…… 50
(2)　主な収集資料…… 51
(3)　琉球政府文書…… 52
(4)　沖縄県文書…… 52
(5)　USCAR文書 …… 53
(6)　地域資料…… 53
(7)　行政刊行物…… 55
(8)　地図・空中写真…… 58
(9)　映像・音声資料…… 58
3　保存・修復・マイクロ・電算関係業務… 59
(1)　資料保存・修復業務…… 59
(2)　燻蒸業務…… 60
(3)　マイクロ撮影業務…… 60
(4)　電算業務…… 61
4　普及啓発業務…… 61
(1)　開館記念特別事業…… 61
(2)　講座…… 62
(3)　講演会…… 62
(4)　市町村文書担当者研修会…… 62
(5)　簡易製本と保存容器の講習会…… 63

（平成８年度）

写真による業務紹介…… 64
1　利用状況…… 66
(1)　利用状況一覧…… 66
(2)　特別利用…… 67
2　収集・整理業務…… 68
(1)　資料収集整理数…… 68
(2)　主な収集資料…… 69
(3)　琉球政府文書…… 70
(4)　沖縄県文書…… 70
(5)　USCAR文書 …… 72
(6)　地域資料…… 72
(7)　地図•空中写真 …… 73
(8)　映像・音声資料…… 74
3　保存・修復・マイクロ・電算関係業務… 75
(1)　資料保存・修復業務…… 75

(2) 燻蒸業務…… 76
(3) マイクロ撮影・写真撮影業務…… 76
(4) 電算業務…… 77
4 普及啓発業務…… 77
(1) 開館一周年記念事業…… 77
(2) 講座…… 80
(3) 講演会…… 80
(4) 市町村文書担当者研修会…… 80

（平成９年度）
写真による業務紹介…… 81
1 利用状況…… 83
(1) 利用状況一覧…… 83
(2) 特別利用…… 84
2 収集・整理保存業務…… 86
(1) 資料収集整理数…… 86
(2) 主な収集資料…… 87
(3) 琉球政府文書…… 88
(4) 沖縄県文書…… 88
(5) USCAR文書 …… 90
(6) 地域資料…… 91
(7) 地図・空中写真 …… 91
(8) 映像・音声資料…… 92
3 保存・修復・マイクロ・電算関係業務… 92
(1) 資料保存・修復業務…… 92
(2) 燻蒸業務…… 93
(3) マイクロ撮影・写真撮影業務…… 94
(4) 電算業務…… 94
4 普及啓発業務…… 95
(1) 講座…… 95
(2) 講演会…… 95
(3) 講習会…… 95
(4) 資料保存講習会－図書の補修と製本－ … 96
(5) 展示会…… 96
(6) 映写会…… 96

付 録
関係法規…… 99
(1) 公文書館法…… 99
(2) 沖縄県公文書館の設置及び管理に関する条例……100
(3) 沖縄県公文書館管理規則……101
(4) 沖縄県行政組織規則……111
(5) 沖縄県文書編集保存規程……112
(6) 沖縄県公文書館県政文書収集基準……116
(7) 沖縄県公文書館運営懇話会設置要綱…117
(8) 財団法人沖縄県文化振興会組織規程…118
(9) 財団法人沖縄県文化振興会事務決裁規程 …122

概　　要

1　設置目的

沖縄県公文書館は歴史資料として重要な公文書その他の記録を収集し、整理し、及び保存するとともに、これらの利用を図り、もって学術及び文化の振興に寄与することを目的とする。

2　施設の概要

(1)　所 在 地　　南風原町字新川148番地の３

(2)　敷地面積　　11,935.00㎡

(3)　建築面積　　3,553.86㎡

(4)　規　　模　　延床面積　7,757.5㎡

管理部門（2,981.6㎡）書庫部門（3,235.2㎡）

共通スペース（1,540.7㎡）

書架総延長数約34km　　約49万箱収蔵可能（県保存箱　幅７cm）

構造　　地下１階、地上４階　鉄筋コンクリート造

(5)　施設の特徴

亜熱帯地方の高温多湿で塩害にさらされている沖縄は、資料の保存にとって厳しい環境であり、公文書館の立地は海岸や河川から比較的に離れ、水はけのよい高台であることを考慮して選定された。施設の外観は沖縄の各地に戦前まで多く見られた高倉の集落を装い、屋根は伝統的民家の赤瓦を約22万枚使用した寄せ棟造の大きな屋根で、雨水を早く流すように民家の屋根より勾配が（30度）やや急であるのが特徴である。

公文書館の建物は管理棟と閲覧展示棟からなり、閲覧展示棟の１階には講堂と展示室、２階には閲覧室と研修室等が配置されている。閲覧室にはミニシアター、ビデオブースが整備され、開館中自由に映像資料を見学することができる。管理棟には中間書庫をはじめ11の閉架式書庫と燻蒸室、荷解室、製本補修室、整理室、フィルム整理室、マイクロ撮影室、電算室がある。駐車場やピロティー付近には彫刻や焼き物、エントランスホール周辺の壁面には「琉球国王之印」「沖縄群島政府印」「沖縄民政府印」「琉球政府之印」「沖縄県知事」「琉球藩印」、管理棟の入り口壁面には江戸時代の初期に作成された琉球国を描いた正保国絵図のレリーフが設置され、館の雰囲気づくりに一役買っている。

館の設計で建設大臣賞受賞、建造物で建築業協会賞受賞、公共建築百選に選定されるなど注目を受けている。

(6) 主要設備

階数	主要室名（閲覧棟）	主　　要　　設　　備
1階	**エントランスホール**	利用者用案内パソコン　1台、沖縄の歴史電脳絵巻パソコン　1台
1階	**展　示　室**	展示壁面 59.6㎡、壁面展示ケース　4面、展示ケース（平台）11台、除湿機　1台、温湿度計　1台
1階	**講　　堂** 視聴覚機器室 (1)	ビデオプロジェクター　1台、OHP投影機　1台、天井吊りスピーカー　2台、自立型スピーカー　2台、オーディオミキサー　1台、ステージモニタースピーカー　2台、パワーアンプ　一式、デジタルマルチプロセッサー　1台、グラフィックコライザー　2台、CDプレイヤー　1台、ステレオカセットデッキ　1台、ワイヤレス受信機　一式、電源制御ユニット　一式、ワイヤレスマイクロホン　4本、タイピン型ワイヤレスマイクロホン　4個、LDプレイヤー　1台、BS内蔵SVHSビデオデッキ　1台、スライドプロジェクター　1台、16㎜、35㎜兼用映写装置　1台、照明調整卓　1式、除湿器　1台、スポット照明装置　1台
2階	**閲　覧　室** ミニシアター 検索機器 マイクロリーダー室 ビデオコーナー	36インチハイビジョンテレビ　1台、検索用パソコン　5台（利用者用3台）、モノクロレーザープリンター　4台（利用者用2台）、マイクロリーダープリンター　2台、マイクロリーダー　1台、コピー機　1台、ブックコピー機　1台、ビデオブース5台
2階	**閲　覧　室** AV調整室 休憩コーナー	VHS　ビデオデッキ　1台（ミニシアター用1台）、SVHS　ビデオデッキ　6台、（ミニシアター用1台）、ベータビデオデッキ　6台（ミニシアター用1台）、オーディオスイッチャー　6台（ミニシアター用1台）、ビデオモニター　6台（ミニシアター用1台）、利用者用案内パソコン　1台、沖縄の歴史電脳絵巻パソコン　1台
2階	**研　修　室** 視聴覚機器室 (2)	調整卓（オーディオミキサー、ビデオモニター）1式、オーバーヘッドカメラ　1台、ビデオプロジェクター　1台、スライドプロジェクター　1台、35㎜映写機　1台、SVHSビデオデッキ　1台、VHSビデオデッキ　1台、LDプレイヤー　1台、ダブルカセットデッキ　1台、CDデッキ　1台、アンプ機器　一式、天井吊りスピーカー　2台

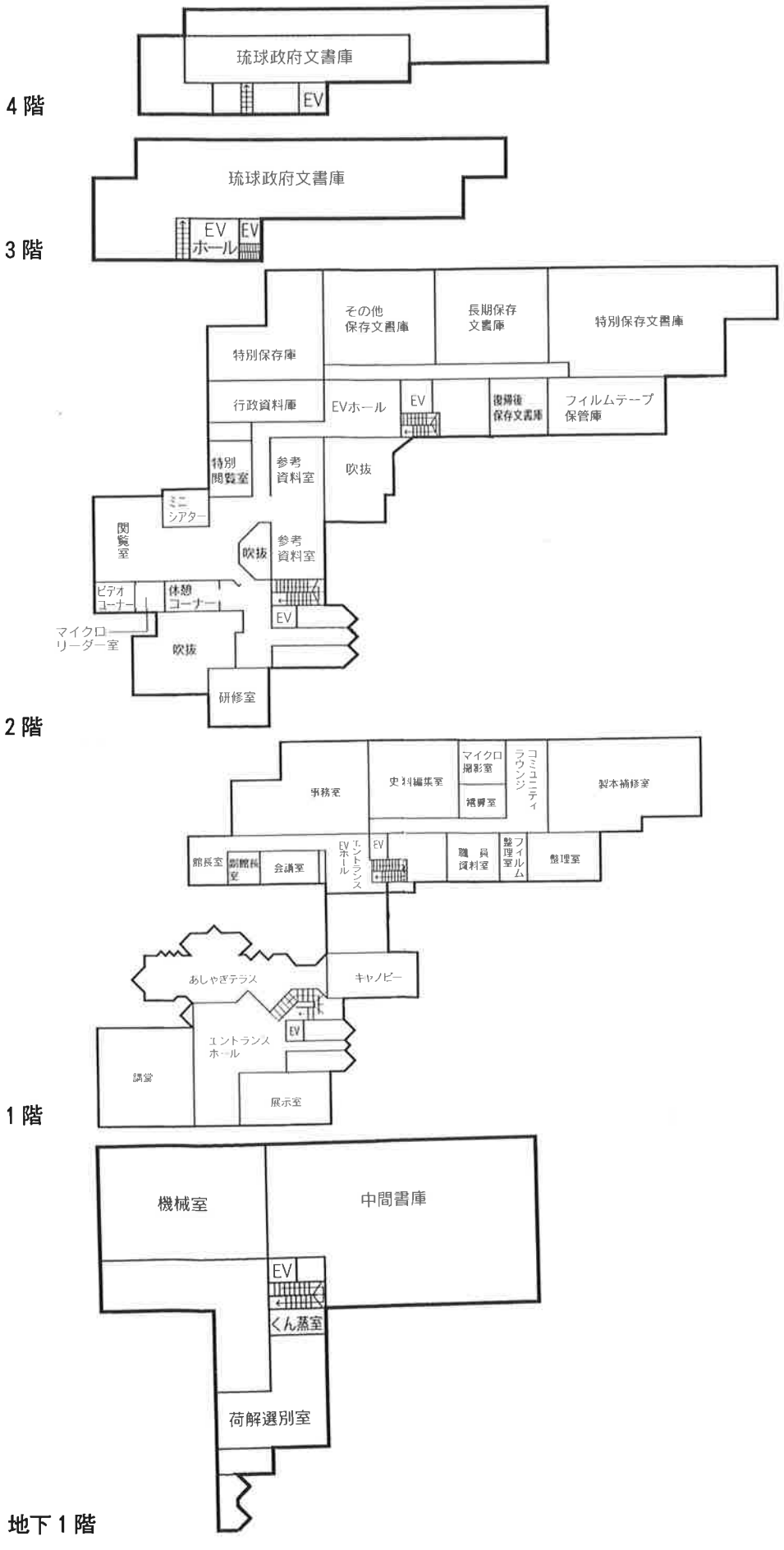
階数	主要室名（管理棟）	主　　要　　設　　備
地下	**荷解選別室**	ダスペット（集塵機）１台
地下	**燻　蒸　室**	減圧式燻蒸機
１階	**フィルム整理室**	館内サーバー 一式、ウェブサーバー 一式、CDオートチェンジャー １台、CDライター １台、カラーインクジェットプリンター １台、モノクロレーザープリンター ２台、イメージスキャナー １台、35㎜フィルムスキャナー １台、デジタルカメラ １台
１階	**フィルム整理室**	35㎜簡易テレシネ １台、16㎜簡易テレシネ １台、８㎜簡易テレシネ１台、16㎜ 清浄兼検査機 １台、16㎜フィルム編集機 １台、大型防湿庫 １台、ビデオデッキ（ベータカム１台、VHS３台)、ビデオプリンター １台、カセットデッキ １台、レコードプレイヤー １台
１階	**マイクロ撮影室**	16㎜マイクロ撮影機 １台、35㎜マイクロ撮影機 １台、35㎜ポータブルマイクロ撮影機 １台、マイクロフィルム自動現像機 １台、検査機器（スプライサー、顕微鏡等）一式、マイクロフィルム複製機 １台、マイクロ引伸ばし機 １台、マイクロ用大型自動現像機 １台、中型カメラ 一式、35㎜一眼レフカメラ １台、接写台 ２台、写真用引伸ばし機 １台、現像器具 一式、大型防湿庫 一台、マイクロリーダー機 １台、除湿機 １台
１階	**製本補修室**	軽印刷機 １台、自動紙折機 １台、筋付機 １台、自動丁合機 １台、自動製本機 １台、電動裁断機 １台、穿孔機 １台、卓上角丸切機 １台、押切裁断機 １台、紙締機（大、中、小）各 １台、ドラフトチャンバー １台、リーフキャスティングマシーン １台、電動プレス機 １台、検査機器一式、空中写真用反射実体鏡１台、透写台 １台、マイクロリーダープリンター １台、写真撮影用ストロボ装置 一式、除湿器 １台
地下 ～ ４階	**書　　庫**	スプリンクラー消火設備（文書保存庫)、二酸化炭素消火設備（特別保存庫、フィルムテープ保管庫）

(7) 沖縄県公文書館収蔵能力

階数	室名	書架総延長	冊数(7.0cm換算)	冊数(4.0cm換算)	冊数(2.57cm換算)※
地下1階	荷解選別室	103.8 m	1,483 冊	2,595 冊	4,039 冊
〃	中間書庫	7,589.4 m	108,420 冊	189,735 冊	295,307 冊
1階	職員資料室	635.775 m	9,082 冊	15,894 冊	24,738 冊
2階	行政資料文書庫	1,077.79 m	15,397 冊	26,945 冊	41,937 冊
〃	長期保存文書庫	1,811.31 m	25,876 冊	45,283 冊	70,479 冊
〃	その他保存文書庫	887.24 m	12,678 冊	22,187 冊	34,533 冊
〃	復帰後保存文書庫	498.24 m	7,117 冊	12,456 冊	19,387 冊
〃	選別保存文書庫	3,747.18 m	53,531 冊	93,680 冊	145,805 冊
〃	フィルム・テープ保存庫	3,670.409 m	52,434 冊	91,760 冊	142,817 冊
〃	参考資料室	550.8 m	7,869 冊	13,770 冊	21,432 冊
3階	琉球政府文書庫	10,629.12 m	151,845 冊	265,728 冊	413,584 冊
4階	琉球政府文書庫	2,868.55 m	40,979 冊	71,714 冊	111,617 冊
合計 ※※		34,069.864 m	486,712 冊	851,747 冊	1,325,676 冊

※2.57cmの根拠は、0.9mの棚に35冊の書籍を収めた場合の1冊当たりの厚みである。
※※合計の冊数は書架総延長の合計（34,069,864m）を直接換算cm（7.0cm、4.0cm、2.75cm）で割って得られたものであり、各室の収蔵冊数を加えて得られる数字と若干異なる。なお、ここにあげた冊数はすべて小数点以下第1位を四捨五入して得られた数字である。

(8) 各階の平面図


4階
琉球政府文書庫
EV
3階
琉球政府文書庫
EV
EV
ホール
2階
特別保存庫
その他
保存文書庫
長期保存
文書庫
特別保存文書庫
行政資料庫
EVホール
EV
復帰後
保存文書庫
フィルムテープ
保管庫
特別
閲覧室
参考
資料室
吹抜
ミニ
シアター
閲覧
室
吹抜
参考
資料室
ビデオ
コーナー
休憩
コーナー
EV
マイクロ
リーダー室
吹抜
研修室
1階
事務室
史料編集室
マイクロ
撮影室
補修室
コミュニティ
ラウンジ
製本補修室
館長室
副館長
室
会議室
EV
ホール
エントランス
EV
職員
資料室
整理室
フィルム
整理室
あしやぎテラス
キャノピー
EV
エントランス
ホール
講堂
展示室
地下1階
機械室
中間書庫
EV
くん蒸室
荷解選別室

(9) 造形物・レリーフリスト

番号	作品タイトル	制作年	制作者	形態／素材	サイズ	資料概説	作品所在
1	土の館	1995年	上條 文穂	テラコッタ	H2400×W3000×D800	いきとし生けるものの大地の館	玄関前広場
2	水平線	1995年	知念 良智	黒御影石	H1000×W3000×H800	ひとは水平線のかなたに昔を想い、そして明日を願う	〃
3	冬眠虫	1994年	砂川 泰彦	白御影石	H650×W3000×D650	時を越えて眠り続ける虫。次に目覚めるのはいかなる世か。	〃
4	ときの柱	1995年	儀保 克幸	黒御影石	H2700×W1100×D1100	大地は今を支える時空の柱	〃
5	太古の響き	1995年	上原 一明	白御影石	H2400×W1500×D1000	遺跡から出土する勾玉。古の祭事で謡曲の音が勾玉の形となって今大地にこだます。	〃
6	植物の実と昆虫	1995年	大嶺 音也	ブロンズ	H400×W400×D400	テラスに訪れる人の目を楽しませてくれる	アサギテラス
7	とり	1995年	吉田 俊影	ブロンズ	H620×W680×D250	〃	〃
8	ファニチャー彫刻	1995年	濱比嘉良裕	楠	H450×W2000×D620 H450×W2050×D450	彫刻として、また休憩の為のベンチも兼ねている	〃
9	雌雄の獅子（シーサー）	1998年	石川 喜進	焼き物（荒焼き）		閲覧棟に訪れる人を迎えてくれる	閲覧棟入口
10	琉歌のレリーフ			レリーフ		ニーチェの警句「汝の立つ所を深く掘れ、其には泉あり」を愛した伊波普猷が沖縄語に翻案した琉歌である。	公文書館玄関の閲覧棟付近
11	藁算のレリーフ	1995年	大嶺 實清	レリーフ		文字と算数の代わりに使用された藁の記標	閲覧棟（エントラスンホール）
12	琉球王府の印影	1995年	〃	レリーフ		琉球王朝時代の王府の印影のレリーフ	〃
13	琉球藩の印影	1995年	〃	レリーフ		1872年～1879年の間の琉球藩の印影	〃
14	沖縄諮詢会の印影	1995年	〃	レリーフ		1945年発足の機関	〃
15	沖縄民政府の印影	1995年	〃	レリーフ		1946年発足の機関	〃
16	沖縄群島政府の印影	1995年	〃	レリーフ		1950年発足。その他八重山、宮古、奄美に群島政府が組織された	〃
17	琉球政府の印影	1995年	〃	レリーフ		1952年～1972年の琉球政府の印影	〃
18	壺	1995年		焼き物		閲覧室階段に置かれたオブジェ	閲覧棟階段
19	ヒンプン	1995年		赤土焼成		裏面に万国津梁の鐘の文字が記されている	駐車場
20	公文書館の篆刻	1995年		久米島産輝石安山岩		沖縄県公文書館の篆刻	公文書館正門
21	正保国絵図	1995年		シルクスクリーン印刷		1644年、江戸幕府が薩摩に作成させた国絵図の複製。 原本は東大史料編纂所	管理棟入口ホール

3　開館前後の記録

(1)　設立までの主要日誌

昭和47年１月　琉球政府は、局長会議において「琉球政府公文書類の引継ぎ要領」を決定
５月15日　琉球政府公文書類は沖縄県文書学事課に引継ぎ、保管
昭和51年４月１日　沖縄県総務部文書学事課は琉球政府文書の整理を開始
昭和53年６月１日　琉球政府文書を民間企業に委託して整理作業を開始
昭和55年10月　県立文化センター答申検討委員会最終報告「文書館については、４施設のうち最初に着手し昭和57年度建築をめざすこと。」
昭和55年　県立総合文化センター準備室、文書館は県立図書館に併設する考えを表明
昭和56年４月１日　琉球政府文書が沖縄県文書管理保存所（旭町在）の施設と共に、管理・保管に関する一切の業務を沖縄県沖縄史料編集室に移管
昭和61年４月１日　沖縄県沖縄史料編集所、沖縄県立図書館史料編集室と名称を変更
昭和62年12月10日　公文書館法公布
昭和63年10月６日　公文書館法施行
第14回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会を沖縄県那覇市で開催（７日まで、会場、沖縄県立図書館）
平成３年12月19日　「沖縄県公文書館建設検討委員会」を沖縄県教育庁社会教育課に設置
平成４年１月21日　公文書館先進事例調査（広島県公文書館、愛知県公文書館、千葉県文書館、24日まで）
３月30日　沖縄県公文書館建設検討委員会、沖縄県教育長に「沖縄県公文書館基本構想」を報告（委員会５回開催、Ｂ５判21頁の報告書）
４月１日　沖縄県総務部文書学事課に公文書館建設担当として４人を配置
２日　沖縄県教育庁生涯学習振興課（元社会教育課）から事務引継
平成５年度公文書館関係予算（基本設計費等）16,965,000円を計上
５月20日　国立国会図書館政治史料課より「Shipping List of USCAR Records」複製本を受贈
８月18日　金城義夫南風原町長に公文書館建設の協力を依頼
25日　金城義夫南風原町長、県立公文書館建設の誘致要請
10月25日　佐久本副参事、仲田主査、英国・米国の公文書館を視察（11月12日まで）
12月８日　「公文書館設置検討協議会設置要綱」制定
18日　第１回公文書館設置検討協議会開催（委員９人）
平成５年１月13日　知事、公文書館建設位置を南風原町字新川在の沖縄県農業試験場用地と公表
16日　公文書館基本設計の指名業者24社（協同企業体で12社）に建築課が設計競技の説明会を開催（設計図の提出期限平成５年３月１日）
３月８日　沖縄県公文書館設計競技審議会開催
15日　基本設計競技当選作品について知事が公表、国建（株）、（株）エーアール・ジー協同企業体の作品を採用
31日　基本設計完了
４月１日　総務部文書学事課に公文書館建設班を設置
５月11日　知事事務引継書（昭和10年井野次郎知事）を宮城県庁より受贈、同書をマイクロ製本で10セット作成し、７月１日付で県内主要図書館に配布

平成５年５月14日　第２回公文書館設置検討協議会開催
９月30日　実施設計完了
10月１日　富永一也主任を採用、総務部文書学事課公文書館建設班に配置
11月12日　建築工事の入札、屋部土建、他４社の協同企業体落札
15日　第６回公文書館等職員研修会へ富永主任を派遣（19日まで）
12月17日　平成５年度第６回県議会（定例会）本会議で公文書館建築工事請負契約案が可決
平成６年１月17日　公文書館建築工事安全祈願祭（起工式）
建設用地所管換え（農業試験場より）
２月18日　電気・機械関係入札
23日　システム開発関係調査のため、仲田主査、富永主任を神奈川県、東京都、千葉県等の公文書館へ派遣（25日まで）
３月19日　宮城主幹、琉球関係史料提供依頼のため中国出張（中国国家档案局、中国第一歴史档案館、首都図書館、北京図書館、遼寧省档案館訪問、25日まで）
22日　小谷主査、台湾出張（25日まで）
４月１日　金城英子主事発令、仲田主査は首里高等学校へ転任
５日　上杉隆憲氏、上杉県令の「沖縄県日誌」等23冊を寄贈
５月23日　平成６年度第１回公文書館設置検討協議会開催（委員10名、特別参加１名、議題・公文書館システム開発の件）
６月１日　公文書館システム概要設計完成
８月29日　琉球政府文書簿冊目録を収受
９月３日　富永主任、米国スミソニアン協会公文書館で研修（平成７年１月27日まで）
22日　平成６年度第２回公文書館設置検討協議会
10月３日　久部良和子、中国語通訳・翻訳嘱託員で10月１日付採用
11月25日　コンピューターシステム開発契約
12月９日　棟上式
26日　第１回沖縄県公文書館仮称運営検討懇話会開催
平成７年１月４日　大湾ゆかり、公文書等整理嘱託員で採用
16日　吉元副知事、佐久本副参事、宮城主幹、開館記念特別展に展示する中琉関係档案史料借用交渉のため中国へ出張
30日　第２回沖縄県公文書館運営懇話会開催
２月24日　森田芳雄氏より「ラサ島陣中日誌」等32点を仮受贈
３月１日　吉嶺昭、公文書等整理嘱託員で採用
29日　大田昌秀県知事、公文書館視察
31日　コンピューターシステム開発委託契約成果品を納品
下記の事項が広報に登載
「かい」の指定及び沖縄県財務規則の一部改正
沖縄県公文書館の設置及び管理に関する条例
行政組織規則の改正
公文書館の建物が完成
４月１日　沖縄県公文書館職員が発令「津嘉山朝之館長（総務部次長兼任）職員８人（内公文書専

門員３人)、公文書嘱託員８人、賃金職員２人」

平成７年４月６日　津嘉山館長、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会の理事就任を承諾

18日　公文書館の引き渡し

19日　沖縄県庁１階の公文書館準備室より公文書館へ移転作業（20日まで）

28日　沖縄県地域史協議会総会へ職員６人を派遣

29日　琉球政府文書を沖縄県立図書館より搬入（30日まで）

５月１日　開館記念行事を業者に委託

２日　宮城喜代子氏より故宮城聰氏蔵書を受贈

９日　沖縄県立図書館史料編集室、公文書館へ移転

名嘉正八郎氏より沖縄関係資料38箱を受贈

15日　沖縄県立図書館史料編集室所蔵の沖縄県文書500箱を移管

沖縄県総務部文書学事課、沖縄県文書12,000箱を移管

沖縄県立図書館史料編集室、琉球政府文書約15万簿冊等を移管、同資料はコンピューター入力等の整理後、配架

18日　中国駐日大使館、国立国会図書館、外務省アジア局中国課、沖縄協会、国立公文書館を訪問、開館記念行事等の協力依頼（野里副館長、宮城資料課長）

25日　嵩原菊氏より故嵩原久男氏蔵書49箱を受贈

26日　琉球政府文書書庫の燻蒸作業実施

27日　間好子氏より16ミリ映画フィルム「山原街道」「月代物語」を受贈

琉球大学教授安次富長昭氏より16ミリ映画フィルム「明日を導く人々」を受贈

６月15日　法政大学沖縄文化研究所より地域資料102冊を受贈

16日　沖縄県公文書館落成式挙行

19日　公用車購入

20日　国立国会図書館政治史料課長渡辺樹氏、来館、USCAR文書のマイクロ化について懇談

森田芳雄氏より「ラサ島守備隊陣中日誌」15冊を受贈（贈呈式、知事室）

27日　金城辰也氏より映画フィルム「執念の毒蛇」(16ミリ昭和７年製作)、同台本、ポスター等を受贈

29日　東京在の宮永次雄氏より奥武山捕虜収容時代の「歌集南海」「歌友録」の原本を受贈

７月１日　大湾ゆかり、修復士として採用

５日　日本学術会議関係者20人、原資料借用の件で来館

10日　宮城資料課長、久部良専門員、展示資料の借用のため中国へ出張

18日　修復室にリーフキャスティングマシンを設置

20日　マイクロ撮影室にマイクロ機器の設置

23日　館長に元琉球大学教授・宮城悦二郎氏（沖縄県立芸術大学教授兼任）を発令

31日　閲覧室、講堂等の備品を整備

沖縄県公文書館資料のデータベース作成及び入力等の作業を実施

沖縄歴史関係ビデオを製作「ニライ・かなの城大冒険」「５年１組の護佐丸と阿麻和利」「万国津梁の国」「阿麻和利」「世替りの国」各30分

(2) 開館後の主要日誌

平成７年８月１日　沖縄県公文書館が開館、開館式を挙行す、開館を記念し特別展、記念講演会、講座等のを開催
沖縄県公文書館管理規則を公布、施行
開館と同時にコンピュターシステムが稼働
沖縄県公文書館開館記念特別展「清代中国•琉球関係档案史料展目録」発行
２日　公文書館が一般公開、閲覧サービス開始
４日　中国第一歴史档案館より清代の中国琉球関係档案史料（レプリカ）197点を受贈
シンポジウム「沖縄歴史情報研究の課題」を沖縄歴史情報研究会と共催
14日　展示史料の返却のため、宮城館長、宮城資料課長、中国へ出張
25日　県生活福祉部援護課より文書を引き継ぐ
９月４日　財団、社団法人、公社等39団体へ行政刊行物の寄贈依頼
６日　熊本県で開催の著作権研修会に金城主事、垣花専門員を派遣
７日　県広報課より沖縄戦後50周年写真展の写真パネル200点を引き継ぐ
11日　宮城資料課長、砂川主査、千葉県文書館を視察、（13日まで）
県広報課より写真パネル202点を引き継ぐ
26日　地域史協議会との懇談会を開催
27日　沖縄県公文書館開館記念事業報告書発行
28日　松岡実氏、松岡啓氏より元琉球政府行政主席故松岡政保氏関係資料を受贈
10月４日　国立国会図書館にUSCAR文書のマイクロ化について協力を要請
石垣市で開催の地域史協議会に富永専門員を派遣（６日まで）
７日　中国第一歴史档案館創立70周年記念式典に宮城館長、宮城資料課長が招待され参加（10日まで）
16日　宮城館長、故比嘉太郎氏蔵書の受贈のため米国ロスアンゼルスへ出張（22日まで）
19日　沖縄県公文書館の設計で国建（株）、エーアール・ジー共同企業体が建設大臣賞を受賞
30日　東京で開催の国立公文書館研修（11月10日まで）に大湾修復士、広島県で開催の史料管理学研修会（11月11日まで）に垣花専門員を派遣
31日　県文書（約13,300箱）のコンピュター入力、バーコードの貼付等業務が完了
翁長良明氏より戦前の小学校の教科書等を受贈
11月１日　源河葉子、外国語翻訳嘱託員として採用
ロイ・ケイ・ナカダ法律事務所の浅倉孝氏より琉球現行法規総覧を受贈
14日　和歌山県で開催の全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会に富永専門員を派遣（17日まで）
17日　ハワイの移民研究家故比嘉太郎氏関係資料608点を受贈、子息のアルビン比嘉氏へ感謝状を贈呈
28日　八重山支庁より戦前の公文書を含む資料32簿冊を引き継ぐ
12月４日　マカオで開催された東アジア公文書館会議（EASTICA総会、８日まで）に宮城館長、砂川主査が出席
８日　平良梅子氏より元沖縄県知事故平良幸市氏の関係資料を受贈
11日　東京で開催の情報公開研修会に野里副館長、石川嘱託員を派遣（12日まで）

平成７年12月12日　沖縄県対米請求権事業協会より琉球政府時代の公文書等93箱を引き継ぐ
18日　海外の沖縄県人会長あて資料の寄贈依頼を送付
古典籍等修復専門家の当間博氏、修復を指導
22日　労働省沖縄婦人少年室より琉球政府文書17箱を引き継ぐ
平成８年１月９日　第１回公文書館運営懇話会を開催
23日　沖縄県東京事務所より行政刊行物等資料358点を引き継ぐ
24日　製本講習会（講師、国立国会図書館資料保存課大竹氏）を開講
25日　公文書館講座（第１回目、講師、宮城館長）を開講（３月28日まで全10回）
19日　県福岡事務所で宮城資料課長、富永専門員、資料調査
20日　講演会を開催、講師は森田芳雄元ラサ島守備隊長、また、同氏よりラサ島日誌を受贈、感謝状を贈呈
全国歴史資料保存利用機関連絡協議会役員会が埼玉県で開催、宮城資料課長、上地副主査、富永専門員を派遣
21日　全国公文書館実務担当者会議（東京）に富永専門員を派遣
陶芸家の石川喜進氏より陶器製のシーサーを受贈、感謝状を贈呈
31日　（沖縄県公文書館だより）第１号発行
３月３日　嵩原菊氏より故嵩原久雄氏蔵書1,329点を受贈
４日　上里安儀氏より水道公社・企業局関係資料を受贈
喜納馨氏より宮森小学校ジェット機墜落関係等８ミリ映画フィルム７点を受贈
８日　宮城喜代氏より故宮城聡氏蔵書2,288点を受贈
沖縄県町村会会長比嘉茂政氏より刊行物137点を受贈
11日　八重山支庁より「琉球政府八重山支庁閉庁及び沖縄県八重山支庁開庁」関係資料を引き継ぐ
門奈直樹氏より沖縄関係資料1,051点を受託
12日　第１回市町村文書担当者研修会を開催
18日　重住豊氏より久米島切手（１葉）等を受贈、感謝状を贈呈
県平和推進課より「沖縄からのメッセージ」関係パネルを受贈、及び受託
21日　日本新聞協会より資料210冊を受贈
28日　鹿児島県立図書館奄美分館あて資料（領収書綴、資料NO0210289450）の利用許可申請、４月５日付で許可
30日　米国のクロイド・クリストマン氏（牧師1953年～1957年沖縄滞在）から資料の提供申し入れがあり、今帰仁村歴史資料館を紹介
31日　元琉球政府行政主席大田政作氏より資料13冊を受贈
４月１日　財団法人沖縄県文化振興会へ沖縄県公文書館の資料収集、整理、活用等の業務の一部を委託、沖縄県文化振興会公文書館管理部を新設。沖縄県立図書館県史編集室が同部へ配置される、照屋善次郎参事監、伊野波進参事監、山城平士郎参事監、新里光雄参事が公文書館付で発令、また、副館長兼総務課長野里葉子の移動により喜納健勇が副館長兼総務課長併任公文書館管理部長、宮城資料課長併任資料第１課長、宮城資料第２課長、具志堅主査、仲地、宇江城、豊見山、源河の４専門員、嘱託員28人、賃金職員１人を発令
新任嘱託員のオリエンテーション

平成８年４月１日　奄美博物館より奄美関係資料19点を受贈
３日　吉元政矩副知事視察
６日　今日より土、日曜日開館、月曜日閉館
10日　稲嶺盛保氏より「ハワイ沖縄県人一世の録音テープ15本」と浜田庄司作の茶碗「塩釉繪鉢」を受贈
11日　沖縄県国際事業団より移民及び国際協力関係16ミリ映画フィルム118巻を受託
12日　北米沖縄県人会顧問宮城次夫氏より「救援ニュース」等を受贈
13日　琉球大学教授我部政明氏よりGHQ／SCAP文書のマイクロフィルム２千枚余を受贈
22日　米国のクリス・ピアス氏より「琉球の歴史」の著者ジョージ・Ｈ・カー氏（故人）関係資料30箱を受贈
26日　生活福祉部援護課より陸軍兵籍簿54箱、土木総務課、工事台帳１箱を引き継ぐ
５月４日　粕谷眞敬氏より富名腰儀珍空手演技記録９ミリ映画フィルム等を受贈、感謝状を贈呈
８日　伊野波参事監、喜納副館長、宇江城専門員、海洋博覧会記念公園管理財団で海洋博関係資料の調査
13日　県行政情報センターの協力を得て、情報公開・個人情報保護条例説明会を公文書館職員対象に開催
14日　宮城館長、宮城資料第１課長、東京（国会図書館、東大史料編纂室、大田政作氏宅）へ出張（17日まで）
16日　宮城館長、宮城資料第１課長、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会役員会へ出席
20日　社団法人日本新聞協会より八重山毎日新聞等1,128冊を受贈
27日　第２回公文書館運営懇話会を開催
29日　琉球大学名誉教授安次富長昭氏より16ミリ映画フィルム「明日を導く人々」を受贈、感謝状を贈呈
６月７日　仲地専門員、石川市で宮森小ジェット機墜落事故関係を調査
10日　全国公文書館会議（秋田県）へ宮城館長、宮城第２課長出席
11日　アーカイブズ（沖縄県公文書館だより）第２号発行
17日　琉球大学付属図書館へ資料（Press & Publication CI & US CAR Jan 1954）の撮影許可願いを申請、７月３日付で許可、同時に資料　（ジョージ・Ｈ・カー琉球の歴史）の寄贈依頼を申請
19日　外務省外交史料館長、外務大臣官房総務課長へ資料の複写、撮影展示願、利用申請
７月１日付けで外務大臣官房総務課外交史料館長より「史料の撮影及び展示会への出陳について」承諾の回答
21日　那覇出版社代表　多和田真重氏より沖縄記録写真集113冊を受贈、感謝状を贈呈
22日　財団法人沖縄協会会長小玉正任氏より沖縄関係図書163点及び映画「沖縄」「琉球の風物・琉球の民藝」を受贈、感謝状を贈呈
27日　文書学事課主催の沖縄県文書主管課担当者会議を当館で開催
７月１日　アーカイブズ（沖縄県公文書館だより）第３号発行
３日　伊野波参事監、喜納副館長、東京へ出張
４日　文書学事課より平成８年度廃棄文書3,323箱を引き継ぐ
12日　USCAR文書のマイクロ化計画のため国立国会図書館へ職員の派遣を依頼（８月１日～

3日)、国立国会図書館政治史料課長渡辺樹氏、来館

平成8年7月15日　宮城信勇氏より地域資料67点を受贈

20日　宮城館長、広島県へ出張（22日まで）

25日　宮良長安氏より行政刊行物、地域資料を受贈

31日　国吉昇氏より地域資料等31点を受贈

8月1日　開館一周年記念式典、懇親祝賀会を開催、元沖縄県知事故平良幸市氏夫人平良梅子氏他12人の資料寄贈に対して感謝状を贈呈

2日以降開館一周年記念行事として映像祭、館内ツアー、保存箱教室、特別講座、特別講演を開催

元琉球大学教授久場政彦氏より蔵書を受贈

開館一周年記念特別展　「琉球政府の時代－図録－」発行

4日　県内各市町村、公共機関、学校、個人あて資料の寄贈依頼を送付

14日　沖縄協会調査広報課長河野忍氏より地域資料80冊を受贈

17日　伊知秩雄氏、初子氏より資料を受贈

19日　元沖縄県知事屋良朝苗氏より蔵書を受贈

21日　与那原町教育委員会より日本占領関係資料マイクロフィッシュ35枚を受贈

22日　照屋栄一氏より沖縄関係資料862冊を受贈

26日　米国国立公文書館映像部長あて同館収蔵沖縄関係映像資料（資料分類第260号のUSCARコレクション）の寄贈を依頼、8月29日付で映像音声課長ディヴィッド・R・ケプリー氏あて受贈条件を報告、9月16日付けで副館長マイケルJ．カーツ氏から寄贈依頼に対する承諾の回答、米国国立公文書館の指示により平成9年1月7日付で寄贈申込書を送付

宮城第2課長、広島へ出張（27日まで）

吉嶺嘱託員、他府県公文書館のマイクロ業務の調査のため東京、群馬へ出張（28日まで）

9月4日　（財）沖縄国際海洋博覧会協会関係資料移管の調整のため仲地専門員、宇江城専門員、本部町へ出張

6日　海洋博覧会記念公園管理財団理事長中山普氏あて（財）沖縄国際海洋博覧会協会関係資料の移管を依頼、9月11日付で移管承諾の回答

9日　宮城館長、豊見山専門員、国会図書館とUSCARプロジェクトの調整のため東京へ出張（11日まで）

10日　仲地専門員、糸満市の上原実氏宅で沖縄関係資料の調査

11日　（財）沖縄国際海洋博覧会協会資料を海洋博覧会記念公園管理財団より移管

13日　沖縄県総務部文書学事課から保存期間の満了した各課保管文書395箱を受入

14日　中間書庫燻蒸（16日まで）

22日　宮城館長、豊見山専門員、米国国立公文書館を表敬、サンフランシスコでレイモンド阿嘉氏所有資料、ホノルルで比嘉太郎氏関係資料の調査（10月3日まで）

10月2日　上野村で開催の沖縄県地域史協議会へ仲地専門員を派遣

3日　鹿児島県立図書館奄美分館あて沖縄関係資料（臨時北部南西諸島政庁公報・復刻版等）の寄贈依頼

9日　故宮城聡氏蔵書寄贈に対して宮城京子氏へ感謝状を贈呈

14日　宮城資料第1課長、東京へ出張

平成８年10月16日　記録史料の情報資源化と記録管理学の体系化に関する研究会（第１回）開催へ富永専門員を派遣（東京、18日まで）

17日　元参議院議員喜屋武真栄氏宅で同氏関係資料の受贈の調整、宮城第１課長、仲地専門員、21日に受贈

18日　雨宮和子氏より大正期の尋常小学校国語読本11冊を受贈

22日　第22回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会、秋田県で開催、仲地専門員、垣花専門員を派遣

レイモンド・Y・阿嘉氏より資料80冊を受贈

沖縄県総務部文書学事課の公文書館移管文書返還請求を受け、８課の公文書210箱を返還

沖縄県議会図書室より「今日の琉球」42冊、「守礼の光」46冊を受入

沖縄県生活福祉部援護課よりマイクロフィルム化による資料収集のため「戦時遭難船舶関連英文資料」１箱を借用

29日　北根豊氏より北根豊蔵書93箱を受贈

東京大学法学部付属近代日本法政史料センター明治新聞雑誌文庫より九州の新聞169箱を受贈

仲松江美氏より資料36箱を受贈

11月４日　東京大学東洋文化研究所主催のシンポジウム（東京）へ宮城資料第１課長、富永専門員を派遣（招待参加、５日まで）

７日　沖縄県立図書館あて資料（八重山関係新聞マイクロフィルム1945年～1980年等）の借用依頼、11月28日付けで許可、129リールを複製

照屋善助氏より沖縄関係刊行物34点を受贈

沖縄県公文書館USCAR資料分類表を作成

18日　国立公文書館主催第９回公文書館等職員研修会に豊見山専門員を派遣

27日　宮城館長、宮城資料第１課長、東京で故岸秋正氏蔵書を調査（29日まで）

28日　照屋参事監、宮城資料第１課長、東京で沖縄協会関係文書を調査

29日　東京で開催の記録資料保存研究会等に大湾修復士を派遣（12月８日まで）

12月３日　座間味津留氏より座間味庸真氏蔵書を受贈

５日　喜納副館長、東京で開催の全国歴史資料保存利用機関連絡協議会役員会へ出席（７日まで）

平成８年度公文書館講座を開講（２月27日まで10回）

９日　USCAR関係者カール・エル・バーツ博士、他33名へ資料の寄贈依頼

10日　市町村文書実務担当者研修会を開催

16日　金城功沖縄県公文書館運営懇話委員（沖縄大学教授）、仲地主任専門員、東京で故岸秋正氏蔵書の搬出作業を確認

18日　福岡市のRKB毎日放送、沖縄県福岡事務所、福岡県立図書館で沖縄関係映像資料の調査、仲地主任専門員（20日まで）

平成９年１月１日　仲本和彦、外国語翻訳嘱託員として採用

17日　岸朝子氏より亡夫、岸秋正氏の蔵書を受贈、感謝状を贈呈

蔵書寄贈を記念に岸朝子氏を講師に講演会「沖縄と私」を開催

琉球政府文書の保存状態調査を委託で実施

平成９年１月27日　知念ツル子氏より元琉球政府副主席故知念朝光氏関係資料を受贈

２月４日　県議会総務企画委員会が当館を視察

６日　元沖縄市長大山朝常氏の沖縄関係図書等265点の寄贈とオーラルヒストリーの協力に対し感謝状を贈呈

11日　照屋参事監、出張（14日まで）

16日　喜納副館長、宮城資料第１課長、中国へ出張

17日　香港で開催の東アジア公文書館会議（EASTICA）主催のワークショップへ宮城館長、豊見山専門員、出席

18日　埼玉県公文書館で開催の全国歴史資料保存利用機関連絡協議会役員会へ宮城資料第２課長、出席

比嘉正憲氏より米国法律関係図書81冊を受贈

19日　本部町立博物館で仲宗根源和蔵書の現況調査、伊野波参事監、仲地専門員

20日　アーカイブズ（沖縄県公文書館だより）第４号発行

26日　山城参事監、新里参事を東京、群馬県へ派遣

28日　宮城資料第２課長、源河専門員を資料調査のため米国へ派遣（３月14日まで）

陶芸家の石川喜進氏より陶製シーサー雌雄１対を受贈、感謝状を贈呈

３月３日　伊野波参事監、金城主事、東京へ出張

５日　第５回都道府県・政令指定都市公文書館実務担当者研修会に垣花専門員を派遣

11日　富永専門員、本永主査を公文書館システム調査のため東京都立公文書館、神奈川県立公文書館へ派遣

宮城資料第１課長、豊見山専門員、垣花専門員、宮古、八重山両支庁で行政資料を収集

14日　米国在住の湧川勢津子氏より資料99冊、その他７人から37冊を受贈

17日　宮城館長米国へ出張（28日まで）

19日　沖縄タイムス社あて「沖縄タイムスマイクロフィルム1948年～1995年579リール」の複写許可を申請

八重山家畜保健衛生所より保管文書９簿冊を受入

24日　八重山支庁振興総務課より保管文書41簿冊を受入

25日　講演会「文書管理と情報公開」を開催、講師、広田傳一郎氏（シオン短期大学教授）

各部局総務課長、各支庁振興総務課長、出納事務局会計課長あて沖縄県公文書館県政文書収集基準の制定を通知

27日　大阪の各放送局で沖縄関係映像資料の調査、仲地主任専門員（29日まで）

28日　沖縄県監査委員事務局より保管文書52冊を収受

31日　照屋善次郎、山城平士郎、両参事監が退職

東京大学史料編纂所あて資料（島津家文書）のマイクロフィルム複製について依頼し、平成９年６月17日承認の回答を得る

山城進氏より地域資料22点を受贈

４月１日　宮城資料課長併任資料第１課長の転任、佐久川資料課長併任資料第２課長、仲地主任専門員、富永主任専門員、嘱託員28人、賃金職員１人を発令

３日　特別講演会「沖縄と私～屋良先生の思い出～、講師、末次一郎氏（末次事務所新樹会代

表幹事）

平成９年４月16日　宮城資料第１課長、佐久川資料第２課長、源河専門員、国立国会図書館、国立公文書館、東京都公文書館、神奈川県立公文書館を視察

25日　稲嶺盛保氏より地域資料を受贈

５月15日　復帰25周年記念映像資料上映会開催（月１回11月まで）
沖縄県祖国復帰協議会関係資料の受贈式、覚え書きを締結し、同資料の全てを受贈

19日　全国歴史資料保存利用機関連絡協議会役員会（神奈川県）に宮城資料第１課長、佐久川資料第２課長を派遣

21日　琉球石油株式会社で故稲嶺一郎氏関係資料の調査を実施

26日　建設工事瑕疵検査を実施

29日　具志川市で開催の沖縄県視聴覚ライブラリー協議会へ仲地主任専門員を派遣

６月13日　全国公文書館長会議（東京）へ喜納副館長を派遣

16日　沖縄県八重山支庁より琉球政府公文書16簿冊を受入
沖縄県宮古支庁より琉球政府公文書199簿冊を受入

17日　元琉球大学教授米須興文氏よりトール・ヤマナカ氏関係沖縄戦後写真47件を受贈

23日　出版物掲載許可申請に関する取扱状況について他都道府県公文書館10館に電話による調査を実施、結果を作成

26日　第３回沖縄県公文書館運営懇話会を開催

30日　アーカイブズ（沖縄県公文書館だより）第５号発行

７月１日　仲本和彦、公文書専門員として採用

２日　沖縄県立首里高等学校より沖縄関係図書701冊を受贈

３日　沖縄県生活福祉部県民生活課より琉球政府公文書11簿冊を受入

15日　稲嶺恵一氏より元参議院議員故稲嶺一郎氏関係資料162箱を受贈

17日　県文書を１号書庫に搬入し、書庫燻蒸

28日　沖縄県八重山支庁より琉球政府公文書144簿冊を受入

８月１日　特別展「岸秋正文庫の世界」を前期（１日～24日）、後期（８月30日～９月28日）開催、「特別展沖縄へのまなざし岸秋正文庫の世界」発行
大城博光、公文書整理嘱託員として採用

８日　宮城館長、東京へ出張（10日まで）

17日　第２回保存箱教室を開催

24日　概算要求資料作成の調査・収集のため砂川主査を米国へ派遣

26日　特別整理日（29日まで）

９月１日　中国（南京、北京）へ久部良専門員を派遣（９月10日まで）
沖縄県総務部文書学事課から県文書１，103箱を受入

３日　日本テレビ、国立近代美術館フィルムセンター、放送番組センターで沖縄関係映象資料の調査のため東京へ仲地主任専門員を派遣（４日まで）

４日　沖縄県教育庁保健体育課より海邦国体関係書類、写真集、映画フィルム等60箱を引受継ぐ

９日　全国歴史資料保存利用機関連絡協議会役員会（長野県更埴市）へ宮城館長、佐久川資料第２課長が出席

平成９年９月16日　八重山支庁の行政文書資料調査、宮城資料第１課長、豊見山専門員
17日　視聴覚ライブラリー研修会（名護市）へ仲地専門員を派遣
10月１日　著作権研修会（福岡市）へ豊見山専門員を派遣（３日まで）
宮城館長、石垣市へ出張
５日　岩手県で地域資料の調査を実施するため伊野波参事監を派遣（10月７日まで）
14日　東京都で開催の東アジア公文書館会議に喜納副館長を派遣
国文学研究資料館史料館研究会に富永主任専門員を派遣
20日　アーカイブズ（沖縄県公文書館だより）第６号発行
27日　北京で開催の第４回中国琉球歴史関係検討会に喜納副館長と佐久川資料第２課長を派遣
11月10日　国文学研究資料館史料館の短期研修会が当館で開催（15日まで）、当館から講師に宮城館長、仲本専門員、富永主任専門員、豊見山専門員
11日　全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会が香川県で開催、佐久川資料第２課長、具志堅主査、金城主任、久部良専門員、垣花専門員を派遣
15日　欧州公文書館視察、宮城館長・富永主任専門員
17日　国立公文書館主催の公文書館職員等研修会に仲地主任専門員を派遣（22日まで）
ショーン・バーリントン・クィン女史、アシュレイ・エリン・クィン女史より安次嶺ミキ関係資料を受贈、感謝状を贈呈
21日　沖縄県総務部職員厚生課より昭和18年沖縄県職員録等を受入
12月１日　沖縄県県議会図書室所蔵の琉球政府公報（昭和27～昭和47年）マイクロフィルムを借用し、複製フィルムを作成
11日　国文学研究資料館史料館研究会に富永主任専門員を派遣（13日まで）
13日　重点領域研究「沖縄の歴史情報研究」総括班研究会に当館講堂を提供する
16日　宮古、八重山資料調査、豊見山専門員（17日まで）、久部良専門員（19日まで）
17日　東京で河村只雄「南方文化の探究」関係資料、日経映画社、日経新聞所蔵沖縄関係映画、写真資料調査のため仲地主任専門員を派遣（20日まで）
19日　沖縄県宮古支庁より保管文書13簿冊を受入
平成10年１月12日　基地対策室資料の整理業務を荷解選別室で開始
16日　琉球政府文書の整理について状況報告及び検討
19日　ハワイ移民の湧川盛栄氏関係資料の調査、喜納副館長、比屋根照夫公文書館運営懇話会委員長、豊見山専門員（26日まで）
20日　資料保存講演会「図書の補修と製本」を開催
21日　東京で開催のエグゼクティブセミナーに富永主任専門員を派遣
22日　公文書館講座「戦後沖縄文化の諸相」を開講（３月12日まで全８回）
23日　スミソニアン公文書館首席アーキビストのアラン・ベエイン氏、来館
27日　USCAR文書収集事業の記者会見
２月２日　東京で琉政文書の調査のため伊野波参事監、久部良専門員を派遣（４日まで）
９日　国立国会図書館所蔵の沖縄毎日新聞の大正３年１月～12月をマイクロフィルムで収集するため複写申請
10日　広島大学名誉教授小林芳規氏、他２人、４号書庫の岸文庫で角筆調査
13日　「琉球政府行政機構変遷図1952.4.1～1972.5.14」発行

平成10年２月16日　名護市で開催の沖縄県視聴覚ライブラリー研究集会並びに映画祭に仲地主任専門員を派遣

19日　全国歴史資料保存利機関用連絡協議会役員会のため21日まで東京へ出張（宮城館長、佐久川資料第２課長）

外務省外交史料館収蔵の類聚琉球入貢諸例等をマイクロフィルムで収集するため青森県立図書館、外務省外交史料館、勝連町南風原公民館、沖縄県立図書館へ複写許可申請

３月１日　アーカイブズ（沖縄県公文書館だより）第７号発行

４日　国立公文書館主催第６回都道府県・政令指定都市公文書館実務担当者会議（東京）に豊見山専門員を派遣

６日　NTT沖縄支店より地域資料等604冊を受贈

９日　資料保存シンポジウム（東京）に大湾修復士を派遣

13日　講演会を開催、講師は神奈川県藤沢市立公文書館館長高野修氏

沖縄県地域史協議会の研修会のため講堂を提供

16日　東京のNHK放送局や映画製作会社等で沖縄関係映画フィルムの所在調査に玉城公文書館懇話委員、仲地主任専門員を派遣

琉球大学付属図書館へ宝玲文庫の複製許可の申請

沖縄県立図書館へ宝玲文庫マイクロフィルム91本の借用の申請

20日　河村望氏より父の河村只雄「南方文化の探究」関係資料（８ミリ映画フィルム等）を受贈、感謝状を贈呈

31日　「沖縄県公文書館研究紀要」創刊号を発刊

「琉球列島米国民政府ニュース・リリース及び関連資料目録」発行

「琉球水道公社文書目録」発行

「GHQ／SCAP文書目録」発行

(3)　主な施設見学者

平成７年９月７日　各国大使夫妻44名、他、国内外から多数来館
10月25日　福岡県情報公開審査会一行
11月２日　新潟県副知事一行　11名
16日　ハワイ州知事
20日　ボリビアサンタクルス州副知事
21日　ブラジル南マ州観光局、局長一行　５名
平成８年２月16日　熊本県政情報室　２名
23日　大阪府公文書館、館長
27日　香川県文書館、菅谷係長、他
28日　香港教会档案館　２名
３月13日　国立国会図書館、後藤氏　１名
14日　埼玉県公文書館、職員　３名
19日　群馬県公文書館、職員　２名
東京都公文書館、職員　１名
25日　植木元沖縄開発庁長官
中国第一歴史档案館、副館長
４月５日　沖縄開発金融公庫、理事長
８日　東京大学吉田伸之助助教授　１名
10日　読谷村文化財調査審議委員曽根信一氏　１名
11日　沖縄開発政務次官森田健作氏一行　８名
12日　沖縄県総務部平和推進課、職員一行　８名
５月８日　ローラーサマティン氏　１名
10日　沖縄県都市収入役会、会長那覇市収入役、他　29名
14日　沖縄県立教育研究センター、国語研究室研究員一行　６名
15日　那覇市保健センター　60名
16日　琉球銀行一行　３名
17日　東京都総務局、福永正通総務次長、他　２名
温新会、代表者仲田善明氏、他　14名
具志頭村後原婦人学級、代表者平仲初江氏、他　20名
平成８年５月18日　真和志農業協同組合、産業視察一行　80名
24日　南部地区都市計画事業研究会、会長大城徳次郎氏、他　45名
29日　沖縄県立普天間高等学校図書委員会　22名
沖縄公庫運営協議会、岩尾一委員長、他　７名
６月６日　沖縄開発庁、正田会計課長、他　４名
８日　上与那原婦人会婦人学級
13日　宮崎県総務部総務課、川野直記文書係長、他　２名
鳥取県立公文書館、非常勤職員清水太郎氏、他　３名
17日　日本建築家協会、新人賞現地審査会一行　８名
20日　首里城復元期成会、呉屋秀信会長、他　50名
21日　電源開発株式会社企画部調整管理課、荒井浩文課長代理
糸満市小中学校教頭会、玉城誠恒会長、他　20名
７月11日　中琉文化経済協会親善訪問団　23名
14日　九州大学大学院比較社会文化研究科、教授有馬学氏、他　10名
24日　中琉交流関連遺跡総合調査福建調査団　８名
浦添中学九日会代表当山全弘、他　20名
28日　那覇市立真壁小学校PTA成人教育委員会　20名
８月１日　台湾宜蘭県政府・象設計関係者　９名
２日　奈良県教育委員会、三橋友次教育委員長、他　10名
６日　山口県文書館、館長

平成８年８月14日	西原町校務研究会、大盛永意会長、他	13名
16日	那覇市立安岡中学校、２学年職場訪問、施設見学	７名
９月４日	（有）富士青写真工業、山本浩代表取締役、他	３名
	人事院沖縄事務所、第21回沖縄地区係長研修一行	40名
７日	沖縄県・福建省教育交流団一行	10名
10日	共愛学園女子短期大学、大沼久夫教授	１名
11日	宜野座村教育委員会図書館司書研修会	15名
	九州地方知事会財務部会総務部長会議一行	30名
13日	JAおきなわ具志頭支店女性部、城間トヨ子部長、他	40名
	九州各県立及び政令指定都市立図書館総務・情報部門担当者会議一行	14名
18日	具志川市立図書館	15名
10月５日	真和志小学校PTA	50名
８日	尚古集成館、寺尾氏	２名
９日	地域振興整備公団、安里氏	２名
	名護市教育委員会社会教育課	８名
11日	豊寿大学、川上氏	35名
12日	沖縄県建築士会北部支部	25名
15日	沖縄県平和推進課、他	12名
18日	ところ設計	16名
18日	佐賀マイクロ計測株式会社	２名
22日	前島３丁目自治会	27名
	大島老人クラブ	26名
	島尻教育事務所	10名
24日	新潟県議会総務文教委員会（委員長、上村憲司氏）	14名
	建設省九州地方建設局	３名
	沖縄県議会議員当山全弘後援会	25名
平成８年10月25日	神奈川県立公文書館長後藤氏、他	３名
	広島市職員研修所、本田所長	１名
	沖縄県立教育センター	５名
26日	全国建築審査会会長会議	17名
30日	（財）香川県立図書館・文書館管理財団 松繁理事長	２名
	石川市歴史講座	20名
31日	九州各県議会事務局調査担当課長会議・調査事務研修会	18名
	前川老人クラブ	35名
	浦添市立図書館	４名
11月１日	愛知県公文書館、城和夫館長、他	３名
	沖縄地区税関長、他	２名
５日	中央大学法学部永井和之教授他	２名
６日	浦添市役所区画整理計画課	３名
７日	名護市山之端老人会	44名
８日	沖縄県立教育センター（生活科）	４名
９日	名護小学校同窓会	20名
	本部町学校図書館	４名
12日	島尻地区指導主事協議会	10名
	沖縄県人事委員会事務局職員課	１名
14日	南風原町商工会	18名
15日	グリーンハイツ若竹会	25名
	沖縄開発庁総合事務局	14名
	国立国会図書館、政治資料課長	
17日	明治学院大学国際学部、高原ゼミ（高原孝生氏）	８名
18日	福岡県総務部、小島英二総務係長、他	３名
19日	沖縄県土地区画整理担当者会議、一行	150名
	那覇家庭裁判所	２名
21日	奈良県生駒市議会議員一行	５名

	レイモンド阿嘉氏一行	4名
平成8年11月22日	沖縄県図書館協会	65名
	館長取材者	3名
	記録史料情報管理研究会	14名
25日	豊見城村高安老人会	36名
27日	自治省審議官	3名
	琉球大学、我部政明教授、他学生	15名
28日	琉球大学保坂ゼミ	35名
	南風原町	28名
	浦添市建設技術協会	100名
29日	高知県議会決算特別委員会	16名
	玉城村字喜良原高齢者学級	25名
12月3日	学校図書館協議会北部支部、学校図書館司書	40名
6日	沖縄県図書館協議会	50名
	福岡県建築都市部建築設備課、福原教生技術主査、他	3名
7日	台湾友の会	34名
8日	具志川市立高江州小学校PTA	58名
10日	岩手県総務部施設管理課営繕指導監梅澤尋昌氏、他	3名
	和泊町文化財保護審議会委員	5名
12日	建設省関東地方建設局営繕部計画第2課、島崎昭彦課長、他	3名
	学校農業クラブリーダー研修会	66名
	県史編纂委員	3名
13日	島尻教育事務所管内小中学校事務職員組合	60名
	事務次官	7名
14日	コペンハーゲンとドイツ国関係者	5名
16日	北中城高等学校	8名
17日	糸満中学校PTA	13名
21日	鹿児島県文化振興課、松園耕造課長、他	3名
26日	大阪名蓉大学脇田教授、他	2名
平成8年12月27日	那覇市新都心開発	3名
平成9年1月9日	沖縄県教育庁八重山教育事務所指導課、指導主事	10名
10日	大谷大学笠沙教授、他	2名
18日	沖縄県管財課	1名
19日	宜野湾市野嵩3区自治会	35名
22日	消防大学校長	1名
23日	新都道府県会館建設準備局業務課、小野哲巳副参事、他	3名
	キリスト教短期大学	1名
24日	国立国会図書館	2名
28日	埼玉県議会決算特別委員会	24名
30日	首里共同クリニック	30名
31日	首里共同クリニック	31名
	沖縄開発庁総合事務局	3名
	新沖縄県史調査協力委員	15名
2月4日	琉球大学図書館	3名
	沖縄県議会総務企画委員会	22名
	文部省学術情報課係長	1名
5日	竹前ゼミ	21名
6日	奈良県議会文教委員会	14名
	那覇市教育委員会、指導主事・教科指導員研修会	25名
	豊見城村教育委員会、初任者研修会	7名
10日	名古屋設計事務所	8名
13日	大分県公文書館、小野清志主任、他	3名
14日	長岡技科大学図書館、中野館長、他	3名
16日	熊本県県政情報室	2名
20日	国文学研究資料館庶務課谷佳彦課長、共同利用係長	2名
	沖縄開発金融公庫調査部調査課調査役玉那覇通男氏、他	3名
21日	富山県公文書館、瀬尾達也館長	1名
	読谷村婦人会（会長牧門澄子氏）	40名
22日	東村教育委員会婦人会	20名

平成９年２月23日	沖縄県総務部文書学事課佐久本副参事他	２名
	大阪府公文書館、館長	
25日	熊本市市史編纂課、一木和世課長補佐	１名
	岩手県総務学事課文書係	４名
	大宜味村教育委員会	４名
27日	国文学研究資料館史料館第１史料室、山田哲好助教授、他	２名
	国頭村学校事務職員、他	11名
	香川県文書館、菅谷係長、他	２名
28日	香港教会档案館、関係者	２名
３月２日	岡山大学狩野教授、他	６名
６日	総合事務局	３名
	徳島県公文書館、大和武生館長	１名
７日	タイの建築家チヤンタネ氏、他	３名
９日	大宮中学校PTA文化部代表 比嘉ゆり子氏、他	10名
11日	雄松堂書店（田中修造氏）	１名
	沖縄開発庁振興第１課榎本課長、他	２名
13日	国立国会図書館、後藤氏	１名
14日	埼玉県公文書館職員	３名
17日	東京大学東洋文化研究所所長	
18日	国文学研究史料館資料館森安彦館長	１名
19日	オリオンビール会長一行	21名
	長崎県総務部総務学事課文書担当参事宇田川伸氏、他	２名
	群馬県公文書館職員	２名
	東京都公文書館職員	１名
	浦添市城間会（会長金城名輝氏）	35名
21日	岡山大学、他	６名
平成９年３月25日	兵庫教育大学	１名
	元沖縄開発庁長官植木氏	
	中国第一歴史档案館副館長	
26日	西原小学校教諭	42名
	島根県教育庁文化課古代文化センター、佐伯徳哉主任主事、他	２名
	沖縄市働く婦人の家	10名
	三重県博物館建設準備室	２名
27日	城岳会館会長（源河氏）	１名
４月２日	台湾立法院、陳永興委員	
８日	国際都市形成推進室、川勝氏	
25日	浦添市議会、棚原宏議長、他	24名
５月１日	大韓民国全羅南道、李介天企画官、他	４名
16日	青森県総務部管財課、佐藤映悦課長補佐、他	２名
26日	島尻教育研究所、研究員等	９名
６月12日	豊見城村教頭会、宮里貢会長、他	13名
７月１日	国立国会図書館、館長	
22日	小谷園ディサービスセンター利用者一行	25名
23日	〃	25名
24日	〃	35名
25日	〃	25名
８月６日	与勝学校事務研究会	
23日	駿河台大学　安澤秀一教授	
28日	名桜大学国際文化学科上江洲均教授と学生	４名
９月27日	宜野湾市職員労働組合女性部	50名
10月１日	宜野湾市愛誠園、ディ・サービスセンター利用者	20名
17日	沖縄市校務研究会、金城信弘会長、他	20名
21日	岐阜県議会文教警察委員会	13名
24日	千葉県文書館、佐野眞一館長、他	２名

平成９年11月９日　大宜味村塩屋区成人会、宮城威会長、他　50名
18日　中部ひめゆり同窓会、石橋芳子会長、他　20名
28日　西日本ブロック営繕事務所長会議　19名
12月３日　国立公文書館、玄羽昭企画連絡係長
５日　文化庁美術工芸課、歴史資料部門文化財調査官　２名
９日　建設省筑波研究学園都市施設管理センター、小山課長補佐他　２名
中央研究院歴史語源研究所、社正勝所長、琉球大学赤嶺教授　２名
12日　東京大学史料編纂所、横山助教授　１名
15日　東京都公文書館水野保氏、他　７名
17日　国立国会図書館、北山政治史料課長
平成10年１月16日　本部町教頭会県内視察研修会　10名
23日　スミソニアン公文書館、首席アーキビストAlan Bain氏　１名
29日　国立国会図書館専門資料部政治資料課、北川知子氏　１名
熊本県企画開発部、部長
30日　九州各県議会議長会議及び事務局長会議　40名
国立国会図書館、枝松専門資料部長
２月10日　那覇教育事務所館内指導主事等研修会　45名
12日　防衛研究所、河合氏
13日　兵庫県議会議員　２名
19日　総理府日本学術会議情報国際課、滝澤会計課長補佐
平成10年１月25日　鳥取県立公文書館、伊達龍彦総務部参事　１名
26日　那覇市立久茂地図書館、分館長、他　６名
国立国会図書館、正田隆基総理府事務官、他　３名
３月12日　神奈川県立公文書館、館長
16日　国立国会図書館、大竹司書
17日　総務庁北方対策本部、参事官
18日　中国国家档案局・馮鶴旺副局長、中国第一歴史档案館・那永福館長、中国第二歴史档案館・珠忠信館長

4　組織及び職員構成

(1)　組織及び職員構成の概要

沖縄県公文書館は平成７年４月１日に設置され、総務課と資料課の２課で発足した。

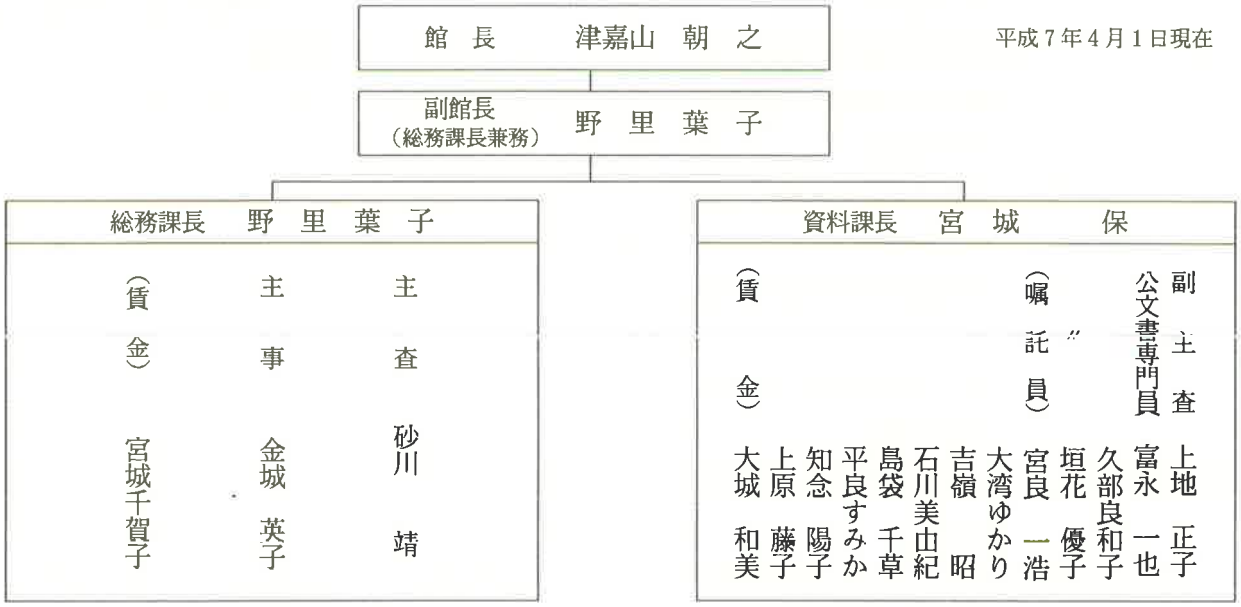
平成８年４月１日に施設の管理と予算管理及び収蔵資料にかかる許認可、行政刊行物の発刊等以外の資料収集・整理、保存、閲覧業務は財団法人沖縄県文化振興会へ委託した。

同財団は文化振興部と公文書館管理部からなっており、公文書館からの委託業務は公文書館管理部が担当することになり、同部の総務課、資料第一課と資料第二課が分担している。

また、沖縄県教育委員会から県史編集業務と歴代宝案編集業務が公文書館管理部に委託され、同部資料編集室が担当している。

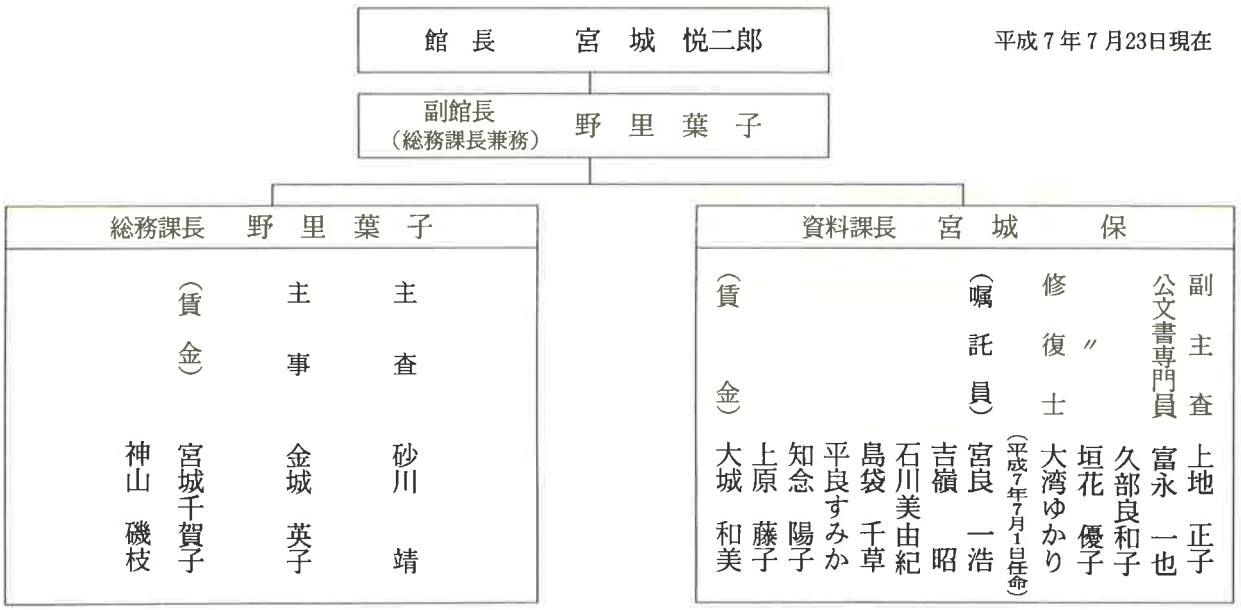
職員は県との併任職員、県からの出向職員、及び文化振興会のプロパー職員から成っている。

(2)　沖縄県公文書館組織図



平成７年４月１日現在

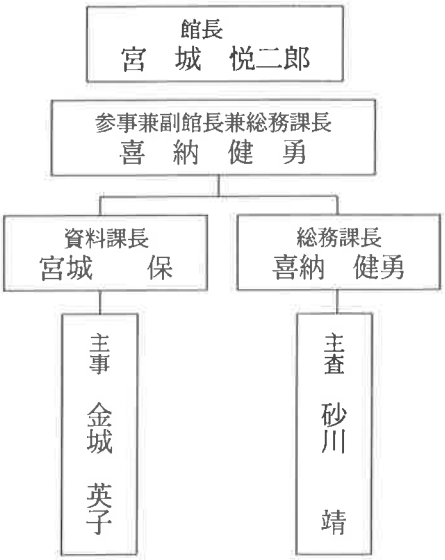
(3)　沖縄県公文書館組織図



平成７年７月23日現在

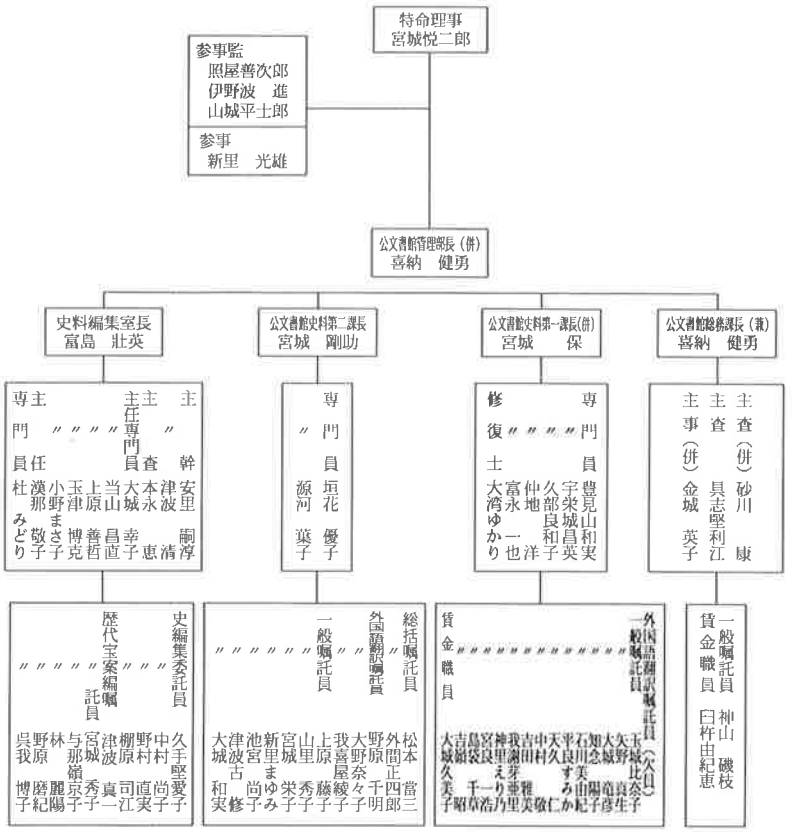
(4) 沖縄県公文書館

（平成８年４月１日現在）



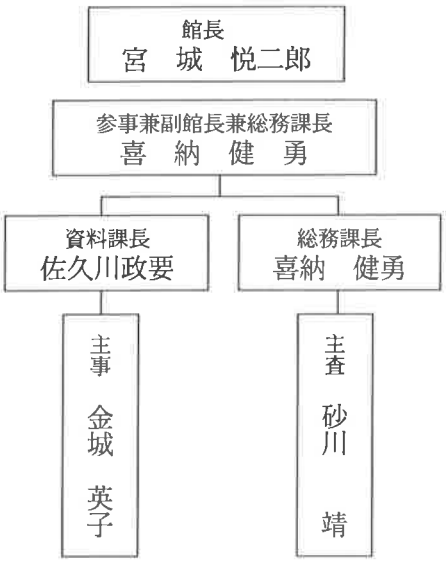
(5) (財) 沖縄県文化振興会公文書館管理部

（平成８年４月１日現在）



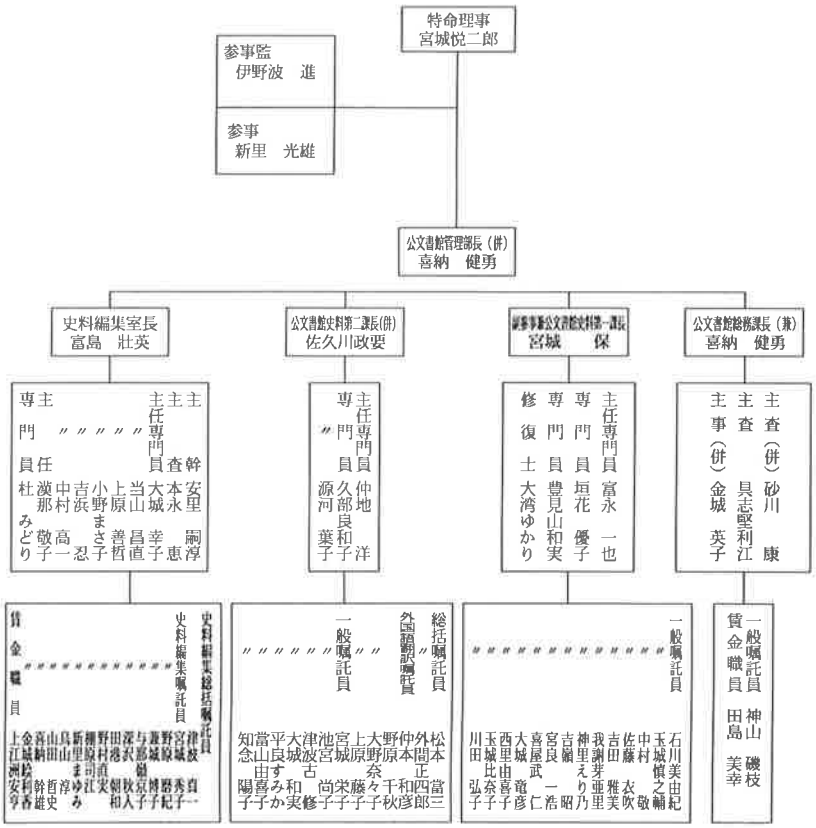
(6) 沖縄県公文書館

（平成９年４月１日現在）



(7) (財) 沖縄県文化振興会公文書館管理部

（平成９年４月１日現在）



5．予算・決算の概要

科目（款・項・目・事業・節）	平成７年度		平成８年度		平成９年度		備考
	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
2 款 総務費	351,370,000	346,537,012	407,187,000	405,096,395	417,622,000	413,757,124	
1 項 総務管理費	351,370,000	346,537,012	407,187,000	405,096,395	417,622,000	413,757,124	
4 目 文書費	351,370,000	346,537,012	407,187,000	405,096,395	417,622,000	413,757,124	
1事業 公文書館管理運営費	351,370,000	346,537,012	407,187,000	405,096,395	417,622,000	413,757,124	
1 節 報酬	18,956,000	15,713,400	0	0	0	0	
7 節 賃金	3,488,000	3,487,790	0	0	0	0	
8 節 報酬費	756,000	244,460	492,000	91,840	320,000	82,000	
9 節 旅費	5,883,000	5,423,322	712,000	640,624	105,000	25,656	
11 節 需要費	59,844,000	59,626,566	46,146,000	45,940,227	44,434,000	44,404,000	
12 節 役務費	2,888,000	2,769,486	2,678,000	2,238,430	2,031,000	1,582,326	
13 節 委託料	122,953,000	122,671,511	294,646,000	294,303,638	301,167,000	299,072,592	
（うち財団への委託料）	0	0	249,884,000	249,884,000	263,570,000	263,570,000	公文書館業務の委託
14 節 使用料及び賃借料	26,174,000	26,172,977	37,846,000	37,214,636	37,986,000	37,067,519	
18 節 備品購入費	110,317,000	110,317,000	24,632,000	24,632,000	31,440,000	31,421,721	
19 節 負担金、補助及び交付金	35,000	35,000	35,000	35,000	139,000	101,310	
20 節 公課費	76,000	75,600	0	0	0	0	

※㈶沖縄県文化振興会への業務委託は平成８年度より行っている。

6．収蔵資料の概要

収蔵資料数

（平成10年３月31日現在）

資料区分	整理レベル（簿冊）	整理レベル（箱）	合計
琉球政府文書	152,478		152,478
沖縄県文書	7,407	20,070	26,819
USCAR文書	9,570		9,570
地域資料	18,307		18,307
行政刊行物	22,639		22,639
その他資料	2,278		2,278
総計	210,737	22,760	233,497

（箱は資料が５～10簿冊件、前後入っている）

(1) 琉球政府文書152,478簿冊

琉球政府文書とは、琉球政府が作成、収受した文書で、昭和47年の日本復帰の際に琉球政府から沖縄県へ引き継がれた膨大な資料群である。なお、この中には沖縄戦後の沖縄諮詢会、群島政府、琉球臨時中央政府時代に作成、収集された文書等も含まれている。

(2) 沖縄県文書7,407簿冊と20,070箱

沖縄県文書とは、明治12年の廃藩置県で沖縄県が発足して以降、沖縄戦で県政が消滅するまでの間と、昭和47年５月15日の日本復帰以降に沖縄県が作成又は取得した公文書等をいう。

(3) USCAR文書9,570簿冊

USCAR文書とは、戦後沖縄を統合した琉球列島米国民政府（The United States Civil Administration of the Ryukyus）の文書のことであるが、沖縄県公文書館では米国海軍軍政府、米国陸軍軍政府や関わりのあった米国機関、民間人が作成、収集した英字資料、写真資料等を含めている。 これらの一部は当時の米国民政府関係者へ資料の収集協力依頼をして寄贈してもらったものもあるが、大半は米国立公文書館から収集した資料である。

(4) 行政刊行物22,639冊

行政刊行物とは、沖縄県や国または他の都道府県、市町村、社団法人等が作成した刊行物である。

(5) 地域資料18,307冊

地域資料とは、沖縄県と鹿児島県の奄美群島に関する資料のうち民間で作成された記録資料である。資料の大半が個人や団体から寄贈されたものである。

地図、写真、映像、音声資料　　平成10年３月31日現在

地図	写真資料	マイクロフィルム	映像資料	音声資料
1,880 枚	4,520 枚	1,664 ロール	1,196 巻	2,738 巻

(6) 地図・空中写真

琉球政府、国土地理院、米軍、市町村が作成した地形図等である。

(7) 写真

写真の大半は沖縄県の陸地の全域を撮影した空中写真である。

(8) マイクロフィルム

貴重書や利用頻度の高い資料、劣化した資料の保存と供用、未収蔵資料の収集の目的でマイクロフィルム撮影をした。

(9) 映像資料

沖縄関係の映像、音声資料で、その大半は製作者の県各部局から移管されたものであるが、なかには個人から寄贈された貴重な映画フィルムもある。

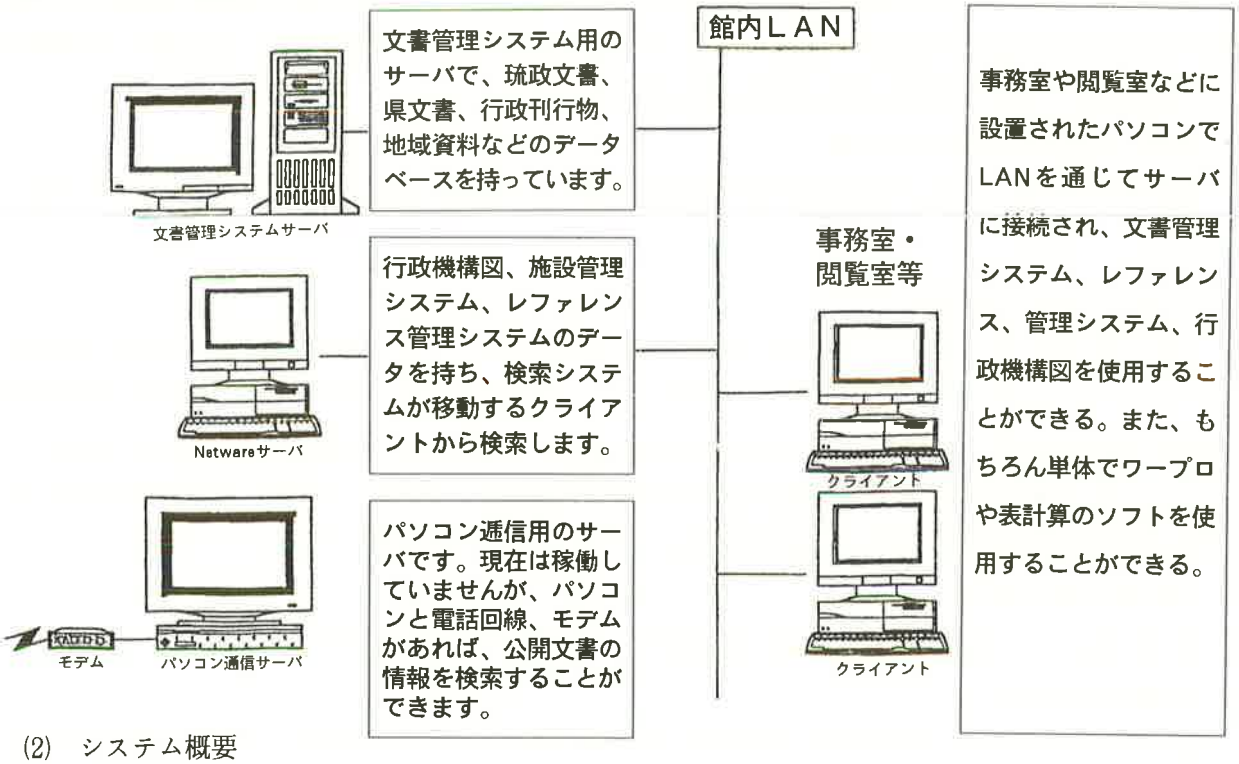
(10) 音声資料

沖縄関係の音声資料で、個人から寄贈された沖縄関係の調査テープと沖縄国体関係記録等行政の記録である。

収集された映像、音声資料以外は地下の燻蒸室で減圧燻蒸され、1号書庫（中間書庫）で保管し、分類整理、コンピューターへ情報入力が完了したら各専用書庫に配架し、配架済みの資料は全て閲覧者がパソコンで検索できる。

7．公文書館システム

(1) システム構成図



(2) システム概要

沖縄県公文書館システムには、現在下記のシステムがある。ここでは、個々のサブシステムの概要について説明する。

① 文書管理システム

a. 利用者検索　一般利用者用の検索システムで、通常は閲覧室の利用者用端末の2台を使用するが、事務室や整理室などの職員用の端末からも使用することができる。職員用検索よりも検索項目が少なく、ボタンが押しやすいように大きく配置してある。利用者が自ら検索し、閲覧請求書を出力することができる。琉球政府文書、県文書、行政刊行物、地域資料、USCAR文書、その他資料の検索ができる。

b. 職員用検索　職員用の検索システムで、利用者用検索よりも細かな（未整理の資料等も）検索ができ、一覧や詳細に表示される項目も利用者検索よりも多く、より詳細な情報を知ることができる。琉球政府文書、県文書、行政刊行物、地域資料、USCAR文書の検索ができる。

また、利用管理メニューから、閲覧・貸出の処理や、利用者の登録などを行い、閲覧室の受付カウンターでの業務を支援する。

c. 登　　録　上の検索システムで使用するデータの登録を行う。登録処理は、システム管理者から登録権を与えられた職員だけが行うことができる。（IDカードの発行時に利用権を決定する）

琉球政府文書、県文書、行政刊行物、地域資料、USCAR文書、その他資料の登録ができる。また、個々の資料が配架されている書庫の管理や、POT（ポータブルターミナル）で入力したデータの登録や、棚卸、バーコードの印刷機能などがある。

d．マスタメンテナンス　各種コードの設定や、ユーザの登録など、上記の検索・登録システムを円滑に使用するための各種設定を行う。通常はシステム担当者のみが使用する。

② 行政機構図

メニューに従ってボタンをクリックするだけで、各時代の政府の機構図を画面上で確認することができる。このシステムは閲覧室の利用者用端末（１台）でも使用できるようになっている。

a. 琉球政府行政機構図　1972.5.14 当時の琉球政府行政機構図を表示する。部局ごとの詳細情報も表示できる。その他の年代の機構図については、現在作成中である。

b. 琉球列島米国民政府（USCAR）　琉球列島米国民政府（USCAR）の行政機構図を表示する。年代別に選択可能である。

c. 群島政府機構一覧　沖縄群島、宮古群島、八重山群島、奄美群島の政府機構図を表示できる。

③ 施設管理システム

公文書館内の各施設の利用予約システムである。このシステムを利用することにより、各施設の総合的な利用管理や、ダブルブッキングを防止できる。対象となる施設は、会議室、研修室、講堂、特別閲覧室、ミニシアター、展示室で、各施設とも30分単位で予約できる。

④ レファレンス管理システム

各資料に対する問い合わせや、質問、対応内容などをデータベースに登録し、管理するシステムである。後で事例を検索し、前例を調査したり、回答例を見ることができる。

⑤ 沖縄歴史電脳絵巻

利用者用の学習システムで、沖縄の歴史について利用者が自由に触れ、見ることができる。閲覧棟の１階と２階に１台づつ設置されている。システムを終了するときは、パスワードの入力が必要である。

※このシステムは、単体で使用することを前提として作成されているため、専用の端末でのみ使用できる。

(3) 文書管理システムの特長

沖縄県公文書館システムのうち、特にメインとして位置づけられている文書管理システムについて、特長的な事項について記す。

① クライアント／サーバ型オープンシステム

本システムでは、近年のオープンシステム化の流れを汲み、クライアント／サーバシステムにより構築されている。サーバには高性能のUNIXサーバを登載し、国内の公文書館の中では最大規模のものとなっている。

② 同義語辞書、高速全文検索エンジンの搭載

本システムでは、同義語（シソーラス）辞書を登載し、文字列で検索したときの検索漏れを少なくしている。例えば、「沖縄」と入力するだけで、「沖縄」、「オキナワ」、「ｵｷﾅﾜ」がタイトル、コメント、特記事項に含まれるデータがヒットする（関連展開を選択した場合）。また、ユーザが辞書をメンテナンスする機能もあるので、関連のある言葉を自由に設定することができる。例えば、「沖縄」と「琉球」を同義であると設定すれば、「沖縄」で検索すると、「沖縄」、「オキナワ」、「ｵｷﾅﾜ」、「琉球」、「リュウキュウ」、「ﾘｭｳｷｭｳ」が検索対象となり、検索の幅が広がります（関連展開を選択した場合）。また、選択の方法として完全一致を選択すれば、「沖縄」のみを対象とするようにもできる。これらの検索を可能にするため、本システムでは、資料のデータベースの他に、文字検索用の「学習ファイル」を生成し、本機能を実現している。

③ 箱・簿冊・件名の処理形態に対応

各資料の保存形態によって、箱・簿冊・件名での管理が可能である。現状では、件名の入力はほとんど行われていないが、将来的に資料の整理が進んだ場合でも、件名単位の入力が可能なように設計されている。

④ バーコードによる資料・書庫の管理

各資料ごとにバーコードラベルを打ち出し、バーコードスキャナーを使って資料の確定が可能である。また各書庫の棚単位にバーコードラベルを貼付し、POT（ポータブルターミナル）によって、棚卸作業の大幅な省力化を行っている。

⑤ 大規模イメージデータの登録に対応

現在ではほとんど使用されていないが、各資料単位にイメージデータの登録・表示が可能である。また、500枚のCD－ROMが収納可能な大容量CD－ROMチェンジャーが接続されているので、CD－ROMに登録したイメージデータなどを各クライアントから表示させることができる（主にUSCAR文書の利用を想定）。

(4) 公文書館電算システム概要

① 機器構成

名　　称	機　　種	数	性　　能
データベースサーバー	UP4800	1台	メモリ：192 MB，ディスク：23.1GB
パソコン通信サーバー	EWS4800	1台	メモリ：82MB，ディスク：5.2GB
ネットワークサーバー	PC9821Xa	1台	メモリ：64MB，ディスク：1GB
クライアント	PC9821Xa	20台	メモリ：32MB，ディスク：1GB

② ソフトウェア構成

サーバーOS：UNIX

クライアントOS：windows 3．1

データベース：ORACLE 7

検索エンジン：XFB３

開発言語：SQL　windows

ネットワーク：TCP／IP、NETWEAR

③　ソフトウェアの主な機能と特徴

［１］［資料登録機能］

箱→簿冊→件と収納構造に沿った階層での登録ができる。

［２］［貸出・返却管理機能］

資料に添付されたバーコードを読み込むことで、貸出・返却の管理ができる。

［３］［資料検索機能］

作成者（または部・課）、作成年度、分類、メディア種別等の項目選定と資料タイトルやキーワードによる文字列検索の組み合わせで該当資料を抽出する。

［４］［配架・棚卸機能］

資料、書庫、収納箱に添付されたバーコードを読み込むことで書架への配架や移動または収納箱への収納や移動等ができる。

［５］［利用・業務統計機能］

閲覧、貸出、複写等の利用件数や資料種別毎の整理件数を月報、年報で出力する。

④ 資料ファイル構成（資料から取得し登録するデータ）

［１］資料内容に関する情報

・資料種別　・主題分類　・作成者　・作成日　・資料タイトル　・タイトルカナ　・資料コメント

［２］資料形態に関する情報

・メディア種別　・形態種別　・資料サイズ　・資料ページ数　・保存状態

［３］資料受入に関する情報

・受入種別　・受入日　・原本所有者　・原本所在地

［４］利用に関する情報

・公開種別　・非公開理由　・特記事項

［５］整理に関する情報

・特記事項

［６］資料の保存場所に関する情報

・書架コード　・箱コード

8　閲覧業務

利用者へ資料の閲覧サービスをはじめ、レファレンス及び館内の視察見学の案内を行っている。

(1)　利用状況一覧

項目			単位	平成７年度	平成８年度	平成９年度	備考
開館日			日	161	247	273	
入館者			人	28,007	25,629	7,519	
閲覧室入室者			人	14,486	17,250	4,026	
閲覧申請	一般	申請者	人	551	224	664	
		閲覧点数	点	3,677	1,139	3,375	
	行政	申請者	人			106	
		閲覧点数	点			506	
開架資料利用			冊			1,440	
ビデオ視聴			件	91	247	270	
複写申請	一般	申請者	人		558	719	
		枚数	枚		11,928	25,775	
	行政	申請者	人			63	
		枚数	枚			2,964	
レファレンス			件	130	379	502	
案内	団体数		件			169	
	人数		人			1,364	
複写許可申請			件			15	
出版（放送）許可			件			13	
貸出し			件			16	
利用証申請			人	543	385	489	

※平成７年度は土・日曜日休館、平成８年度以降は月曜日休館

複写。　ここでいう複写とは、コピー機やマイクロリーダープリンター等を使用して行う以外の複写をいう。（例:写真機、ビデオカメラ等による撮影、録音機等による録音）

出版　公文書館が所蔵している原本資料に対する出版掲載許可申請。

(2)　レファレンス

レファレンスは平成７年の開館時から特に力を入れた業務の一つである。レファレンスは利用者が閲覧カウンターで直接行ったものと電話や封書で訊ねてきたものがある。平成７年８月１日から平成10年３月31日までのレファレンス96件で過去３年間のレファレンスの概要は、次のとおりである。なお、軽易に即答できたものは記録していない。

平成７年８月３日　問　うるま新報で紹介された「社会科」が創設された当時の関連講習パンフレットの有無について

答　該当資料無し、周辺資料を閲覧した

問　利用者から閲覧申請された資料について、閲覧日時は当日以外に可能か

答　新たに閲覧申請が必要

平成７年８月７日　問　1658年第二尚氏尚質王時代の宜野湾家の家譜の所在について
答　該当資料なし、那覇市歴史資料室紹介
８日　問　戦前の沖縄県の工業指導所（昭和３年～20年）についての資料がないか
答　井野知事事務引継書がある
問　国子監の学生の学習科目と内容の資料について
答　歴代宝案の秦国経の論文を見てもらう
問　臨時土地調査庁の三角点が記された地図の有無について
答　臨時土地調査、測量のそれぞれで検索した目録を送付する、その他に該当資料無し
９日　問　年金授受のため軍雇用カードが必要である
答　該当の軍雇用カードあり、本人が雇用番号を覚えていたので比較的早く発見できた
10日　問　移民したことを証明する資料があるか
答　昭和25年頃の資料はあまり残っていない、組織移住に参加してないので名簿に記載なし
11日　問　琉米親善センターの創立に関する資料の有無
答　該当資料無し
問　林政八書がないか
答　上杉県令日誌明治18年のマイクロフィルムを閲覧
問　米軍製作地図史料を見ることができるか
答　国土地理院に原史料あり沖縄キモトを通して注文ができる
15日　問　昭和19年頃の日本赤十字社発刊の新聞があるか
答　琉政文書の中にはない、県立図書館を紹介
16日　問　謝花昇の杣山問題についての公文書があるか
答　明治期の資料は県史編集室がもっていることと、山口県公文書館に謝花の履歴書があることを紹介する
問　金城筑登之親雲上に関する資料はないか
答　金城筑登之親雲上は○○氏の父より８代上の人物である。那覇市歴史資料室を紹介する
18日　問　第１次ボリビア移住団の団長であった○○○氏の資料があるか
答　彼の名簿はあったが団長であったことを示す資料はなかった
21日　問　父親（昭和７年生）の軍雇用カードがないか
答　見つからず、その旨電話で回答する
22日　問　県立高校の職員録の所在について
答　該当の職員録なし
問　ブラジル移民について（平良市字○○から移民した○○○氏について）
答　浦添市立図書館を紹介する
24日　問　昭和31年３月那覇市都市計画決定変更の文書があるか
答　該当文書あり
問　昭和35年代の在沖米軍基地地図があるか
答　該当年度の地図は無し
25日　問　復帰に関する屋良主席の「沖縄の訴え」等の素案の所在について
答　素案の所在については不明である

問　戦後の内地引揚者名簿の所在について
答　宜野湾市立図書館に複写がある可能性がある
質　首里市役所が作成した３千分の１の地図はあるか
答　該当する地図無し
質　明治～昭和初期にかけて刊行された沖縄県学事年報があるか
答　該当無し

平成７年９月１日　質　戦前の那覇市の地図がないか
答　大正８～10年旧日本陸軍陸地測量部作成５万分の１、２万５千分の１がある
質　昭和38年香川県高松市の桜町中学校に沖縄から派遣された研究教員の○○先生の消息について
答　該当者名簿なし

４日　質　昭和21年パラオから引き上げ、インヌミ屋取に暮らした当時の様子が分かる資料があるか
答　該当資料なし
質　真玉橋の設計図、または資料があるか
答　該当資料無し

６日　質　明治32年沖縄県土地整理法第10条に書かれた「朱引」とは
答　手形のことで、近世における登記簿のようなもの
質　戦前の系図があるか
答　戦後の公文書が中心であり系図はない

７日　質　民政府令117号（昭和28年８月25日公布）公道付近の建設工事の廃止年月日について
答　該当資料無し
質　映画八月十五夜の茶屋の利用できる施設について
答　利用できる施設は無し、当館が近日中にビデオテープを購入する予定

７日　質　東風平町富盛の唐人行列の歌詞について
答　判断できる部分についてのみ回答

11日　質　昭和40年７月糸満町白銀堂地先公有水面埋め立て予定地の複写資料の公文書館の証明印について
答　決裁後押印は可
質　平成２年２月の公文書の閲覧について
答　近年の公文書は未だ公開できない旨回答、廃棄文書は閲覧可
質　昭和40年ブラジルへ移民した○○○氏の出国証明書はないか
答　夫のパスポート番号SRC000020 、本人のは未確認

13日　質　昭和20年７月７日創立の金武町立中川中学校に関する資料があるか
答　備品室設計図以外ない旨を回答

18日　質　琉球政府文教局中央教育委員会の第182回学校図書館法に関する会議録の有無
答　該当会議録無し

19日　質　戦前の沖縄県が大株主であった沖縄興業銀行について
答　県立図書館から移管された資料群に興業銀行書類あり

20日　質　米軍資料の復刻について

答　県史料編集室県史担当が米軍の民事ハンドブックを刊行していることを紹介

平成７年９月21日　質　沖縄戦時の食料についての資料がないか

答　沖縄県史10沖縄戦記録２、市町村史の体験記

質　米国海軍政府下の沖縄住宅公社（昭和25年４月５日軍布令第５号）

答　琉政文書に無し、USCAR文書は検索不可

25日　質　琉球政府文書（農林局耕地課）開拓に関する資料（昭和20年～昭和38年箱番号012）

答　複写して送付

10月２日　質　昭和30年の由美子ちゃん事件の公文書、USCARが琉球政府法務局にあてた文書の有無について

答　該当文書なし

16日　質　昭和45年コザ暴動に関する資料の有無について

答　琉政文書に該当無し、コザ市史、沖縄大百科辞典を紹介した

質　琉球政府時代の宮古医療について

答　琉球政府文書に該当資料無し

質　唐尺について、それに書かれている文字や内容について知りたい

答　大工用曲尺の裏目の呼び名、窪徳忠著中国文化と南島、今帰仁村史、名桜大学の上江洲均氏等を紹介する

11月６日　質　琉球政府時代の民話資料について

答　守礼の光、今日の琉球を紹介

９日　質　対米請求権事業協会にある法務局土地業務課関係資料（約20箱）の移管について

答　公文書館で整理後移管

10日　質　軍用地転用計画はあるか

答　三つある、①復帰前の昭和46年、②復帰後の昭和51年、③平成５年

13日　質　戦前存在した東竜寺に石碑を建立したいが

答　沖縄歴史地図に東竜寺の記載あり場所の確認はできる

質　明治期に北米に移住した○○○氏について

答　明治30年12月４日サンフランシスコへ渡り８年間滞在し帰国

15日　質　琉球政府時代の徳之島高等学校の資料がないか

答　琉球政府文書、同刊行物には該当資料無し、沖縄百科事典にある

16日　質　コザ保健所の女性外来者に対して梅毒検査を実施するよう要請した通達

答　昭和25年２月19日うるま新報に記載

17日　質　渡嘉敷家（氏は貝）の家紋について

答　稿本琉球紋章譜に見あたらず、その他該当資料無し

質　昭和28年10月19日立法第61号公布児童福祉法に関する資料について

答　琉政文書番号R00156351B立法院第三回定例会立法案

質　プライス勧告英文資料について

答　昭和31年６月米国下院軍事委員会特別文化委員会長メルビン・プライスの沖縄軍用地視察報告書

20日　質　布令の第109 号と布告の33号の原文が知りたい

答　琉球政府文書ルーティンワーク書類に該当あり

質　国頭郡金武町億首（おくび）の由来について
答　武術の達人ギミンノヘイカを金武町史で紹介

平成７年11月22日　質　ケネディ政権国家安全保障問題担当大統領特別補佐官ケイセン氏の報告
答　米国政府沖縄調査団に関する要請　R00001150B

12月12日　質　中城湾に関する地図、写真、文書資料はないか
答　米軍作成地図や地誌などを紹介する

22日　質　昭和29年頃沖縄代表として派遣された際に文教局に提出した報告書はあるか
答　該当文書なし

25日　質　沖縄県の地積図作成は完了しているか
答　ほとんど完了、一部境界不明地など未確定あり

平成８年１月10日　質　昭和20年８月１日米海軍政府教育部内に設置された沖縄教科書編集所の記録文書、会議録等
答　該当文書なし
質　沖縄の慰霊の塔（山吹の塔、第一外科壕の碑、立山の塔ウラハの塔）
答　大田昌秀著慰霊の塔、戦争賛美に異議あり、他

12日　質　毛遊び禁止した布令について
答　歴代宝案にはそのような記録はないが球陽や御教条などにはある
質　玉城村在の琉球ゴルフ場の軍用地に関する資料について
答　昭和32年頃軍用地認定、昭和51年10月15日返還

18日　質　昭和47年３月に許可された㈱カールオリエント　トレーディング会社の化粧品輸入品目追加許可について
答　該当なし
質　沖縄県知事がインタビューなどでテレビに映るとき背景に見える屏風に見える文章は何か
答　万国津梁之鐘銘

22日　質　平成４～６年頃の沖縄県の人口と交通量の推移について
答　人口は沖縄県の統計、交通量は土木建築部要覧、県警交通白書

24日　質　屈辱の日というフレーズは何年から使用されたか
答　復帰協の昭和35・36年の決議文参照
質　アイゼンハワー大統領が琉球政府を訪問した際、帰りはどの裏口を使用したか
答　増改築が行われていないという庁舎の平面図と当時の庁舎全景の写真から質問者に判断してもらう

31日　質　沖縄県知事公室広報課が作成した沖縄戦後50年のあゆみに掲載されている写真の著作権について
答　個人や県
質　県内高校生の進学状況や進路に関する統計はないか
答　平成６年学校基本調査報告書に詳しい統計書あり

２月１日　質　明治、大正の北海道開拓村へ沖縄から移住した人々を知りたい
答　北海道の開拓村に関する記述なし
質　昭和28年の児童福祉法制定の土台となった文書はあるか

答　該当文書なし、児童福祉関係の最も古い文書は昭和29年のもの

平成８年２月８日　質　纂算について、史料管理の達人のビデオ製作に使用したいが

答　民具研究者の外原氏が提供してもよいとの申し出あり

13日　質　琉球政府文書は昭和53年の何月何日に総務部文書学事課へ引き継がれたか

答　昭和47年５月15日に行われた

16日　質　平成５年の引継文書の中の昭和43年都市計画課の公園図面の複写するための貸し出し許可について

答　館長決裁要

19日　質　公文書館で保存されている文書は情報公開の中でどのような扱いを受けているのか、特に個人情報制度の下でどのように文書が取り扱われているか

答　公文書館に移管された文書の公開は公文書館独自で判断するように調整中である

20日　質　昭和20年～ＵＳＣＡＲ時代の警察局の資料はあるか、米国公文書館にはあるか

答　該当資料はなし、米国公文書館も引越中で検索が不可である

22日　質　明治34～35年の沖縄県令の教科書採択について

答　明治44年11月10日発行沖縄県知事官房文書係沖縄県令達類纂

３月４日　質　西原町の仲伊保、伊保の浜に関する地図や空中写真はないか

答　大正８年旧日本軍作成地図に仲伊保や伊保の浜の地名あり

質　昭和25年の琉球海運規則の有無

答　米国の沖縄統治関係法規総覧Ⅱ海運規則、琉球列島米国軍政本部布令第２号昭和25年１月27日

８日　質　復帰前の国際結婚の件数についての資料がないか

答　琉政文書、行政刊行物などに該当資料はなし

12日　質　沖縄県史13のp888に掲載されている地震に関する表が不明なため、原本を閲覧できないか

答　県史編纂室を紹介

13日　質　琉球国由来記の時代以後の各間切のノロの配属について知りたい

答　宮城栄昌著沖縄のノロの研究を紹介する、県立図書館郷土資料室を紹介する

18日　質　沖縄タイムス創刊号、ウルマ新報創刊号の撮影について

答　沖縄タイムス社貸し出しはできないが、撮影は可、県立博物館貸し出しも、撮影も可である

質　琉球政府時代に発生した米兵による婦女暴行事件に関する資料はないか

答　1970年の前原高校女子生徒刺傷事件に関する学校長、PTA会長等による決議文

19日　質　明治末期～昭和初期にかけての家譜の資料はないか

答　先祖から伝わる家系図がない場合、ルーツを辿るのはたとえ士族の場合でも困難

質　福祉や生涯学習について詳しい資料はないか（ビデオ等で詳しく説明）

答　沖縄県立教育センター、那覇市立教育センターを紹介

22日　質　軍関係メイドについて、刊行物を紹介してほしい、Ｆ　ＡＣＴＳ　ＢＯＯＫ米国民政府発行

答　労働省沖縄婦人少年室から寄贈、２冊目は行政情報センターから引継ぎした資料の中にあり

質　本土復帰に関する公電漏洩事件の概要について
答　琉政文書には該当無し
平成８年３月25日　質　終戦直後教員独自で発行したガリ版刷りの教科書、それに関する資料はあるか
答　無し、明治期と戦時中文部省が配布した教科書
27日　質　日本政府官員録明治12年11月12日発行～明治44年まで
答　公文書館にはない、県立図書館は明治26年のものがある
28日　質　貨物トラックの事業免許について、合同トラック、沖縄運輸の協定料金決定の経緯を知りたい
答　群島政府時代の広報を紹介、目当ての情報無し
質　一中で英語を教えていた宣教師ヘンリー・アモア氏についての情報を探している
答　県立図書館収蔵のマイクロフィルム紹介
４月１日　質　沖縄に初めて郵政が布かれた万延元年～明治３年代にかけての資料を探している
答　逓信博物館（パレット久茂地）を紹介
９日　質　本部高校の創立に関する文書について
答　昭和37年38年頃調査が全県的に行われ、公報も出されている。琉球政府文教局高等教育課の文書を印刷し、提供した
質　本部高校の設置認可に関する申請書について
答　昭和41年10月７日広報記載、文教局高校教育課の高等学校許可認可届等に関する書類
11日　質　沖縄懸日誌について、
答　懸史の正しい列びは10、12、15の順の報告あり
12日　質　アメリカ占領期の福祉に関する法令について
答　琉球政府文書厚生局で検索、15件、法令及び例規に関する書類３簿冊閲覧
15日　質　労働基準監督年報の創刊号から３号までがあるか
答　琉政刊行物、琉政文書で検索するが該当するものはない
17日　質　琉球政府文書、名護都市計画の決定・都市計画審議会議事録の複写希望
答　簿冊が厚すぎて資料を傷めるおそれがあるので複写申請を却下、カメラ撮影ができる旨をつたえる
20日　質　玉城鉄工所の認可の資料を見たい
答　公報琉政文書で検索するが該当する資料がない
５月２日　質　謝名親方の墓の所在地をしりたい
答　資料編集室に問い合わせても所在地確認できない
９日　質　公報に掲載されている登記広告について
答　現在の公報掲載の規程は復帰時に改訂された
14日　質　土地所有者の名前を調べたいが９名の内、１名の名前だけしか分からない
答　土地所有権申請書と、一筆限調書を説明
質　琉球政府時代の漁旗について遠洋漁業に出る漁船に掲げていた琉球独自の旗の図案が見たい
答　沖縄大百科辞典の琉球船舶旗の頃にある
15日　質　地図、図面の著作権について
答　地図帳など見開きで一枚の地図と見なし、半分以上の複写は認めていない

平成８年５月21日　質　琉球政府時代の自由貿易地域の交通、流通、関税に関する資料がないか
答　自由貿易で検索すると55件あり
23日　質　昭和38年頃移動相談所から出された工業高校誘致に関する資料、及び行政主席あてに出された高校設置に関する陳情書が見たい
答　以前閲覧されたときの移動相談所関係資料を検索
25日　質　恩給受給申請の却下理由について
答　琉政文書を恩給で検索し、資料を提供した
６月６日　質　復帰前の外人登録について、
答　琉政文書を外国人登録で検索し、その文書リストをＦＡＸ送付する
８日　質　祭温と東風平町について、祭温の父祭鐸が東風平町に来たと言われている
答　祭温全集の祭温之自叙伝に志多伯村という地名有り、現在の東風平町字志多伯かもしれない
９日　質　地図並びに集計表作成に関する件、昭和22年５月16日沖総184、各市町村長あて総務部通牒をある本からコピーしたが出典が分からない
答　昭和22年沖縄諮詢会当の資料をみるも該当資料無し
７月４日　質　大里村の歴史について、稲嶺、大城、与那原、目取真の明治以前の資料があるか
答　公文書館の収蔵資料の説明をして沖縄県立図書館を紹介する
８月１日　質　民政府時代の総務部長の通牒について
答　布令、布告の類ではなく、通牒のため検索困難
15日　質　行政刊行物学校基本調査報告書があるか
答　４号書庫に昭和34年～昭和46年までの学校基本調査報告書がある
琉球と沖縄、沖縄はいつから使用されているか
答　小玉正任氏の論文琉球と沖縄を紹介
９月５日　質　明治35年の貿易関係の統計があるか
答　資料編集所所蔵の沖縄県統計書明治35年の中に該当資料を見つけた
７日　質　復帰当時のゲート通りの映像があれば撮影して番組で放映したい
答　該当する映像資料無し
24日　質　向氏、名乗頭（朝）元祖嘉味田親雲上の家譜があるか
答　那覇市首里系家譜調査報告書に記述あり、原本は那覇市歴史資料室にある
10月４日　質　米国公文書館所蔵の沖縄全軍労関連の資料は
答　平成９年度から米国公文書館の沖縄占領関係資料をマイクロフィルムで収集予定有り
平成９年10月７日　質　社大党が昭和30年にハル民政長官にあてた米国の琉球統治に対する見解があるか
答　沖縄社会大衆党史に同タイトルが収録されている。原資料は現時点では見つかっていない

9　研修・調査・研究等

項　　目	平成4	平成5	平成6	平成7	平成8	平成9
1　国立公文書館（短期研修）	宮城　保	富　永	金　城	大　湾	豊見山	仲　地
2　国立公文書館（長期前・後28日間）						
3　公文書館職員等研修会				富　永	垣　花	豊見山
4　国文学研究資料館史料館（短期研修）				垣　花		仲　本 （沖縄）
5　国文学研究資料館史料館（長期研修）						
6　著作権講習会（九州地区）				垣　花 金　城 （熊　本）		豊見山 （福　岡）
7　全史料協全国大会			久部良 （神奈川）	富　永 （和歌山）	仲　地 垣　花 （秋田）	佐久川 具志堅 垣　花 金　城 久部良 （香川）
8　修復関係業務研修				大　湾 （国・図）	大　湾 （国・図）	
9　資料保存シンポジウム （国立国会図書館）				大　湾	大　湾	
10　記録史料保存・修復を考える研究集会					大　湾 （東　京）	
11　文化財虫菌害実務担当者研修会						大　湾 （大　分）
12　地図自主研修						
13　沖縄県地域史協議会（県内・離島）			富　永 （石　垣）		仲　地 （宮　古）	
14　沖縄県視聴覚協議会						仲　地 （名　護）
15　米国資料調査					宮城　剛 源　河	砂　川
						副館長 豊見山 比屋根
16　欧州公文書館調査						館　長 富　永
17　中国・台湾資料調査						久部良 （南　京）
18　EASTICA会議 （東アジア文書館会議）				館　長 砂　川 （澳　門）	館　長 豊見山 （香港）	

10. 沖縄県公文書館運営懇話会

(1) 設置根拠

平成７年10月27日施行の沖縄県公文書館運営懇話会設置要綱第１条に基づき沖縄県公文書館運営懇話会を設置する。

(2) 委員名簿（任期　平成８年１月９日～平成10年１月８日）

氏　　名	所　属　・　職　名
１．比屋根　照　夫	琉球大学　教授（教育部）
２．喜久川　　宏	沖縄国際大学　教授（短大部　部長）
３．金　城　正　篤	沖縄大学　教授（法文学部　人文学科　日本・東洋文化）
４．金　城　　功	沖縄大学　教授
５．我　部　政　明	琉球大学　助教授（法文学部　法政学科）
６．名　嘉　正八郎	新沖縄県史編集委員会委員
７．保　坂　廣　志	琉球大学　教授（法政学部　人文学科）
８．玉　城　朋　彦	琉球放送　報道局報道部　部長補佐
９．照　屋　健　吉	沖縄県テレビ放送　報道局報道部　部長補佐
10．喜久名　静　子	沖縄キリスト教短期大学　教授（保育科）
11．大　城　道　子	新沖縄県史編纂委員会　専門調査員　女性史編部会委員
12．西　　登貴世	沖縄県学校薬剤師会　副会長
13．源　　啓　美	ラジオ沖縄　業務部　副部長

(3) 会長及び副会長

会　長　比屋根　照　夫

副会長　喜久川　　宏

(4) 会議

１）第１回沖縄県公文書館運営懇話会

期日　平成８年１月９日（火曜日）午後３時～４時

場所　沖縄県公文書館会議室

議題　①　役員の選出

②　当公文書館の業務説明

２）第２回沖縄県公文書館運営懇話会

期日　平成８年５月27日（月曜日）午後２時～３時30分

場所　沖縄県公文書館会議室

議題　①　一周年記念事業について

②　公文書館の業務の中、長期計画について

３）第３回沖縄県公文書館運営懇話会

期日　平成９年６月26日（木曜日）午後３時～５時

場所　沖縄県公文書館会議室

議題　①平成９年の予算の概要と年間業務計画

②岸コレクションに関する特別展について

11. 出版事業 （平成７年度から平成９年度までに沖縄県公文書館が刊行した出版物）

平成７年度刊行物

名　　称	発行年月日	発行部数
沖縄県公文書館開館記念特別展　清代中国・琉球関係档案資料展目録	平成７年８月１日	3,000部
沖縄県公文書館開館記念事業報告書	平成７年９月27日	300部
ARCHIVES 沖縄県公文書館だより第１号	平成８年１月31日	1,000部

平成８年度刊行物

名　　称	発行年月日	発行部数
ARCHIVES 沖縄県公文書館だより第２号	平成８年６月11日	2,000部
ARCHIVES 沖縄県公文書館だより第３号	平成８年７月１日	2,000部
開館一周年記念特別展　琉球政府の時代－図録－	平成８年８月１日	1,000部
ARCHIVES 沖縄県公文書館だより第４号	平成９年２月20日	2,000部

平成９年度刊行物

名　　称	発行年月日	発行部数
ARCHIVES 沖縄県公文書館だより第５号	平成９年６月30日	2,000部
特別展　沖縄へのまなざし岸秋正文庫の世界	平成９年８月１日	1,000部
ARCHIVES 沖縄県公文書館だより第６号	平成９年10月20日	2,000部
琉球政府行政機構変遷図 1952.4.1～1972.5.14	平成10年２月13日	1,000部
ARCHIVES 沖縄県公文書館だより第７号	平成10年３月１日	2,000部
沖縄県公文書館研究紀要＜創刊号＞	平成10年３月31日	1,000部
米国民政府ニュース・リリース及び関連資料目録	平成10年３月31日	1,000部
琉球水道公社文書目録	平成10年３月31日	1,000部
GHQ／SCAP 文書目録	平成10年３月31日	1,000部

12. 館内における物品販売

(1) 喫茶室「あしゃぎラウンジ」

沖縄県公文書館では、来館者の利便を図り、かつ、リピーターの確保を目的として、喫茶室「あしゃぎラウンジ」を開設している。運営は下記専門業者へ委託している。

- 住　所　浦添市屋富祖１丁目２番地14号
- 氏　名　マックスフード有限会社　代表者　宮城　正博
- 契約の期間は年度単位で４月１日より翌年３月31日までとしているが、特に支障がないかぎり　契約期間の更新は、自動的に行うものとしている。
- サービスしている主な商品

  珈琲、紅茶、ゴーヤージュース、スモモジュース、アイスクリーム、タンナファクルーセット、菓子パン

(2) 閲覧棟１階、ロビーの展示室入り口わきで当館発行の刊行物も販売している。

(3) 閲覧棟１階トイレ入口わきに飲料商品の自動販売機を業者が設置し、売り上げの一部を沖縄県文化振興会の雑収入として歳入している。

13　沖縄県公文書館感謝状贈呈者一覧

年　月　日	氏　　名	理　　由	備　　考
平成６年３月18日	上　杉　隆　憲　氏 （第２代沖縄県知事上杉茂憲曽孫）	沖縄懸日誌等 沖縄関係資料寄贈	財団法人沖縄県人材育成財団、沖縄県知事大田昌秀より感謝状贈呈
平成８年２月28日	石川喜進氏（陶芸家）	陶器製シーサー寄贈	
３月18日	重信　豊氏（切手収集家）	久米島切手、元逓信従業員沖縄戦記寄贈	
５月４日	粕谷慎敬氏（撮影者、故粕谷眞洋元慶応大学教授子息）	富名腰儀珍空手演舞９ミリ映画フィルム及び関係資料寄贈	
29日	安次富長昭氏 （琉球大学名誉教授）	16ミリ映画フィルム 「明日を導く人々」寄贈	
６月21日	多和田真重氏（那覇出版社代表）	沖縄記録写真集寄贈	
22日	小玉正任氏 （財団法人沖縄協会会長）	沖縄関係図書及び16ミリ映画フイルム「沖縄」　寄贈	
平成８年８月１日	平良梅子氏 （元沖縄県知事故平良幸市夫人）	平良幸市蔵書寄贈	
	稲嶺盛保氏（会社役員）	沖縄関係図書及び陶器、古銭等寄贈	
	宮城真勇氏（元沖縄県総務部長）	地域史料（同氏の辞令書等）寄贈	
	久場政彦氏（元琉球大学教授）	地域史料、行政資料寄贈	
	嵩原菊氏 （元社大党委員長嵩原久男氏夫人）	嵩原氏蔵書寄贈	
	船越義彰氏（作家）	地域史料（芸能、文芸等文化関係）寄贈	
	岡一勇三氏（名瀬市伊津部老人クラブゆりの会会長）	米国留学関係資料及び一周年記念事業への協力	
	間好子氏（乙姫劇団団長）	16ミリ映画フィルム（月代物語、山原街道）寄贈	
	喜納馨氏（会社役員）	８ミリ映画フィルム（石川ジェット機墜落事故記録等）寄贈	
平成８年８月１日	名嘉　正八郎	地域史料の寄贈	
	国吉　昇氏	地域史料の寄贈	
	安仁屋　真現	地域史料（守礼の光等）の寄贈	
	翁長良明氏	明治、大正時代小学校教科書等の寄贈	
10月９日	宮城京子氏	宮城聡氏蔵書の寄贈	
平成９年１月17日	岸　朝子氏	岸秋正氏蔵書の寄贈	
２月６日	大山　朝常氏	沖縄関係図書の寄贈	
11月17日	ショーン バーリントン クィン	安次富ミキ関係資料を受贈	
	アシュレイ エリン クィン	安次富ミキ関係資料を受贈	

業　務　報　告

1　資料の利用・閲覧業務の概要

沖縄県公文書館は、収集した資料のうち、整理した資料を県民の利用に供している。

閲覧業務の内容は①資料の検索、②資料の複写（電子複写機による複写・コピー、写真撮影、マイクロ撮影）③出版物等への掲載、④ビデオの視聴サービス、⑤館内案内、⑥レファレンスサービスである。

よく利用されている資料は土地所有申請書、USCAR文書、琉球政府文書である。また、レファレンスは空中写真に関する問い合わせや琉球政府文書に関するものが多い。

2　資料の収集・整理事業の概要

沖縄県公文書館では歴史資料として重要な公文書等の資料を収集・選別・整理している。資料の収集は引渡・移管・寄贈・寄託・購入・複製作成の方法により行っている。資料のデータはすべて公文書館システムに登録し、館内のコンピューターで検索ができるように整備して利用の便を図っている。主な資料群としては以下のものがある。

(1)　沖縄県文書

沖縄県文書とは、廃藩置県以降に設置された沖縄県および1972年５月15日に発足した沖縄県が作成または取得した公文書等をいう。公文書館はそれらの公文書等を収集し、選別・整理して利用に供している。ただし昭和20年以前のものは原則としてすべて収集する。

平成９年度からは、県公文書館県政文書収集基準に基づいて、廃棄文書の引渡時における第一次選別を行ったうえで県文書を収集している。収集した県文書は、最終選別を行うまで中間書庫で管理し、選別後は、個人情報を含むものや法令等に定めのある場合等を除いて、公開している。

(2)　琉球政府文書

琉球政府文書とは、戦後、米軍が沖縄を統治した27年間における沖縄側の行政組織の文書をいう。沖縄諮詢会、沖縄・宮古・八重山・奄美民政府、沖縄・宮古・八重山・奄美群島政府、琉球臨時中央政府、琉球政府などが作成・取得した文書等が含まれる。

(3)　USCAR文書

米軍の沖縄占領関係資料は、琉球列島米国民政府（略称ユースカーUSCAR）のものをはじめ、大部分が米国で保管されている。県公文書館はこれらの資料を「USCAR資料」と総称し、収集・整理している。USCAR資料の調査・収集の重要性は、平成4年3月の「沖縄県立公文書館基本構想」においても指摘されていた。

(4)　行政刊行物

沖縄県公文書館は、沖縄県・琉球政府などの行政機関が発行した刊行物をすべて収集する。その他の公共団体が発行した刊行物のうち、沖縄県に関連のあるものも収集している。

(5)　地域資料（档案資料、私文書等）

沖縄県公文書館はその他、档案資料・古文書・私文書・図書・新聞等を収集・整理している。

档案資料とは、琉球と中国との交流から生み出された公文書等のうち中国の档案館等に保存されているものをいう。古文書は廃藩置県以前に作成された文書等の資料である。また、私文書として、沖縄県や琉球政府、USCARなどの機関の要職にあった者並びに沖縄の政治・経済・文化に対して深く関わった者または多大な影響を及ぼした者に関連する資料または同人が有していた資料を収集する。

(6) 映像・音声資料収集・整理業務

館内にフィルム保管専用書庫とフィルム整理室を配置し、沖縄関係映像・音声資料を収集して保存、活用を図ることを館の重要な業務として位置づけ、映像・音声資料関係の機器を設置し、保存活用の業務が適切に行われるよう環境を整備した。

県内外で沖縄関係映像・音声資料の所在調査を実施すると共に複製を作製して資料を収集した。収集した原本資料は保管し、閲覧はビデオテープで行っている。

3 保存・修復・マイクロ・電算業務の概要

沖縄県公文書館では、館所蔵資料を現在及び将来にわたって利用できる状態に保つため、保存・修復・マイクロ・電算業務を行っている。

(1) 保存・修復業務、書庫管理、燻蒸、保存容器の使用等、資料を取りまく環境の整備に努め、そのための調査、研究を行っている。また、劣化資料や貴重資料を中心に修復業務をすすめ、平成7年～9年には、主に古文書や戦前に作成された県公文書の修復にあたった。今後は琉球政府文書等の修復にも着手する予定である。

(2) マイクロ・写真撮影業務は、平成7年10月に開始し、主に利用頻度の高い土地所有申請書を中心に撮影。その他、貴重資料、著しく劣化し閲覧に支障をきたす資料の撮影や、一時的に借用した資料の複製作業も行っている。現在、整理作業中の琉球政府文書や岸文庫のマイクロ化も実施しているところである。

(3) 電算関係業務、公文書館資料管理システムの保守作業、公文書館ホームページの構築作業及び運営、県行政情報センター等の他機関で作成された目録データを自館システム用に変換する作業を主として行っている。(概要7のシステムの詳細を参照)

また、今後の課題として、デジタル情報の整理、及び保存方法の検討と、文書を発生時点から管理する総合文書管理システムの研究をすすめている。

4 普及業務の概要

沖縄県公文書館では、広報活動の一環として、毎年企画展を行っている。また、さまざまなトピックの講演・講座を開催し、一般県民の利用者層の拡大をはかりながら、一方で資料保存の意識を啓発するためのシンポジウムや市町村の文書担当者を対象にした研修を開催し、専門的な領域における普及活動も行っている。

20　開館記念特別講演「中国、琉球関係档案資料の解説」

21　開館記念特別展示会

22　市町村文書担当者研修会

23　マイクロ撮影作業

24　薫蒸作業

25　劣化した資料の保存修復作業

1　利用状況

(1)　利用状況

平成７年８月１日の開館から翌年の３月までの利用状況は下記表の通りである。

開館の８月には１日平均429人、１ヶ月間の入館者が１万人弱あり、多くの人々が関心を寄せ、来館し施設の見学や収蔵資料を閲覧した。

利用状況一覧表

	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	累計
開館日数（日）	23	20	21	21	19	18	20	20	161
入館者数（人）	9,873	3,299	2,750	3,626	2,451	1,795	1,870	2,343	28,007
（一日平均入館者数）	(429)	(165)	(131)	(181)	(129)	(100)	(94)	(117)	(174)
閲覧室入室者数（人）	5,038	1,590	1,195	1,551	1,487	1,017	1,097	1,511	14,486
（一日平均入室者数）	(219)	(80)	(57)	(78)	(78)	(57)	(55)	(76)	(90)
閲覧申請者数（人）	79	73	121	65	60	48	43	62	551
（土地所有権申請者数）	(15)	(23)	(14)	(12)	(11)	(18)	(14)	(18)	(125)
閲覧申請件数（件）	548	221	1,258	281	706	303	163	197	3,677
（土地所有権申請件数）	(52)	(81)	(53)	(34)	(115)	(71)	(61)	(63)	(530)
利用証申請者数（人）	257	79	23	44	20	30	52	38	543
複写申請件数（件）									
複写枚数（枚）									
ビデオ視聴件数（件）	5	16	18	18	8	8	6	12	91
レファレンス件数（件）	27	18	5	22	7	11	17	23	130
館案内（団体数）									

※　平成７年度は土、日曜日休館です。

(2) 特別利用

収蔵資料は原則として館外貸出しはできないが、行政利用等の特別に必要があり、持ち出してもその管理に支障がないと認めた場合は沖縄県公文書館管理規則第12条第２項により館外貸出しをした。また、資料の撮影、出版物等への掲載についても沖縄県公文書館管理規則第10条及び第12条によりそれぞれ許可した。

① 主な収蔵資料館外貸出

番号	資料名	部数	貸出期間	目的	借用者
1	沖縄行政機構変遷史等	3冊	7年4月7日 ～30日		トロピカルテクノセンター 情報開発部長　有銘政秀
2	沖縄県史１通史	1冊	7年6月6日 ～12日		㈱シネマ沖縄 長浜あさみ
3	都市計画課５－Ｄ－７　簿冊№23．26	2冊	7年6月13日 ～16日		沖縄県都市計画課
4	屋嘉トンネル新設工事設計書	1冊	7年7月18日		浦添市都市計画部 区画整理事業課　新川謙
5	沖縄関係写真パネル	80点	7年9月20日 ～10月15日	平成７年度岡崎城西高校文化祭で展示	愛知県岡崎城西高等学校 荻野健三
6	南風原給油所1945年７月物品受払簿等	34件	7年10月４日 ～16日	那覇市戦後50周年記念展展示資料	那覇市文化局歴史資料室 室長　大城康洋
7	映画フィルム「執念の毒蛇」	1巻	7年10月31日 ～11月24日	コザ中学校文化祭で上映	金城辰也 沖縄市松本５－14－11
8	太平洋戦争沖縄戦終結50周年事業写真パネル	197点	7年11月29日 ～12月４日	沖縄戦終結50周年記念行事実施	大宜味村教育委員会 教育長　島袋義久
9	戦後50周年記念事業写真パネル	30点	8年１月22日 ～２月29日	「沖縄からのメッセージ」事業パネル展	沖縄県広報課 古堅宗一朗
10	ラサ島空中写真パネル	1点	8年２月23日	カラーコピーの為	有限会社朝光設計 代表取締役　糸洲朝光
11	浦添村用途　街路、広場、公園の決定等	4件	8年２月26日 ～３月31日	大型図面のカラーコピー作成	沖縄県土木建築部 都市計画課長
12	沖縄関係写真パネル	11点	8年３月９日 ～３月13日	「平和のつどい」における展示	東都生活協同組会 柄神原正人
13	戦後50周年記念事業写真パネル	23点	8年３月22日 ～３月26日	「沖縄からあなたへピースメッセージINくまもと」	戦後50周年行動実行委員会 委員長　野間口央　熊本県

② 撮影、複製、掲載、放送許可

番号	資料名	数量	許可期日	目的	申請者
1	沖縄県日誌１～20「撮影」	20冊	7年8月31日	NHKニュース「沖縄でも地震は起きる」番組作成	徳永圭司 那覇市首里寒川町２－20
2	移住者送出に関する書類等「撮影」	6点	7年11月20日	NHK衛星放送「列島スペシャル」沖縄ボリビア移住者（仮題）	NHKエンタープライズ21 倉見芳和 東京都渋谷区神南2-2-1
3	ラサ島空中写真パネル「複写」	1点	8年２月23日	祖父が働いていた所であり、記録したい	有限会社朝光設計 代表取締役　糸洲朝光

2　収集・整理業務

(1)　資料収集整理数

単位：点数

資料名		寄贈	購入	移管引渡	複製撮影	寄託	合計
文書	琉政文書等			153,682			
	県政文書			12,132			
	USCAR文書等						165,814
行政刊行物		12,513					12,513
地域資料		1,238	1,633				2,871
その他資料		522	470				992
地図	原図		335				
	複製		820				1,155
写真	フィルム						
	パネル						
	写真						
映像フィルム	16 mm	8					
	35 mm						
	その他	14					22
ディスク	CD		1				
	LD						
	フロッピーディスク						
	レコード						1
ビデオ	ベータ		8				
	VHS	55	112		13		188
録音テープ	カセット	111			13		
	オープンリール	178					302
マイクロフィルム	16 mm R			808 (1,549,862)	148 (234,536)		
	35 mm R		85 (53,844)		92 (53,363)		1,133 (1,891,605)
	フィッシュ 枚		4,404 (369,936)				
	ジャケット 枚						4,404
	アパチャーカード 枚						(369,936)

（注）1．琉政文書等には、土地所有申請書やその他復帰までの戦後公文書も含まれる。
2．ＵＳＣＡＲ文書等には、その他の英文公文書も含まれる。
3．行政刊行物や地域資料で複数収集したものは３点まで計上した。
4．その他資料には、一般図書も含まれる。
5．マイクロフィルムの（　）は、コマ数を表す。

(2) 主な収集資料

1．県教育庁より引継資料
　琉政文書（15万冊）、土地所有申請書（5,102冊）、一筆限調書（56市町村分）
　軍雇用員カード（215箱）、出入国管理カード（736箱）、沖縄県文書（1,598箱）
2．文書学事課より引継ぎの沖縄県文書　（12,135箱）
3．松岡政保蔵書（元行政主席）　49箱（1,097点）
4．平良幸市蔵書（元知事）　14箱（117点）
5．嵩原久男蔵書（元社大党委員長）　519箱（519点）
6．宮城聡蔵書（作家）　（493点）
7．上里安儀蔵書（元企業局職員）　12箱（131点）
8．名嘉正八郎資料（歴史研究家）　（563点）
9．沖縄戦関係資料マイクロフィルム（米国空軍歴史調査研究センター蔵）宮城館長提供　15本（22,969コマ）
10．同上マイクロ写真複製本作成　96冊（18,439枚）
11．ＧＨＱ文書の沖縄関係資料マイクロフィッシュ（ネガ•ポジ）（米国立公文書館蔵）　（2,195枚×２）
　（約150,000コマ）
12．占領期初期沖縄関係写真ネガフィルム20冊　（米国立公文書館蔵）（陸軍625枚・海軍238枚）
13．比嘉太郎蔵書（移民関係）　アルビン比嘉より受贈　（401点）
14．対米請求権事業協会、琉球政府文書　93箱（922点）
15．ラサ島関係資料
　（陣中日誌15冊・兵用地誌原図２葉　等）　森田芳雄（元ラサ島守備隊長）より受贈　（55点）
16．ジョージ・Ｈ・カー関係資料　（1,035点）
17．清代中琉関係档案資料（レプリカ）（中国第一歴史档案館蔵）　（196点）
18．芸能関係資料（船越義彰氏）　３箱（225点）
19．「大琉球島探検航海記」　バジル・ホール著（1818年版）　１冊
20．「日本遠征記」ペリー著　（1856年版）　３巻
21．当間家資料　当間節子（川崎在）より受贈　２箱
22．沖縄関係資料
　（ハワイ一世の録音テープ15本も含む）　稲嶺盛保（ジミー会長）より受贈　（42点）
23．戦前期の資料　高江洲家（久米島）より受贈
24．戦前期の教科書・明刀銭・壺等　翁長良明より受贈　１箱（56点）
25．魚の化石　ブラジル県人会より受贈
26．映像音声資料　戦前期　（寄贈、購入、複製等も含む）　（490点）
27．戦前戦後の文書　八重山支庁より受入　（42点）
28．写真パネル　広報課・平和推進課より受入　232枚
29．門奈直樹コレクション（沖縄の言論関係資料）受入　（1,051点）
30．労働省沖縄婦人少年室引継資料　17箱（377点）
31．第一回特別給付金（没妻）　県援護課より受入　39箱
32．ミシガン大学より寄贈の沖縄関係資料
　（「今日の琉球」「守礼の光」、ニュースサマリー、ニュースリリース等）　２箱
33．県東京事務所蔵資料（行政刊行物）受入　16箱
34．田港朝和氏（1950年の政府広報紙、戦後ハワイでの刊行物）より受贈　４点
35．森田芳雄氏よりラサ島地図受贈　18点
36．県福岡事務所より映画フィルム３本、沖縄に関する終戦処理関係法令受入
37．沖縄協会「沖縄問題研究シリーズ」より受贈　28冊
38．喜納馨氏より石川ジェット機事故８㎜フィルム受贈　７本
39．青山光衛氏より復帰前のパスポート受贈　５点
40．重住豊氏（東京在）より久米島切手（原物）受贈

(3) 琉球政府文書

沖縄県立図書館より、琉球政府文書、土地所有申請書、一筆限調書、軍雇用員カード、出入域管理カード等、戦後の公文書を引き継いだ。琉球政府文書の箱と簿冊のデータ16万件余は、８月の閲覧開始に間に合わせて公文書館システムへ登録した。

(4) 沖縄県文書

開館にあたって文書編集保存規程の改正が行われ、平成４年度から７年度の４年度分の知事部局廃棄文書が県公文書館に引き渡された。その他、教育庁が収集・保管していた県文書も移管された。

平成７年度　知事部局からの受入文書数

ＩＤ	部	課　　名	箱 数
1	総　務　部	総務部総務課	262
2		秘書課	21
3		広報課	12
4		国際平和交流課	1
5		国際交流課	17
6		基地対策室	6
7		女性政策室	1
8		人事課	25
9		情報管理課	1
10		財政課	38
11		税務課	27
12		管財課	28
13		文書学事課	60
14		職員厚生課	1
15		地方課	61
16		消防防災課	397
17		県庁舎建設局	1
18		県庁舎建設室	2
19		財務会計システム	3
20	企画開発部	企画総務課	65
21		企画調整室	27
22		土地利用対策課	10
23		土地対策課	28
24		離島・交通対策課	43
25		統計課	41
26		情報システム課	15
27		振興開発室	38
28	生活福祉部	福祉総務課	225
29		社会課	98
30		社会福祉課	122
31		長寿社会対策室	96
32		児童家庭課	717
33		障害福祉課	221
34		援護課	44
35		県民生活課	30
36		青少年課	20
37		国民健康保険課	84
38	環境保健部	保健総務課	217
39		予防課	1,441

ＩＤ	部	課　　名	箱 数
40		健康対策課	20
41		環境衛生課	58
42		生活衛生課	162
43		医務課	269
44		薬務課	83
45		公害対策課	15
46		環境保全課	26
47		自然保護課	16
48		病院管理局管理課	11
49		病院管理局業務課	2
50		病院管理局経営課	2
51	農林水産部	農林総務課	168
52		農政課	213
53		農林経済課	149
54		農政経済課	42
55		流通園芸課	21
56		園芸振興課	48
57		畜産課	204
58		糖業農産課	112
59		営農指導課	7
60		営農推進課	27
61		耕地課	124
62		農地水利課	176
63		農林建設課	70
64		農地建設課	262
65		林務課	77
66		みどり推進課	1
67		漁政課	44
68		水産振興課	127
69		漁港課	160
70	商工労働部	商工総務課	36
71		工業振興課	11
72		商工課	50
73		商業貿易課	1
74		中小企業指導課	71
75		経営金融課	9
76		企業立地対策室	2
77		観光振興課	20
78		文化振興課	11

ＩＤ	部	課　　名	箱 数
79		工芸産業課	16
80		労政能力開発課	6
81		職業能力開発課	13
82		渉外労務課	24
83		労政福祉課	4
84	土木建築部	土木総務課	613
85		技術管理課	75
86		道路建設課	187
87		道路維持課	239
88		港湾課	177
89		空港課	99
90		河川課	330
91		都市計画課	170
92		下水道課	30
93		建築課	136

ＩＤ	部	課　　名	箱 数
94		建築指導課	366
95		住宅課	318
96		用地課	92
97		都市モノレール	38
98		新石垣空港建設室	1
99	出納事務局	会計課	129
100		物品管理課	15
計			10,531

この他の収集資料

県立図書館保管教育庁文書	436箱
県立図書館保管知事部局文書	3,499箱
平和推進課作成写真パネル	236点
広報課作成写真パネル	35点

(5)　ＵＳＣＡＲ資料

米国立公文書館に保管されている琉球列島米国民政府（USCAR）の文書の収集について、合衆国首席アーキビストのジョン・カーリン博士に沖縄県知事名で協力依頼を行った。また、復帰時に沖縄側に移管されていた琉球水道公社文書を県立図書館より引き継いだのをはじめ、ミシガン大学よりニュース・リリースやUSCAR刊行物を受贈、また、国立国会図書館蔵のGHQ／SCAP文書（マイクロ・フィッシュ）の沖縄関係分を複製収集した。

［１］ＵＳＣＡＲ資料収集業務

	資料の区分又は名称	単　　位	７年度収集数
1	琉球水道公社文書	件	5,928
2	ユースカーニュースリリース	件	2,700
3	在米沖縄関係写真資料	簿冊	16
4	ＵＳＣＡＲ写真（含軍関係）	件	9
5	GHQ／SCAPマイクロフィッシュ	件	1,093
6	刊行物（「守礼の光」「今日の琉球」）	簿冊	800

(6)　地域資料

開館前後に多くの私文書を、寄贈／寄託により受け入れた。寄贈／寄託された資料には、宮城聡蔵書、嵩原久男蔵書、名嘉正八郎資料、比嘉太郎蔵書、門奈直樹コレクション、等がある。

地域資料寄贈者一覧

五十音順　略敬称

	寄　贈　者　氏　名
1	青山光衛
2	字具志川移転百周年記念事業実行委員会
3	浅野浦自治会
4	安次富長昭
5	新垣尚男
6	新川洋子
7	アルビン＝ヒガ
8	石田穣一
9	石橋英一
10	泉崎１丁目自治会
11	１フィート運動の会
12	稲嶺盛保
13	伊原間公民館
14	上江洲トシ
15	浦西自治会
16	大田政作
17	大中公民館
18	大原自治会
19	大嶺自治会
20	大山哲
21	沖縄サントリー
22	沖縄海邦銀行
23	沖縄瓦斯株式会社
24	沖縄銀行
25	沖縄県銀行協会那覇手形交換所
26	沖縄県高等学校長　春秋会
27	沖縄県司法書士会
28	沖縄県自動車整備振興会
29	沖縄県製パン事業共同組合
30	沖縄県宅地建物取引業協会
31	沖縄県電設資材卸業共同組合
32	沖縄山形屋
33	翁長良明
34	我部政男
35	神里常雄
36	神山吉光
37	漢那区
38	北里区
39	喜納馨
40	宜野座区
41	宜野湾自治会
42	鏡水自治会
43	金城朝夫
44	金城辰也
45	具志堅以徳
46	国吉昇
47	久場川町自治会
48	久場政彦
49	久米島新聞社
50	久米島製糖株式会社
51	県知事の「代理署名拒否」裁判を支援する市民・大学人の会
52	小玉正任
53	小波津団地自治会
54	小嶺長則
55	小湾自治会
56	重住豊
57	柴田収二

	寄　贈　者　氏　名
58	首里文化祭実行委員会
59	城区育英会
60	白石健二
61	新城信吉
62	砂辺松徳
63	瀬川渉
64	瀬底区
65	瀬名波ヨシ
66	銭又自治会
67	平良梅子
68	嵩原菊
69	玉城村前川区
70	多和田建
71	津嘉山自治会
72	照屋健吉
73	當間恵栄
74	渡具知農用地利用改善組合
75	豊見城村団地南分譲自治会
76	中城村久場自治会
77	名嘉正八郎
78	仲本吉盛
79	今帰仁村謝名区
80	那覇商工会議所
81	並里区
82	南西印刷出版部
83	西村貞雄
84	日本赤十字沖縄県支部
85	ノーマン＝イケイ
86	野村流古典音楽保存会
87	はえばる随筆クラブ
88	間好子
89	パトリック　ベイヴェール
90	玻名城区
91	比嘉武信
92	比嘉美代子
93	フランソワ　ブレナール
94	米軍Ｄ．Ｅ・
95	法政大学沖縄文化研究所
96	北部製糖株式会社
97	松岡実・松岡啓
99	美里自治会
100	宮城悦二郎
101	宮城企代・宮城京子
103	宮城滋
104	宮良長安
105	水納島班
106	森田芳雄
107	門奈直樹（寄託）
108	八木正自
109	山川宗徹
110	吉田朝啓
111	与那覇信子／高安和子
113	ラジオ沖縄
114	琉球銀行調査部
115	琉球製糖
116	琉球放送
117	琉薬

(7) 行政刊行物

琉球政府や沖縄県等が発刊した刊行物はすべて収集しているが、全国の公文書館をはじめ国や都道府県、市町村、その他の財団等が発刊した刊行物も受贈した。

行政刊行物寄贈者一覧（平成７年度～平成９年度）

［１］公文書館等

機　　関　　名	部数
北海道立文書館	13
秋田県公文書館	10
福島県歴史資料館	5
茨城県立文書館	9
栃木県立文書館	9
群馬県立文書館	27
埼玉県立文書館	36
千葉県文書館	27
東京都公文書館	23
神奈川県立公文書館	5
新潟県立文書館	18
富山県公文書館	9
愛知県公文書館	8
京都府立総合資料館	5
大阪府公文書館	5
和歌山県立文書館	10
鳥取県立公文書館	20
広島県立文書館	17
山口県文書館	44
徳島県立文書館	2
香川県立文書館	9
国立公文書館	149
全国歴史資料保存利用機関連絡協議会	10
横浜開港資料館	4
川崎市公文書館	2
藤沢市文書館	6
大阪市公文書館	26
尼崎市立地域研究史料館	2
八潮市立資料館	8
名古屋市市政資料館	3
滋賀大学経済学部附属史料館	6
広島市公文書館	9
柳川古文書館	2
沼津市明治史料館	4
北谷町公文書館	1
国文学研究資料館・資料館	15
外務省外交史料館	3

［２］図書館

機　　関　　名	部数
那覇市立図書館	6
浦添市立図書館	25
沖縄市立図書館	4
名護市立崎山図書館	11
琉球大学附属図書館	7
沖縄国際大学附属図書館	3
沖縄県図書館協会	2
福岡市総合図書館	4
鹿児島県立図書館奄美分館	12
国立国会図書館	2

［３］博物館

機　　関　　名	部数
沖縄県立博物館	200
沖縄市立郷土博物館	27
平良市総合博物館	14
宜野座村立博物館	2
東京国立博物館	2
葛飾区郷土と天文の博物館	9
一宮市博物館	3
名瀬市立奄美博物館	1
長野県立歴史館	2
高知県立歴史民族資料館	3
茨城県立歴史館	3
松戸市戸定歴史館	7
松戸市立博物館	1
豊島区立郷土資料館	1
藤沢市教育文化センター	3
笠利町立歴史民族資料館	2
尚古集成館	2

［４］美術館

機　　関　　名	部数
浦添市美術館	28
沖縄県立現代美術館建設検討委員会	3
読谷村立美術館	3

［5］大学・研究機関等

機　　関　　名	部数
東京国立文化財研究所	3
日本公衆衛生学会	1
近代日本法政史センター	1
東京大学資料編纂所	1
沖縄県地域雇用開発協議会	2
航空政策研究会	1
日本温泉気候物理医学界	2
和歌山大学紀州経済史文化史研究所	4
沖縄県経済研究センター	2
沖縄経済開発研究所	1
明治大学総務部歴史編纂室	5
学習院大学資料館	6

機　　関　　名	部数
沖縄学研究所	2
沖縄関係学研究所	1
地域創造研究所	1
日本民俗学会	2
防衛研究所戦史部	1
宮崎公立大学	1
神奈川大学史料編集室	2
創価大学平和問題研究所	1
関西大学年始編纂委員会	2
中央大学百年史編集委員会	4
沖縄地理学会	1
東京大学東洋文化研究所	2

［6］他府県

機　　関　　名	部数
北海道総務部職員厚生課	2
函館市史編さん室	2
青森県総務部人事課	3
宮城県総務部職員厚生課	2
秋田県総務部広報課県政情報室	1
山形県総務部職員厚生課	2
茨城県総務部職員課	1
伊奈町史編纂専門委員会	1
群馬県総務部人事課	3
埼玉県教育委員会	2
埼玉県地域史料保存活用連絡協議会	1
浦和市総務部行政管理課	6
所沢市教育委員会文化財保護課	4
川口市総務課市史編さん係	1
児玉郡美里町	1
（財）千葉県史料研究財団	8
佐倉市史編さん委員会	1
東京都総務局勤労部健康管理課	3
葛飾区教育委員会生涯学習部生涯学習課	1
大田区史編纂委員会	1
神奈川県職員健康管理センター	1
神奈川県第二教育センター	1
川崎市	3
福井県総務部県史編さん課	7
山梨県教育委員会学術文化課県史編さん室	1
静岡県総務部職員厚生課	3
愛知県職員課	4
愛知県総務部県史編さん室	1
新修名古屋市史編集委員会	3
三重県総務部職員課	2
三重県生活文化部学事課	7

機　　関　　名	部数
三重県保健環境部環境局環境政策課	1
（財）三重県職員互助会	1
滋賀県総務部人事課	2
京都府企画管理部職員課	1
大阪府総務部職員課	2
枚方市市民情報課（枚方市史編纂委員会）	3
門真市史編さん事務局	1
（財）兵庫県職員互助会	1
赤穂市総務部市史編さん室	1
奈良県総務部人事課職員厚生室	1
生駒市議会事務局	1
鳥取県総務部職員厚生課	2
島根県総務部職員課	2
島根県総務部総務課	1
岡山県総務部職員課	3
広島県総務部福利課安全衛生管理室	2
山口県総務部職員厚生課	4
山口県環境生活部県史編さん室	2
福岡県	3
福岡市環境局保安部	1
豊前市教育委員会	1
柳川市史編集委員会	2
筑紫野市教育委員会	1
佐賀県総務部人事課	3
長崎県雲仙・普賢岳自然変遷調査委員会	1
熊本県企画開発部文化企画室	4
大分県総務部職員厚生課	2
宮崎県総務部職員厚生課	2
鹿児島県農政部	1
鹿児島県企画部	8

［7］財団・社団法人等

機関名	部数
オキナワコンベンションビューロー	3
ニューメディア開発協会	3
運輸経済研究センター	1
沖縄コンベンションセンター	6
沖縄ビジターズビューロー	11
沖縄海洋博覧会記念公園管理財団	53
沖縄観光開発公社	2
沖縄観光連盟	7
沖縄経済開発研究所	2
沖縄建設技術センター	14
沖縄建設弘済会	3
沖縄県ＪＩＳ協会	1
沖縄県リゾート開発公社	4
沖縄県環境科学センター	7
沖縄県軍用地等地主会連合会	1
沖縄県経営者協会	1
沖縄県建設業協会	1
沖縄県建築士会	1
沖縄県公園・スポーツ振興協会	2
沖縄県公衆衛生協会	11
沖縄県工業連合会	3
沖縄県国際交流財団	40
沖縄県産業振興公社	23
沖縄県市町村振興協会	21
沖縄県私学教育振興会	2
沖縄県社会福祉協議会	2
沖縄県住宅供給公社	5
沖縄県商工会連合会	1
沖縄県小児保健協会	1
沖縄県小売商業支援センター	3
沖縄県職業能力開発協会	2
沖縄県信用保証協会	19
沖縄県人材育成財団	6
沖縄県水源基金	2
沖縄県水産業中央会	1
沖縄県精神衛生協会	10
沖縄県青少年育成県民会議	2
沖縄県体育協会	6
沖縄県対米請求権事業協会	8
沖縄県退職公務員連盟	1
沖縄県畜産公社	24
沖縄県長寿社会振興財団	15
沖縄県農業開発公社	3
沖縄県農業後継者育成基金	4
沖縄県物産振興会	1
沖縄県保健医療福祉事業団	66
沖縄県薬剤師会	2
沖縄交通安全協会連合会	1
沖縄工芸振興センター	1
沖縄地域科学研究所	102
沖縄中小企業振興公社	8
沖縄駐留軍離職者対策センター	2
機械システム振興協会	12

機関名	部数
九州経済調査協会	4
結核予防会沖縄県支部	5
元興寺文化財研究所	2
広島平和文化センター	3
国際マングローブ生態系協会	1
国際開発センター	2
国際交流基金アジアセンター	2
国際貿易投資研究所	1
国民経済研究協会	1
国民健康保険中央会	1
笹川記念保健協力財団	1
三井文庫	8
産業研究所	3
時事画報社	1
自治総合センター	4
渋沢史料館	3
女師・一高女ひめゆり同窓会	1
新エネルギー推進本部	1
政策科学研究所	6
専門図書館九州地区協議会	2
全国中小企業情報化促進センター	1
総合研究開発機構	2
大日本猟友会	3
地域計画連合会	1
地域産業技術振興協会	92
地方公務員等ライフプラン協会	4
地方行政システム研究所	2
地方財務協会	1
地方自治協会	2
中小企業事業団	4
通商産業調査会	5
都市経済研究所	2
都市計画協会	3
徳川黎明会	4
南西地域産業活性化センター	4
南部振興会	1
日本パインアップル缶詰協会	1
日本環境衛生センター九州支局	2
日本環境協会	1
日本看護協会保健婦部会沖縄県支部	2
日本交通公社	1
日本公園緑地会	1
日本広報協会	8
日本産業機械工業会	3
日本道路協会	1
日本離島センター	2
農山漁村文化協会	1
農村開発企画委員会	1
馬事文化財団・馬の博物館	2
福島文化センター	5
文化財虫害研究所	1
暴力団追放沖縄県会議	4
流通経済研究所	3

(8) 地図・空中写真収集整理業務

県公文書館では、県域の人文、自然環境の変貌と推移を記録する地図、空中写真を保存公開し、広く県民の調査、研究、学習に役立てるため、収集、整理を行っている。今年度は参考資料室に配架する地図を購入、整理した。その外、沖縄県対米請求権事業協会から寄贈された地図（第一次分）の整理作業を開始した。

収集

本年度に収集した地図は次表のとおりである。

種　別	収集のタイプ	受　入　日	作成又は撮影機関名	備　　考	数　量
地図	購　入	H 7 (1995) 7 ／24	国土地理院	国土地理院管理の米軍作成地形図192枚を含む	1,137枚
地図	寄　贈	H 8 (1996) 3 ／19	琉球政府・国土地理院・米軍・市町村	沖縄県対米請求権事業協会からの受入分／第一次分	233枚
地図	7 年度計				1,370枚

整理

- 国土地理院発行地図1,137枚の整理、並びに配架終了。
- 同上地図のデータシート作成終了
- 沖縄県対米請求権事業協会から寄贈された地図（第一次分）の整理作業開始

(9) 映像・音声資料の収集

フィルム整理室に16ミリ映画フィルムクリーニング機、ベーカムビデオカセットレコーダー、16ミリ映画フィルムテレシネ機等を整備した。映画フィルム・音声資料の寄贈、移管依頼を沖縄県各部課におこなった。沖縄県が企画し、業者が製作した映画フィルムは全てビデオテープで購入した。特に昭和７年に製作された「執念の毒蛇」をはじめ、個人の方々から戦前戦後に撮影された貴重な映像資料の寄贈が相次いだ。また、沖縄県公文書館は「ニライ・かなの城大冒険」をはじめ５本の沖縄の歴史をテーマにしたビデオを製作した。

映像・音声資料収集一覧

①映像資料

番号	種　別	資　料　タ　イ　ト　ル	数量(巻)	受入方法	受　入　先	備　　考
12	16㎜	明日を導く人々	1	寄　贈	安次富　長昭氏	製作：米国軍政府情報教育部
13	16㎜	沖縄列島（上、下巻）	2	寄　贈		製作：東プロダクション
14	BETACAM	沖縄全戦没者追悼式 中継６／23	1	録　画		製作：ＮＨＫ
15	BETACAM	“平和の礎”除幕式 中継６／23	1	〃		製作：ＮＨＫ
16	BETACAM	6.30沖縄慰霊の日、戦後50年平和の礎除幕式　他	1	録　画		製作：ＮＨＫ

番号	種　別	資　料　タ　イ　ト　ル	数量(巻)	受入方法	受　入　先	備　　考
17	16mm	執念の毒蛇	1	寄　贈	金城　辰也氏	製作：吉野　二郎
18	ＶＨＳ	ドキュメンタリー人間劇場　哀惜の海に陽は昇るハンセン患者と50年	1	〃		
19	ＶＨＳ	（財）沖縄県畜産公社　まーさんキャンペーン　ＴＶ－ＣＭ　岸朝子篇	1	〃		
20	ＶＨＳ	沖縄県公文書館　第１回講演会「戦時中におけるラサ島」森田芳雄氏Ｈ８．２．20	1	製　作		
21	16mm	青いときめき沖縄　他	3	移　管	沖縄県 福岡事務所	
22	８mm	石川市宮森小学校ジェット機墜落事故　他	7	寄　贈	喜納馨氏	
45	ＶＨＳ	仲里節由来　創作舞踏	1			
46	ＶＨＳ	1990 Les Danses d' Okinawa en France	1			
47	ＶＨＳ	第７回「舞と武」発表会　師範指導（県民の森）	1			
48	ＶＨＳ	県立郷土劇場落成記念講演　歌劇薬師堂（後編）	1			
49	Beta	沖縄芸居	2			
50	ＶＨＳ	沖縄県公文書館　建設記録	1			製作：屋部土建
51	ＶＨＳ	人間の住んでいる島	1			製作:「人間の住んでいる島」製作委員会
52	ＶＨＳ	ウリミバエ根絶の記録　他	60	購　入	シネマ沖縄	ミバエ対策事業所

※番号は配架して閲覧しているビデオテープの番号

②　音声資料

番号	種　　別	資料タイトル	数　量	受入方法	受　入　先	備　考
1	カセットテープ	宮城聡氏関係資料	110巻	寄　贈	宮城喜代・宮城京子氏	
2	オープンリール	宮城聡氏関係資料	157巻	寄　贈	宮城喜代・宮城京子氏	
3	レコード	宮城聡氏関係資料	247巻	寄　贈	宮城喜代・宮城京子氏	
4	レコード	琉球民謡、仲間節他９	10巻	寄　贈	池原盛光氏	ハワイ在
5	カセットテープ	沖縄県広報関係資料	１巻	移　管	沖縄県総務部広報課	
6	オープンテープ	沖縄県広報関係資料	４巻	移　管	沖縄県総務部広報課	

3　保存・修復・マイクロ・電算業務

(1)　保存・修復業務

開館に際し、リーフキャスティングマシン等業務に必要な備品等を整備、さらに書庫環境や中性紙製保存箱等の整備を図った。その上で所蔵資料の調査を開始、初年度は土地所有申請書の劣化状態調査を行い、保存方法を検討した。その他、八重山支庁より引き継いだ琉球政府文書やラサ島関係資料の修復、リーフキャスティング法による修復試験を実施した。

表１　平成７年度業務実績　　単位：簿冊、但しリーフの（　）内数値は試験枚数

	資料数	作業内容										のべ計	修復内容			のべ計
		劣化調査	修復			製本			保存容器				裏打ち等	リーフ	脱酸処理	
			A	B	C	機械	簡易	上	箱	フォ*	エン*					
合計	316	316	55	—	—	10	10	0	10	10	17	428	23	(10)	—	23(10)

注）＊１　表中の「修復」は、作業の難易度によりＡ・Ｂ・Ｃの３段階に区分。Ａ＝所要時間４時間以内（簡単な補填や綴じ直し、しわ伸ばし等）、Ｂ＝所要時間16時間以内（簿冊解体後に簡単な補修をし、綴じ直す場合等）、Ｃ＝所要時間16時間以上（簿冊解体後は、裏打ち等による補填やリーフキャスティング、脱酸処理を行い、綴じ直す場合）。但し、平成７～８年度は、修復方法別に集計したため、平成７年度については作業内容にかかわらず処置した簿冊数を修復Ａに計上し、平成８年度分は作業の再評価を行ってＡ～Ｃ段階に振り分けた。

＊２　平成７～８年度には、処置した資料の枚数の統計は取っていなかったので、修復内容別の総数は簿冊で計上した（但し、リーフキャスティングの試験数は完成枚数で示した）。

＊３　表中の「フォ」＝フォルダー、「エン」＝エンキャプスレーションを示す。

(2)　燻蒸業務

公文書館における資料の燻蒸は、館内の燻蒸設備を使用する場合と書庫全体の燻蒸、さらに一度に大量に資料が搬入される場合の外部での燻蒸委託の大きく３つに分けて行っている。

表５　平成７年度業務実績

燻蒸方式	回数	実施月日	使用薬剤	実施形態
書庫燻蒸　１／４／９・10／11号書庫	３回	５月・８／26	ブンガノン	委託
館内燻蒸設備での燻蒸	29	随時	エキボン	〃
館外委託燻蒸（那覇青果）	2	12／12・３／28	臭化メチル	〃
包み込み燻蒸	1	２／16～17	エキボン	〃
害虫駆除	1	10月	アースレッド	館職員

(3)　マイクロ撮影業務

撮影業務開始前の準備として、機器等のテスト撮影、撮影方法の検討及び撮影指示書等の書式を作成した。マイクロ撮影業務は当館職員と委託の両方で実施し、土地所有申請書のマイクロ化を中心に今年度は八重山支庁から引き渡しされた琉政文書や戦中戦後沖縄関係資料（USA FISPA Weekly Intell Report）の複製フィルムを作成した。

①マイクロ撮影・複製実績

	撮影フィルム（ネガ）			複製フィルム（ネガ）				複製フィルム（ポジ）			
	16mm*	35mm*	35mmJ*	16mm	35mm	16mmJ	35mmJ	16mm	35mm	16mmJ*	35AP*
数量	39	48	0	65	88	0	0	0	0	0	0
コマ数	87,935	16,597	0	125,604	57,762	0	0	0	0	0	0

マイクロフィルム総数：87（撮影）＋153（複製）＝240リール

総コマ数：104,532（撮影）＋183,366（複製）＝287,898コマ

*注釈：16mm:16mmロール　35mm:35mmロール　35mmJ:35mmジャケット　16mmJ:16mmジャケット　35mmAP:35mmアパチュアカード

②マイクロ引伸ばし

サイズ	A4版	A3版	A2版	A1版	A0版	B4版	B3版	B2版	B1版	不定形
枚数	0	384	30	20	4	0	0	0	0	0

引伸ばし総枚数：438枚

(4) 電算関連業務

1．公文書館システムの保守作業

公文書館システムの保守作業の他に、次の項目の性能向上開発をおこなった。

改善項目一覧

No.	機 能	改善項目概要
1	資料登録	資料バーコードの範囲指定印刷。
2	〃	資料タイトル、資料コメント、特記事項の入力領域の変更。
3	〃	土地台帳登録機能の追加。
4	資料検索	検索終了の権限をパスワードで確認。
5	〃	検索結果該当件数を表示。
6	〃	検索処理中に中断ボタン付きのメッセージを表示。
7	〃	土地台帳検索機能の追加。
8	貸出・返却	箱単位での貸出・返却を可能にする。
9	行政機構図	行政機構変遷図の変更

4 普及啓発事業

開館記念特別展「清代中国・琉球関係档案史料展」を開催、同時に琉球政府文書のミニ展示も行った。おなじく開館記念事業の一環として、開館記念講演、講座を行った。また、公文書館講座シリーズをスタートさせ、沖縄の戦後史に関する講座を10回行った。

(1) 開館記念特別事業

① 開館記念特別講演　日時　平成7年8月2日（水）　場所　沖縄県公文書館講堂

講演1　午後2時～午後3時　演題　沖縄世と公文書館

講師　鹿野　政直氏（早稲田大学教授）　参加者160人

講演2　午後3時～午後4時　演題「中国・琉球档案関係資料について」

講師　徐　藝　圃　氏（中国第一歴史档案館長）　参加者160人

② 開館記念特別講座　1

日時　平成7年8月2日（水）、3日（木）、　午後6時～午後7時　場所　沖縄県公文書館講堂

講師　黄　亜　非　氏（中国第一歴史档案館技術部副主任・副研究官員）

内容　中国・琉球関係档案史料の解説　参加者100人（2日50人、3日50人）

③ 開館記念特別講座　2．3

日時　平成7年8月3日（木）　午後2時～午後4時　場所　沖縄県公文書館研修室

講師　フランク・ジョセフ・シュールマン

書誌編集者・アジア学参考図書編集者、コンサルタント（メリーランド州立大学図書館勤務）

内容　人文学・社会科学の分野における沖縄及び日本、東アジアに関する西洋の文献の紹介

講師　レベッカ・コーリア（米国立公文書館職員）

内容　米国国立公文書館の概要と保存資料

参加者　78人

(2)　沖縄県公文書館講座　―　沖縄の戦後史を語る

期　時　．　平成８年１月25日～３月28日（毎週木曜日）　午後６時30分～８時30分

場　所　：　沖縄県公文書館　講堂

第１回	１月25日	「総　論」	講　師：	宮城　悦二郎　（沖縄県公文書館長・県立芸術大学教授）
			参加者	78人
第２回	２月１日	「終戦直後の生活」	講　師：	船越　義彰　（那覇市文化協会顧問）
			参加者	70人
第３回	２月８日	「戦後史と沖縄経済」	講　師：	牧野　浩隆　（琉球銀行常任監査役）
			参加者	76人
第４回	２月15日	「戦後史と民衆運動」	講　師：	新崎　盛暉　（沖縄大学法経学部教授）
			参加者	75人
第５回	２月22日	「戦後沖縄の文化」	講　師：	宮城　悦二郎　（沖縄県公文書館長・県立芸術大学教授）
			参加者	73人
第６回	２月29日	「米国の沖縄統治」	講　師：	我部　政明　（琉球大学法文学部教授）
			参加者	83人
第７回	３月７日	「戦後沖縄のマスメディア」	講　師：	保坂　廣志　（琉球大学法文学部教授）
			参加者	60人
第８回	３月14日	「労働運動史」	講　師：	山根　安昇　（琉球新報社取締役総務局長）
			参加者	44人
第９回	３月21日	「戦後沖縄の女たち」	講　師：	上江洲　トシ（民主教育をすすめる会副議長）
			参加者	55人
第10回	３月28日	「戦後沖縄の教育運動」	講　師：	福地　曠昭　（沖縄県精神保険協会会長）
			参加者	55人

(3)　講演会

日時：平成８年２月20日（火）午後６時半より８時半まで　　場所：沖縄県公文書館講堂

講師：森田芳雄氏「元ラサ（沖大東）島守備隊長」　　演題：戦時中におけるラサ島

参加者　66人

(4)　市町村文書担当者研修会

期　日　平成８年３月12日（火）午前10時～午後３時40分　　場　所　公文書館講堂

「沖縄県公文書館の持つ意味と未来への展望」（館長　宮城　悦二郎）

「館内見学」

「沖縄県公文書館－開館までと現在の状況」（資料課長　宮城　保）

「公文書館業務の概要と課題」（公文書専門員　富永一也）

結果　参加者14市町村16名　　参加者へ終了書を授与した。

(5)　沖縄県公文書館における簡易製本と保存容器の講習会

日　時：　平成８年１月24日（水）　午後３時～５時（希望者のみ２時半から館内見学）

場　所：　沖縄県公文書館　製本補修室

講　師：　大竹　茂氏（国立国会図書館収集部資料保存課洋装第一製本係司書）

講習内容：　「簡易製本と保存容器の作成について」

国会図書館における製本作業について写真等をまじえて説明

紐で綴じ、見返しを装着する簡単な製本方法と、中性紙ボードを使った保存容器の作成実演、実習

対象者：　県内公文書館、図書館、博物館、美術館職員　　参加者：　合計53名

結　果：　今回の講習会は予想以上に多数の参加者があった。質疑応答では 活発な質問や意見が交換され、資料保存に対して県内の図書館等関係者が高い関心をもっていることがうかがえた。

26　講座受講状況

27　映写会「宮森小ジェット機墜落事故」映像は語る
その２その時私は、

28　公文書館講座

29　講演会　講師、岸朝子氏「沖縄と私」

30　受贈した元参議院議員喜屋武真栄氏蔵書

31　沖縄海洋博関係資料が本館荷解室に搬入された

1　利用状況

(1)　利用状況一覧

利用状況一覧表

項目＼月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計 平均
開館日数(日)		24	22	24	24	26	21	25	23	22	20	22	21	247
入館者数(人)		1,514	2,137	1,536	2,151	4,783	1,449	2,734	2,177	2,355	1,392	1,758	1,616	25,629
(一日平均入館者数)		(63)	(97)	(65)	(90)	(184)	(69)	(109)	(95)	(107)	(70)	(80)	(77)	(94)
閲覧室入室者数(人)		279	388	285	414	841	408	320	454	481	248	404	338	4,860
(一日平均入室者数)		(12)	(18)	(12)	(17)	(32)	(19)	(13)	(20)	(22)	(12)	(18)	(16)	(18)
閲覧申請	申請者数(人)	15	18	13	20	41	14	11	20	8	15	15	34	224
	(行政利用数)	(0)	(1)	(1)	(1)	(2)	(5)	(2)	(3)	(7)	(6)	(4)	(1)	(33)
	申請件数(人)	67	180	45	57	121	46	30	114	92	134	82	171	1,139
	(行政利用件数)	(0)	(5)	(17)	(2)	(10)	(28)	(2)	(20)	(218)	(23)	(11)	(2)	(338)
土地所有	申請者数(人)	12	28	13	16	10	10	12	7	13	9	9	13	152
	(行政利用件数)	(1)	(1)	(0)	(1)	(2)	(0)	(1)	(4)	(0)	(0)	(1)	(1)	(12)
	申請件数(人)	444	167	178	75	26	33	103	21	84	51	49	113	1,344
	(行政利用件数)	(3)	(2)	(0)	(21)	(2)	(0)	(3)	(18)	(0)	(0)	(1)	(1)	(51)
利用証申請者(人)		41	36	21	43	53	28	19	31	37	23	23	30	385
被写申請	申請者数(人)	39	60	33	60	62	36	50	41	37	37	44	59	558
	(行政利用数)	(1)	(3)	(1)	(2)	(5)	(4)	(9)	(10)	(5)	(4)	(6)	(1)	(51)
	枚数	521	1,327	830	2,051	1,076	827	613	1,200	496	573	798	1,616	11,928
	(行政利用数)	(3)	(44)	(1)	(66)	(87)	(35)	(429)	(1006)	(451)	(51)	(70)	(1)	(2244)
ビデオ		5	17	18	32	47	20	16	13	18	11	30	20	247
レファレンス		10	32	11	29	29	37	41	67	32	35	24	32	379
館案内	団体数	3	17	22	15	26	18	26	36	26	21	37	21	268
	人数	19	477	177	312	277	222	362	674	396	160	218	130	3,424

※　平成８年度は月曜日休館、特別整理日による休館日数は18日

(2) 特別利用

① 収蔵資料館外貸出

番号	資料名	部数	貸出期間	目的	借用者
1	戦後50周年写真パネル	31点	8年4月2日 ～16日	パネル展を開催して沖縄の実相をアピールする	自治労連愛知県本部「みんなでつくる沖縄と手を結ぶ4、7県民集会」実行委員会 事務局　伊豆原直
2	戦後50周年写真パネル	35点	8年4月17日 ～25日	悲惨な地上戦が行われた沖縄県の実際を本土の学生に伝える	スペース・チャプル 大島克彦（東京都中野区）
3	沖縄からのメッセージ メイン看板	1点	8年5月20日 ～6月17日	平成8年度「沖縄からのメッセージ事業」に利用	沖縄県総務部広報課 課長　宮城進
4	沖縄からのメッセージ事業写真パネル	63点	8年5月23日 ～7月31日	沖縄平和祭96「沖縄戦全国巡回展」で利用	沖縄県総務部平和推進課 課長　新垣義三
5	土地所有権申請書	4冊	8年7月5日 ～22日	裁判の資料として	那覇地方裁判所民事第二部　裁判官　稲葉耶季
6	沖縄からのメッセージ事業写真パネル	3点	8年7月10日 ～16日	沖縄展開催、沖縄の歴史と文化、基地問題	コープかながわ　ハーモス荏田　店長　市川武夫
7	沖縄からのメッセージ事業写真パネル	25点	8年8月7日 ～25日	「沖縄からのメッセージ」写真パネル展の展示資料	滋賀県甲西町立図書館 館長　梅沢幸平
8	沖縄からのメッセージ事業写真パネル	17点	8年7月22日 ～8月15日	96平和のための大阪の戦争展沖縄コーナー展示資料	96平和のための大阪の戦争展　会長　東谷敏雄
9	戦後50周年の写真パネル	20点	8年8月12日 ～15日	「沖縄展－沖縄戦と米軍基地」展示のため写真パネル	群馬県前橋平和委員会 事務局長　小田暁夫
10	沖縄からのメッセージ事業写真パネル	10点	8年8月1日 ～15日	久留米市平和イベントで沖縄戦関連パネルの展示	久留米市総務部総務課 山内義美
11	沖縄からのメッセージ事業写真パネル	18点	8年7月24日 ～8月8日	「平和のための北区の戦争展」に沖縄の心を私たちの心に展示する	北区平和委員会 山口一正
12	沖縄からのメッセージ事業写真パネル	55点	8年8月9日 ～20日	96沖縄市平和月間事業で「沖縄からのメッセージ展」を開催する	沖縄市役所 広報担当　瑞慶山良得
13	沖縄からのメッセージ事業写真パネル	21点	8年9月6日 ～8日	北村山高校学園祭で展示、来年の修学旅行に沖縄を決定、興味、関心を持たせる	山形県立北村山高校 小山和彦
14	沖縄からのメッセージ事業写真パネル	13点	8年9月24日 ～30日	沖縄修学旅行展に使用、平成5年より修学旅行に沖縄を採用している	徳島県立板野高校 校長　出葉秀樹
15	沖縄からのメッセージ事業写真パネル	73点	8年12月5日 ～9日	「原爆、沖縄写真展」に使用	高知県平和委員会 野崎英明
16	英国海軍宮古島砲撃ネガフィルム	9点	9年2月14日 ～20日	平良市制施行50周年記念誌	平良市長　伊志嶺亮
17	GHQ／SCAPマイクロフィッシュ（ネガ）	3,230点	9年2月28日 ～3月31日	「沖縄市史・第六巻・戦後編」	沖縄市平和文化振興課 恩河　尚
18	档案資料「国子監為琉球国官生墾請参加賀皇太后万寿致内務府咨文附原奏一	1点	9年2月27日 ～4月4日	首里城公園企画展の展示	（財）海洋博覧会記念公園管理財団首里管理センター所長　大城栄禄

② 撮影、複製、掲載、放送許可

番号	資料名	数量	許可期間	目的	申請者
1	戦後50周年写真パネル「撮影」	36点	8年5月8日	沖縄からのメッセージ事業	㈱ワイド 代表取締役　佐々木末男
2	英国海軍宮古島砲撃ネガフィルム「掲載」	9点	9年2月14日	平良市制施行50周年記念誌	平良市長　伊志嶺亮
3	琉球年代記　天保一年序刊等「撮影、複製」	20点	9年3月5日	フォトCDサンプルを作成する（本館へ寄贈）	有限会社　南西マイクロ 砂川哲夫
4	「旅の家づと　琉球の巻」等「複製」	5点	9年3月25日 ～31日	史蹟等の表示板の図案として使用する	那覇市文化局歴史資料室 室長　大城康洋
5	労働行政要覧1961年版等「撮影、放送」	2点	9年3月25日	「沖縄の新卒中学生が集団就職で東京に到着した日」番組作成	日本テレビ放送網株式会社編集局プロデューサー 甘利　孝
6	琉球政府の時代の写真「掲載」	4点	9年3月25日	「高等学校　琉球・沖縄史」への掲載	編集工房東洋企画 大城　孝

2　収集・整理業務

(1)　資料収集整理数

①　収集業務

	資料の区分又は名称	単位	前年度末収蔵数	8年度収集数	8年度末収蔵数
1	琉球政府文書	簿冊	154,473	544	155,017
2	労働省沖縄婦人少年室関係資料	件	0	377	377
3	沖縄県文書	箱	12,132	4,186	16,318
4	海洋博関係文書	簿冊	0	6,594	6,594
5	ＵＳＣＡＲ写真（含軍関係）	件	9	2,742	2,751
6	その他のＵＳＣＡＲ資料	件	0	352	352
7	在米沖縄関係写真資料	簿冊	16	42	58
8	ＧＨＱ／ＳＣＡＰマイクロフィッシュ	件	1,093	0	1,093
9	ジョージ・Ｈカーコレクション	簿冊	0	1,035	1,035
10	行政刊行物	冊	14,694	3,879	18,573
11	地域資料	冊	4,310	24,417	28,727
12	漢文資料	件	200	0	200
13	古文書	件	6	0	6

② 整理業務

	資料の区分又は名称	単位	前年度末整理済数	8年度整理数	8年度末整理数
1	琉球政府文書	簿冊	147,958	3,323	151,281
2	労働省沖縄婦人少年室関係資料	件	0	377	377
3	対米請求権事業協会引継資料	件	500	422	922
4	軍雇用員カード	枚	0	202,697	202,697
5	土地所有申請書	簿冊	2,000	1,083	3,083
6	沖縄県文書	箱	12,132	5,926	18,058
7	沖縄県文書	簿冊	0	246	246
8	沖縄県文書	件	0	0	0
9	海洋博関係文書	箱	0	580	580
10	海洋博関係文書	簿冊	0	6,484	6,484
11	ＵＳＣＡＲ資料	箱	0	131	131
12	ＵＳＣＡＲ資料	簿冊	0	3,884	3,884
13	行政刊行物	冊	12,513	2,782	15,295
14	地域資料	冊	3,338	9,680	13,018

(2) 主な収集資料

1．ジミー会長の稲嶺盛保氏より浜田庄司氏作の陶器受贈
2．宮城次夫氏（在米）より終戦直後の北米沖縄関係資料「救援ニュース」等の寄贈
3．県援護課より陸軍兵籍簿等の移管　13箱
4．粕谷眞敬御夫妻より冨名腰義珍関係資料映画フィルム、写真、図書、段位証等寄贈
5．翁長良明氏よりＢ円受贈　5種
6．外務省外交史料館蔵の琉米、琉仏、琉蘭修好条約をカラー、原寸大に複製
7．安次富長昭氏より「明日を導く人々」映画フィルム　30分　1950年受贈
8．沖縄協会より沖縄関係刊行物受贈　29箱
9．県道路建設課より「全琉地図」２万５千分の１移管受入　42枚
10．那覇出版社の多和田真重社長より「沖縄記録写真集第１集～第３集」受贈
11．20年経過後の長期保存文書を移管　217箱
12．沖縄返還協定書（外務省総務課蔵）のカラー複製26枚（原寸大）
13．宮城信勇氏より同氏の卒業証書、成績簿等受贈　21点
14．宮良長安氏より家譜、同氏辞令書等受贈　３箱＋62点
15．国吉昇氏同氏の辞令書等受贈
16．河野忍氏（沖縄協会）より沖縄関係図書受贈　80冊
17．伊智初子氏より琉政時代の図書及び明治13年の「墓売買証文」受贈
18．屋良朝苗資料を受贈　631冊
19．照屋栄一資料を受贈　862冊
20．沖縄銀行より同行30周年史等を受贈

21. 石橋英一氏より戦前の写真等を受贈	
22. ㈶海洋博覧会記念公園管理財団より㈶海洋博覧会協会文書の移管	約1,000箱
23. 名嘉正八郎氏より図書を受贈	35箱
24. 琉球大学短期学部より公文書等移管	22箱
25. 沖縄協会平和祈念堂より戦前の映画フィルム（琉球の風物、琉球の民芸）受贈	2本
26. 県文化課より同課刊行物を受入	6箱
27. 沖縄協会より映画フィルム（沖縄）受贈	2本
28. 県広報課よりビデオテープ移管	5箱
29. レイモンド阿嘉氏より受贈	1箱
30. 喜村朝貞氏より沖縄関係刊行物受贈	4箱
31. 東京大学明治文庫蔵の鹿児島の明治期からの新聞原紙受贈	169箱
32. 北根豊蔵書を受贈	93箱
33. 喜屋武真栄蔵書を受贈	238箱
34. 比嘉太郎蔵書（ハワイより）を受贈	12箱
35. 沖松庸幸蔵書を受贈	36箱
36. 「琉球藩郵便設立書類」明治7年（複製）	52枚
37. 高宮城繁氏　空手道図書、他を受贈	
38. 沖縄県遺族連合会資料受入	115箱
39. 座間味庸真蔵書受入	5箱
40. 大浜用一氏明治期の資料受贈	2箱
41. 岸秋正蔵書受贈	214箱
42. 沖縄協会の河野忍課長より資料を受贈	7点
43. 西江慶子氏より戦前の伊是名の精米所に関する文書を受贈	3点
44. 比嘉正憲氏より米国の法律関係図書受贈	81冊
45. 沖縄県監査委員事務局より引継ぐ	91簿冊

(3) 琉球政府文書

収集

琉球政府文書（沖縄県職員厚生課より引継資料）	544簿冊
労働省沖縄婦人少年室引継資料	377件

整理

琉球政府文書	3,432簿冊
対米請求権事業協会引継資料	422件
労働省沖縄婦人少年室引継資料	377件
米軍雇用カード	202,697枚
土地所有申請書	1,083簿冊

琉球政府文書3,323簿冊は閲覧できる。しかし、うち109簿冊が仮目録である。琉球政府文書の収集、整理及び利用に関する業務を効率的に行うため琉球政府行政機構図作成作業に着手した。

(4) 沖縄県文書

沖縄県文書編集保存規程の改正により、従来長期保存文書とされていた公文書等が20年の有期限文書となり、保存年限を経過したものの公文書館への引き渡しが始まった。保存年限を延長したものも公文書館に移管されるようになった。また、(財) 海洋博覧会記念公園管理財団から（財）海洋博覧会協会文書の移管があった。

平成８年度　知事部局からの受入文書

ＩＤ	部	課　　名	箱 数
1	総　務　部	総務部総務課	41
2		秘書課	7
3		国際交流課	14
4		基地対策室	4
5		女性政策室	1
6		人事課	34
7		財政課	26
8		税務課	2
9		管財課	9
10		文書学事課	81
11		職員厚生課	110
12		消防防災課	135
13	企画開発部	企画総務課	8
14		企画調整室	12
15		土地対策課	24
16		離島・交通対策課	10
17		統計課	2
18		情報システム課	5
19		振興開発室	12
20		市町村課	41
21	生活福祉部	福祉総務課	50
22		社会福祉課	80
23		長寿社会対策室	33
24		児童家庭課	203
25		障害福祉課	54
26		援護課	486
27		県民生活課	9
28		青少年課	6
29		国民健康保険課	17
30	環境保健部	保健総務課	69
31		予防課	360
32		健康対策課	1
33		生活衛生課	81
34		医務課	123
35		薬務課	31
36		環境保全課	39
37		自然保護課	11
38		病院管理局管理課	15
39		病院管理局経営課	2

ＩＤ	部	課　　名	箱 数
40	農林水産部	農林総務課	36
41		農政課	68
42		農林経済課	46
43		農政経済課	23
44		園芸振興課	22
45		畜産課	16
46		糖業農産課	21
47		営農推進課	17
48		農地水利課	196
49		農林建設課	85
50		林務課	35
51		みどり推進課	1
52		漁政課	16
53		水産振興課	36
54		漁港課	39
55	商工労働部	商工総務課	12
56		工業振興課	8
57		商工課	17
58		経営金融課	33
59		観光振興課	12
60		産業政策課	1
61		文化振興課	3
62		工芸産業課	8
63		職業能力開発課	3
64		渉外労務課	6
65		労政福祉課	15
66	土木建築部	土木総務課	122
67		技術管理課	22
68		道路建設課	60
69		道路維持課	56
70		港湾課	60
71		空港課	23
72		河川課	98
73		都市計画課	37
74		下水道課	8
75		建築指導課	151
76		住宅課	111
77		用地課	87
78		都市モノレール	6
79	出納事務局	会計課	218
80	沖縄国際海洋博覧会協力局		99
			4,181

この他の収集資料

（財）海洋博覧会記念公園管理財団移管の海洋博文書
580箱（写真・図面含む）

県立図書館引渡の生活福祉部文書　16箱

援護課作成マラリア関係資料マイクロフィルム　５リール

(5) ＵＳＣＡＲ資料

米国に公文書専門員を派遣し（約３週間）、沖縄関係資料の調査、収集を行った。また、故G．H．カー博士の私文書が寄贈された。整理においては、琉球水道公社文書等の目録を作成し、システム登録した。

［１］ＵＳＣＡＲ資料収集業務

	資料の区分又は名称	単　位	８年度収集数
1	ジョージ・Ｈ・カーコレクション	簿冊	1,035
2	在米沖縄関係写真資料	簿冊	42
3	USCAR写真（含軍関係）	件	2,742
4	その他ユースカー資料	件	352

［２］ＵＳＣＡＲ資料整理業務

	資料の区分又は名称	単　位	８年度整理数
1	琉球水道公社文書	件	5,928
2	沖縄占領関係資料	簿冊	3,884
3	〃	箱	131

(6) 地域資料

岸秋正氏の蔵書を受贈、委託事業により整理した。その他、喜屋武真栄資料、北根豊資料、久場政彦資料等を受贈した。

平成８年度　寄贈者一覧

五十音順　略敬称

	寄　贈　者　氏　名
1	字楚辺誌編集委員会
2	浅野修（日本新聞協会）
3	雨宮和子
4	安藤信義・井上淳一
5	石橋英一
6	伊知秩雄・初子
7	稲嶺盛保
8	院氏我華会
9	大田政作
10	大山朝常
11	岡一勇三
12	沖縄県遺族連合会
13	小渡敬
14	粕谷真敬
15	嘉手川重行（ハエバル随筆クラブ）
16	兼次佐一
17	兼村芙美子
18	兼本ハイツ自治会
19	神谷栄助

	寄　贈　者　氏　名
20	川上正友
21	岸朝子
22	北根敬
23	紀ノ国屋書店
24	喜村朝貞
25	喜屋武眞榮
26	金城一郎
27	具志堅以徳
28	国仲昌誠
29	国吉清治
30	国吉昇
31	久場政彦
32	久米国鼎会
33	河野忍（沖縄協会）
34	護佐丸毛氏門中事務所
35	小玉正任
36	崎濱秀治
37	崎原恒新
38	讃井正美

地域資料寄贈者一覧

五十音順　略敬称

	寄　贈　者　氏　名
39	座間味庸真
40	首里城復元期成会
41	尚古集成館
42	新里孝
43	末次一郎
44	瀬戸口律子
45	瀬長フミ自伝出版実行委員会
46	銭田郷友会
47	武石和美
48	田中英治
49	多和田真重（那覇出版）
50	知念正芳
51	知念ツル子
52	地方史研究協議会
53	デイビット＝アカ
54	照屋善助
55	照屋照男
56	東京大学明治新聞雑誌文庫
57	當間幸吉
58	とまり会
59	豊見本達助
60	トライビジョン
61	仲松江美

	寄　贈　者　氏　名
62	仲本安一
63	仲本吉盛
64	比嘉幹郎
65	比嘉実
66	外間正四郎
67	外間善次
68	星雅彦
69	真喜志康二
70	三浦勝美
71	宮城悦二郎
72	宮城剛助
73	宮城信勇
74	宮城次夫
75	宮良長安
76	森田清子
77	山里純一
78	山城謙
79	山城進
80	山田写真機店
81	吉田雅美
82	琉球新報
83	レイモンド＝アカ

(7)　地図・空中写真収集整理業務

沖縄県対米請求権事業協会から２回目の地図の寄贈があり、伸展、補修等を行い１回目に寄贈された分と合わせて整理を行った。その他、琉球政府・国土地理院撮影の空中写真を購入した。

収集

本年度に収集した地図は次表のとおりである。

種　別	収集のタイプ	受　入　日	作成又は撮影機関名	備　　考	数　量
地図	寄　贈	Ｈ８(1996)６／12	米軍・市町村	土木建築部道路課から受入	45枚
地図	寄　贈	Ｈ８(1996)７／３	琉球政府・国土地理院・米軍・市町村	沖縄県対米請求権事業協会からの第二次受入分	335枚
地図	購入	Ｈ８(1996)９／18	国土地理院		130枚
地図	８年度計				510枚
	累　　計				1,880枚

種　別	収集のタイプ	受　入　日	作成又は撮影機関名	備　　考	数　量
空中写真	購　入	Ｈ９(1997)３／６	琉球政府・国土地理院	琉球政府撮影空中写真	875枚
				国土地理院撮影空中写真	13,49枚
空中写真	８年度計				2,224枚

整理

・琉球政府・国土地理院撮影空中写真を購入し、整理作業を始めた。

(8) 映像・音声資料の収集

空手の普及に努められた富名腰義珍の戦前に撮影された「空手演技」の９ミリの映画フィルム、日本民藝協会の昭和14年の沖縄調査の成果を記録した16ミリ映画フィルム「琉球の風物」「琉球の民藝」を受贈した。沖縄海洋博覧会記念公園管理財団が保管していた沖縄国際海洋博覧会関係映画フィルムを移管した。

福岡県のＲＫＢ毎日放送局で沖縄関係映像資料の所在調査を行い、複製を作製して収集した。沖縄総合事務局、㈱沖縄県国際交流財団、沖縄県福岡事務所、沖縄県大阪事務所等からこれまで使用された映画フィルムを収受した。

映像・音声資料収集一覧

①映像資料

番号	種　別	資　料　タ　イ　ト　ル	数量(巻)	受入方法	受　入　先	備　　考
23	16㎜	ハワイに生きる　第１部　他	118	委託	（財）沖縄県国際交流財団	
24	9.5㎜	唐手　富名腰義珍　他	3	寄贈	粕谷眞敬	
25	16㎜	「沖縄」よりよい修学旅行を求めて　他	13	移管	沖縄県福岡事務所	
26	16㎜ ＶＨＳ Emetic	かりゆしの島おきなわ　沖縄の味	10 16 3	移管	沖縄県大阪事務所	
27	ＶＨＳ	RBC報道番組「プライム2000」慰霊の日特集	1			作成：琉球放送
28	16㎜	結核予防会の活動－宮古の巻－他	17	寄贈	（財）沖縄県総合保健協会	
29	ＶＨＳ	特別番組「迫る！海邦国体」他	16	移管	教育庁保健体育課	
30	16㎜	沖縄の野菜づくり　他	54	寄贈	沖縄総合事務局	
31	16㎜ 35㎜	海洋博関係映像　他	22 445	移管	（財）海洋博覧会記念公園管理財団	
32	ＶＨＳ	沖縄と私　岸朝子氏講演会	1	複製		
33	ＶＨＳ	ドキュメンタリー 「弧の果ての島」－八重山群島－他	27	購入	RKB毎日放送	
38	16㎜ 8㎜ BETA ＶＨＳ BETACAM	SUGAR　他 MAIN LAND TRIP 1960.5　他 NHKニュース（1983．5．3放送）他 あめりか物語1980．1　他 移民は生きる　他	13 48 7 17 2	寄贈	アルビン比嘉	
合　　計			833			

※番号は配架して閲覧しているビデオテープの番号

②　音声資料

番号	種　　別	資料タイトル	数　量	受入方法	受　入　先	備　考
1	カセットテープ	国体関係資料	199巻	移　管	国体事務局	
2	オープンリール	国体関係資料	11巻	移　管	国体事務局	
3	レコード	国体関係資料	8巻	移　管	国体事務局	
4	カセットテープ	比嘉太郎移民研究資料	81巻	寄　贈	アルビン比嘉氏	

5	オープンテープ	比嘉太郎移民研究資料	57巻	寄　贈	アルビン比嘉氏	
6	カセットテープ	喜屋武真栄関係資料	2巻	寄　贈	喜屋武真栄氏	
7	オープンテープ	喜屋武真栄関係資料	16巻	寄　贈	喜屋武真栄氏	
8	レコード	浜千鳥　他	2巻	寄　贈	喜屋武真栄氏	
9	レコード	国頭ジントヨー	1巻	寄　贈	岸朝子	岸秋正文書
10	レコード	私の合衆国訪問	1巻	寄　贈	岡一雄三氏	名瀬市在
11	レコード	沖縄音楽総監	16巻	寄　贈		
12	カセットテープ	ハワイのウチナーンチュ	16巻	寄　贈	稲嶺盛保氏	
13	カセットテープ	平成8年度公文書館講座他	14巻	作　製	沖縄県公文書館	
14	レコードテープ	谷茶前	1巻	寄　贈	宮良長安	
15	ディスク	東村紹介	1巻	寄　贈	東村	
計			426巻			

3　保存・修復・マイクロ・電算業務

(1)　保存・修復業務

古文書（家譜等）の修復を行い、档案史料の保存箱作成、寄贈図書や刊行物の製本を行った。また、琉球政府文書群全体の保存状態を把握するためサンプリング調査を実施し、酸性紙による劣化資料に対する脱酸処理を開始した。

表　平成8年度月別業務実績

単位：簿冊、但しリーフの（　）内数値は試験枚数

月	資料数	作業内容											修復内容			
		劣化調査	修復			製本			保存容器			のべ計	裏打ち等	リーフ	脱酸処理	のべ計
			A	B	C	機械	簡易	上	箱	フォ	エン					
4	68	14	28	0	0	5	12	1	4	2	0	66	1	(5)	－	1(5)
5	46	10	24	12	0	0	0	0	14	0	0	60	12	0	－	12
6	32	15	1	5	0	2	5	0	12	5	3	48	5	(14)	－	5(14)
7	33	2	0	0	0	11	12	0	4	4	0	33	0	(17)	－	0(17)
8	27	1	0	2	1	13	3	0	1	6	0	27	3	(11)	－	3(11)
9	38	7	0	0	0	5	18	0	4	4	0	38	0	(4)	－	0(4)
10	22	0	11	0	0	0	10	0	195	0	0	216	0	0	－	0
11	10	0	0	0	1	9	0	1	1	0	0	12	1	0	－	1
12	78	2	0	0	7	21	0	1	49	5	0	85	7	(5)	－	7(5)
1	426	401	0	0	6	2	1	9	6	0	0	425	2	2(3)	1	5(3)
2	4	2	0	1	1	0	2	0	2	0	1	9	1	1	2	4
3	14	1	0	2	8	3	0	0	2	0	1	17	3	0	8	11
合計	798	455	64	22	24	71	63	12	294	26	5	1,036	35	3(59)	11	49(59)

注）＊1　表中の「修復」は、作業の難易度によりA・B・Cの3段階に区分。A＝所要時間4時間以内（簡単な補填や綴じ直し、しわ伸ばし等）、B＝所要時間16時間以内（簿冊解体後に簡単な補修をし、綴じ直す場合等）、C＝所要時間16時間以上（簿冊解体後は、裏打ち等による補填やリーフキャスティング、脱酸処理を行い、綴じ直す場合）。但し、平成7～8年度は、修復方法別に集計したため、平成7年度については作業内容にかかわらず処置した簿冊数を修復Aに計上し、平成8年度分は作業の再評価を行ってA～C段階に振り分けた。

＊2　平成7～8年度には、処置した資料の枚数の統計は取っていなかったので、修復内容別の総数は簿冊で計上した（但し、リーフキャスティングの試験数は完成枚数で示した）。

＊3　表中の「フォ」＝フォルダー、「エン」＝エンキャプスレーションを示す。

(2) 燻蒸業務

表6．平成8年度業務実績

燻蒸方式	回数	実施月日	使用薬剤	作者形態
書庫燻蒸　1号書庫	1回	9／14〜17	エキボン	委託
館内燻蒸設備での燻蒸	34	随時	〃	〃
館外委託燻蒸（那覇青果）	5	5，7，10〜12月	〃	〃

(3) マイクロ・写真撮影業務

前年度に引き続き土地所有申請書のマイクロ化の外、借用資料のマイクロ化を実施した。又、沖縄県対米請求権事業協会から寄贈された地図のマイクロ化と複製資料作成及び一周年記念事業の展示資料の図録掲載用写真撮影を行った。

①マイクロ撮影・複製実績

	撮影フィルム（ネガ）			複製フィルム（ネガ）				複製フィルム（ポジ）			
	16mm*	35mm*	35mmJ*	16mm	35mm	16mmJ	35mmJ	16mm	35mm	16mmJ*	35AP*
数量	30	86	0	19	215	0	0	14	213	0	0
コマ数	70,742	23,043	0	34,034	86,927	0	0	18,829	93,807	0	0

マイクロフィルム総数：116（撮影）＋461（複製）＝577リール

総コマ数：93,785（撮影）＋233,597（複製）＝327,382コマ

*注釈：16mm:16mmロール　35mm:35mmロール　35mmJ:35mmジャケット　16mmJ:16mmジャケット　35mmAP:35mmアパチュアカード

②マイクロ引伸ばし

サイズ	A4版	A3版	A2版	A1版	A0版	B4版	B3版	B2版	B1版	不定形
枚数	323	1,533	75	125	170	529	114	6	42	34

引伸ばし総枚数：2,951枚

③写真撮影・写真引伸ばし

	カラーフィルム				モノクロフィルム		プリント現像枚数（モノクロのみ）			
	ネガフィルム		ポジフィルム		ネガフィルム					
サイズ	35mm*	6×7*	35mm	6×7	35mm	6×7	全紙	四切	六切	キャビネット
枚数	600	1,670	72	1,235	10	1,440	0	147	150	70

写真撮影総枚数：3,577枚（カラー）＋1,450（モノクロ）＝5,027枚

引伸ばし総枚数：367枚

*注釈：35mm：35mmフィルム　6×7：ブローニーフィルム（6×7サイズ）

(4) 電算関連業務

① 公文書館システムの保守作業

公文書館システムの保守作業の他に、次の項目の性能向上開発を実施。

改善項目一覧

No.	機 能	改善項目概要
01	資料登録	CSV形式のテキストデータの一括登録機能の追加。
02	〃	索引の更新を夜間に行い、登録時の操作速度を向上する。
03	〃	資料目録全項目の編集機能の追加。
04	〃	配架移動の個別変更機能の追加。
05	資料検索	資料種別を複数選択できる検索機能の追加。
06	〃	ユーザー辞書登録機能の追加。
07	貸出・返却	未返却リストの印刷機能の追加。

② ホームページの構築作業

ホームページの構築に向け、コンテンツ及び運用方法等の検討を実施。

4 普及啓発事業

開館一周年記念特別展「琉球政府の時代」を開催した。また、一周年記念事業の一環として、映像祭、館内ツアー、保存箱教室、特別講演・講座を催した。本年度の公文書館講座シリーズは「沖縄の歴史〜先史から近代へ」と題して8回行った。

(1) 沖縄県公文書館開館1周年事業

事業目的、沖縄県公文書館の事業についての理解を広め、利用者の増大・資料収集の拡大を図る。

事業の期間、平成8年8月1日（木）から8月7日（水）まで（期間中月曜開館。期間終了後に休館日を設ける。企画展は1ヶ月間）

① 記念式典、レセプション（国、県関係者、資料寄贈者を招待）

② 開館1周年記念特別展（テーマ：「琉球政府の時代」）

当館所蔵の公文書、刊行物、私文書、写真パネル等中を中心に展示した。特に国立公文書館や元琉球政府主席の大田政作氏、琉球放送株式会社、県立博物館等の協力を頂き展示資料を借用し、内容を盛り上げた。

③ 開館1周年記念特別講演・講座（全4回）　　参加者

特別講演　8月3日午後2時　　講師　久場　政彦（元沖縄群島政府財政部副部長、元琉球大学教授）66人

特別講座　5日午後6時30分　　講師　儀間　文彰（元琉球政府厚生局長）　50人

6日午後6時30分　　講師　兼次　佐一（元那覇市長）　70人

7日午後6時30分　　講師　中村　文子（元沖縄県婦人連合会副会長）　45人

④ 映画祭（詳細は利用普及参照）

⑤ オープンハウス（館案内ツアー、修復デモンストレーション、検索システム研修等）

⑥ 「公文書館」についての理解を深めるための小展示

⑦ 展示図録の発行

⑧ 企画展関連コンピュータ映像作成

⑨　記念品「民事ハンドブック」

⑩　広報活動（県庁ロビーでの広報パネル展含む。）

－修復デモンストレーション－

主　旨：公文書館における文書保管業務について、展示やデモを通して具体的内容を紹介し、参加者に理解を深めてもらう。

日　時　平成８年８月４日（日）２回（１回目　10：30～11：00　２回目　13：30～15：00）

場　所　公文書館管理棟１階　製本補修室

参加者　午前13人、午後17人　　参加資格：中学生以上　　持参するもの：はがき50枚程度

結　果　業務紹介は公文書館が対象とする資料の説明、資料受入から燻蒸、選別、整理、保存、利用までの流れ、そして保存・修復処置の具体的な業務内容について簡単に説明した。リーフキャスティング法の実演では、マシンの紹介後、実際の作業工程を見学してもらった。ピンクの色和紙を混ぜて、紙繊維が資料の欠損部に流き込まれていく様子を参加者に確認してもらった。保存箱の実習では予めボード紙等の材料を準備しておき、参加者には紙を折り曲げる工程から作業してもらった。

映像祭

趣旨　沖縄県公文書館開館１周年記念事業として、平成８年８月１日から７日まで記念事業の一環として映像祭を開催した。

今回は琉球政府時代の特に大きな事項、事件についての記録映画を上映し、この時代を理解すると共に、映像、音声資料の収集、保存、活用等の公文書館業務の重要性について考えた。

日　　時　８月２日（金）15：00～17：00

場　　所　沖縄県公文書館（講堂）

対　　象　一般県民、入場無料、参加者98人

タイトル　映像は語る　その１

「明日を導く人々」（沖縄県公文書館収蔵）　上映　（30分）

歴史を証言する　　－米留学生が当時を語る－

司　　会　玉城朋彦（琉球放送株式会社報道部、兼キャスター室部長補佐）

出 演 者　映画に出演した1952年米留学生

宮良用英（元琉球政府渉外広報部長）

田崎邦夫（医療法人社団輔仁会理事長）

岡一勇三（名瀬市伊津部老人クラブゆりの会会長）

1955年度米留学生

宮城悦二郎（沖縄県公文書館館長）

日　　時　８月４日(日）15：00～17：00

タイトル　映像は語る　その２　　参加者　130人

石川、宮森小ジェット機墜落事故映像上映

（８㎜フィルム・沖縄県公文書館収蔵、16㎜フィルム・沖縄テレビ提供）

スライド（伊波常雄氏作成、当時の現場状況の絵画）

その時私は

司　　会　照屋健吉（沖縄テレビ報道部副部長）

出 演 者　当時の宮森小学校６年生

新田宗栄（経営コンサルタント）

斎籐永子（トータル介護沖縄）

当時の宮森小学校教頭　比嘉昇一（元小学校長）

当時の宮森小学校教諭　伊波常雄（石川市立図書館長）

当時のＯＴＢカメラマン　宮城普滋（沖縄テレビ制作担当取締役）

映画上映

日　　時　８月５日（月）　上映時間16：00〜18：00

タイトル　「琉球」（沖縄県図書館所蔵）・「体育行脚の巻」（沖縄県図書館所蔵）・「沖縄列島」（沖縄県公文書館所蔵）

参加者　42人

日　　時　８月６日（火）　上映時間16：00〜18：00

タイトル　「ＲＥＤ　ＨＡＴ　ＯＰＥＲＡＴＩＯＮ」（沖縄県立図書館所蔵）（毒ガス輸送作戦記録映画）

参 加 者　36人

日　　時　８月７日（水）　上映時間16：00〜18：00

タイトル　「執念の毒蛇」（沖縄県公文書館所蔵）・「海を越えてこの感激を」（沖縄県公文書館所蔵）

―ブラジルで祝った沖縄の祖国復帰―（沖縄復帰記念式典）（沖縄県国際交流財団寄託資料）

参 加 者　44人

⑵　講座

①　沖縄県公文書館講座　　沖縄の歴史〜先史から近代へ〜

期　間：　平成８年12月５日〜平成９年２月27日（毎週木曜日・全10回）（ただし12月26日〜１月９日の期間を除く）

時　間：　午後６時３０分〜８時

場　所：　沖縄県公文書館　講堂

日　　程	テ　ー　マ	講　　師		参加者
第１回(17)12月５日(木)	「沖縄の先史時代」	安里　嗣淳	沖縄県文化振興会史料編集室主幹	97人
第２回(18)12月12日(木)	「近世琉球の歴史と民衆」	仲地哲夫	沖縄国際大学教授	98
第３回(19)12月19日(木)	「幕末の琉球をめぐる国際環境」	仲地哲夫	沖縄国際大学教授	82
第４回(20) １月16日(木)	「大交易の時代」	田名真之	那覇市文化局歴史資料室主幹	86
第５回(21) １月23日(木)	「琉球の冠船貿易について」	豊見山和行	琉球大学助教授	79
第６回(22) １月30日(木)	「近世琉球の漢学」	上里賢一	琉球大学教授	77
第７回(23) ２月６日(木)	「19世紀前半における琉球の西洋文化との遭遇」	照屋善彦	琉球大学教授	84
第８回(24) ２月13日(木)	「謝花昇と土地整理事業」	田里修	沖縄大学教授	82
第９回(25) ２月20日(木)	「太田朝敷論」	比屋根照夫	琉球大学教授	65
第10回(26) ２月27日(木)	「伊波普猷と月城」	比屋根照夫	琉球大学教授	81

(2) 沖縄県公文書館特別講座

趣　旨　文書管理と情報公開における、現況、課題、解決策等について関係者の見識を高める。

日　時　平成９年３月25日（火）午後２時～４時

場　所　沖縄県公文書館講堂

講　師　廣田傳一郎（シオン短期大学教授）

講座内容「文書管理と情報公開」

参加者　52人

(3) 講演会　「沖縄と私」

日　時：平成９年１月17日（金）　午後６時30分～７時30分

場　所　沖縄県公文書館講堂　受講料：無料

講　師　岸　朝子氏（料理研究家）

参加者

(4) 市町村文書担当者研究会

日　時　平成８年12月10日　午前10時40分～午後３時40分

場　所　研修室

参加者　14市町村16人

館長講話

特別講義「公文書の保存の重要性」

講師　小玉正任氏（沖縄開発庁事務次官、国立公文書館長を歴任。現在沖縄協会長）

館内見学

講義　沖縄関係資料の現状と収集の課題（資料課長）

講義及び討議　行政文書の収集と整理（公文書専門委員、参加者）

修了式（修了証授与）

32　米国立公文書館新館（アーカイブスⅡ）におけるUSCAR文書整理作業

33　閲覧サービスはパソコンで検索する。

34　琉球政府文書の整理作業

35　資料保存講習会「保存箱教室」

36　企画展示会岸秋正文庫の世界

37　沖縄俳優協会の真喜志康忠氏を講師に迎えて公文書館講座

1　利用状況

(1)　利用状況一覧

利用状況一覧表

項目			単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者			人	600	641	672	695	801	684	530	604	567	551	563	611	7,519
閲覧室入室者			人	280	352	365	335	335	344	301	427	288	325	362	312	4,026
閲覧申請	一般	申請者	人	45	60	43	41	48	55	71	84	33	55	56	73	664
		閲覧点数	点	178	240	153	204	251	218	215	490	74	240	292	820	3,375
	行政	申請者	人	2	5	7	6	8	11	17	19	5	11	7	8	106
		閲覧点数	点	9	18	15	34	73	53	63	128	42	21	17	33	506
開架資料利用			冊	55	151	131	96	89	72	146	180	122	96	106	196	1,440
ビデオ視聴			本	4	25	32	22	33	33	23	24	20	18	10	26	270
複写申請	一般	申請者	人	50	60	47	53	58	57	70	86	38	57	60	83	719
		枚数	枚	663	1,308	1,900	1,654	2,551	1,823	2,775	3,641	704	1,799	2,436	4,521	25,775
	行政	申請者	人	4	6	4	4	3	3	7	15	3	8	4	2	63
		枚数	枚	33	92	42	154	192	42	195	1,745	99	218	79	73	2,964
レファレンス			件	34	49	27	28	18	56	50	52	48	42	50	48	502
案内	団体数		件	13	18	19	17	8	12	2	14	21	16	16	13	169
	人数		人	70	105	125	197	87	157	43	153	108	70	178	71	1,364
撮影			件	1	5	2	1	1	0	2	1	0	1	1	0	15
出版(放送)許可			件	0	4	1	1	2	0	2	2	0	1	0	0	13
貸出			件	1	2	0	2	2	3	3	0	3	0	0	0	16
利用証申請			人	41	58	29	40	37	44	52	47	29	39	29	44	489

※　平成９年度は月曜日休館、特別整理日による休館日数は16日

(2) 特別利用

①収蔵資料館外貸出

番号	資料名	部数	貸出期間	目的	借用者
1	屋良朝苗関係資料	126点	9年4月23日 ～5月22日	企画展「屋良朝苗の時代」への出展	南風原文化センター 館長　金城祐昌
2	県民総決起大会パネル	3点	9年5月20日 ～12月15日	沖縄からのメッセージ事業に使用（熊本県、愛媛県、福井県他）	沖縄県総務部　知事室広報課　課長　金城秀雄
3	土地所有申請書（与那城村宮城仁堂）	1冊	9年5月22日 ～6月6日	土地所有権確認等請求事件	那覇地方裁判所沖縄支部 裁判官　杉浦徳宏
4	沖縄関係　GHQ／SCAPマイクロフィッシュ（ネガ）	19枚	9年5月27日	複製作業のため	㈲南西マイクロ 山里　豊
5	屋良朝苗氏関係ネガフィルム	67点	9年6月4日 ～7月15日		沖縄県総務部広報課 主査　知念弘光
6	沖縄からのメッセージ事業写真パネル	62点	9年7月18日 ～8月22日	沖縄平和97において使用（山形県新庄市、高知県高知市）	沖縄県平和推進課 課長　大浜　進
7	730看板「借用、展示」	1点	9年7月25日 ～31日	第20回沖縄県交通安全県民大会	沖縄県交通安全推進協議会 会長　大田昌秀
8	船越義珍空手関係資料「借用、展示、上映」	11点	9年8月15日 ～26日	沖縄空手古武道世界大会「沖縄空手・古武道資料展」で展示、視聴	沖縄空手古武道世界大会実行委員会 事務局長　石川清祥
9	米兵に取り壊される宜野湾村伊佐浜の民家、他	30点	9年9月18日 ～30日	修学旅行の事前学習会	熊本県菊池郡菊陽町3518武蔵ケ丘中学校　山下圭一
10	堀総務副長官に対する要望書、他	3点	9年10月7日 ～17日	琉球政府のフリートレードゾーンの調査	沖縄県総務部秘書課政策調整官室　知念秀紀
11	写真パネル「平和の礎・名前を写し取る遺族」、他	3点	9年10月31日 ～11月14日	平成9年度中国、四国、九州地区男女共同参画推進地域会議で展示	沖縄県総務部知事公室女性政策室 室長　新垣幸子
12	契約に関する書類（豊見城村与根海岸護岸工事）	1点	10年1月14日 ～30日	裁判資料	沖縄県土木建築部 河川課　赤嶺　満
13	世替りの図、他（ビデオ）	3点	10年2月5日 ～10日	北海道北方対策委員に対する説明会	沖縄県総務部知事公室広報課　江洲幸治

②撮影、複製、掲載、放送許可

番号	資料名	数量	許可期日	目的	申請者
1	民政府布告26号、等「撮影」	4冊	9年4月16日	現在の基地問題を歴史的に検証する番組を製作・放映する	株式会社TBS　報道特集 プロデューサー　稲葉悠
2	一筆限調書南風原村字与那覇、等「撮影」	5点	9年4月24日	研究のため	南風原町字与那覇174－1 里井洋一
3	沖縄対話、琉球教育・沖縄教育「撮影、掲載」	2点	9年4月30日	「ETV特集：はるかなる本土（仮題）」番組を製作、明治期から昭和20年までの沖縄の教育政策を紹介する	NHK教育番組部 部長　二宮文彦
4	陣中日誌1、2「複写」	2冊	9年5月12日	調査研究のため	山梨県敷島町中下条434－2　山梨学院大学法学部 我部　政男

番号	資　料　名	部数	貸出期間	目　　的	借　　用　　者
5	基地建設写真「複写、掲載」	2点	H9年5月20日	講談社「目録20世紀」1951年ないし1953年号に掲載	株式会社講談社 総合編集局長　丸本進
6	沖縄諮詢委員会会議録、ニミッツ布告、他「撮影、掲載」	5点	H9年5月20日	6月24日放送予定のETV特集で使用	東京都渋谷区神南2-2-1 NHK教養番組部 山口智也
7	古銭、ドル、B円、A円「撮影、掲載」	110点	H9年5月28日	第1403回西日本宝くじ抽選会	那覇市久茂地2-3-1　琉球放送TV制作部　山田正宣
8	「陣中日誌」マイクロ複製本「撮影、掲載」	2点	H9年6月10日	沖縄タイムス紙掲載（H9年6月中予定）	那覇市壺川190-1-106 木村　文
9	琉球国王尚敬進貢表文、他「撮影」	3点	H9年6月20日	スライド作成	西原町字翁長920-11 宮城　保
10	移民資料及び調査者の姿「撮影」		H9年7月31日	テレビ番組製作	大阪市中央区城見2-2-33 讀賣テレビ放送株式会社報道局報道情報センター　神松一三
11	富名腰義珍空手関係資料「複製、放映」	3点	H9年8月8日～25日	サンデースポーツ特集「沖縄空手の華麗なる世界」	NHK沖縄放送局 局長　座間味朝雄
12	琉球政府の印、B円、守礼の光「複写、掲載」	3点	H9年8月15日	沖縄戦、戦後のろう者研究、ビデオ作成	神奈川県横浜市金沢区並木1-5-6-204 千々岩　恵子
13	占領初期沖縄関係写真資料等（8冊）「複写、掲載」	30点	H9年8月15日	本への掲載	東京都文京区本郷1-1-1 （株）アテネ書房 代表取締役　山縣淳男
14	林政八書「復刻」	全体	H9年10月6日	復刻版の刊行	東京都港区赤坂7丁目6番1号　社団法人農山漁村文化協会　専務理事 坂本　尚
15	沖縄県公文書館全景写真「撮影、掲載」	1点	H9年10月6日	写真集「琉球、沖縄写真、絵画集成」	東京都文京区本郷1-1-1 （株）アテネ書房 代表取締役　山縣淳男
16	交通変更730キャンペーン立看板「撮影、掲載」	1点	H9年10月28日	放送コンテスト番組作成	沖縄県立那覇西高等学校 金城　貴美子
17	占領初期米陸軍関係写真「戦火の中の沖縄」、他「掲載」	13点	H9年11月19日	「ビジュアル版沖縄の歴史（第1号）銃剣とプルドザー」へ掲載	（財）沖縄県文化振興会 理事長　大田　昌秀
18	農連事件受理報告書「撮影、掲載」	3点	H9年11月26日	「ドキュメンタリー農連事件」掲載　西原　光雄	那覇市与儀1-25-13
19	USCAR高等弁務官関係写真資料、他「撮影、掲載」	5点	H10年1月22日	とみぐすく写真帳への掲載	豊見城村字平良536番地 豊見城村教育委員会 教育長　垣花幸雄
20	琉球人行列之図、他「撮影」	3点	H10年2月10日	角筆文献研究資料として	広島市西区己斐大迫3-21-10　吉沢　康和

2　収集・整理事業

(1)　資料収集整理数

（単位：薄冊）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
沖縄県文書	収集数	61	0	7	1,113	38	0	0	13	11	0	0	0	1,243
〃	整理数	61	0	0	0	574	18	0	11	2	11	0	0	677
琉政文書	収集数	9	7	25	363	6	22	16	7	55	69	124	2	705
〃	整理数	688	460	586	28	0	6	20	20	30	38	365	0	2,241
USCAR文書	収集数	21	0	68	1	0	1	145	8	0	39	6	337	626
〃	整理数	70	98	303	2,936	94	25	25	15	31	114	44	15	5,770
行政刊行物	収集数	32	267	359	55	254	172	247	2,189	208	69	2,895	72	6,819
〃	整理数	0	0	0	6	0	256	2	0	52	32	0	9	357
沖縄関連資料	収集数	455	49	2	3,229	30	1,037	7	22	20	14	0	885	9,449
〃	整理数	37	296	21	89	70	0	18	0	44	2	0	27	604
档案資料	収集数	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
〃	整理数	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	192	196
古文書	収集数	35	0	0	0	0	16	26	0	28	46	0	0	151
〃	整理数	3	0	0	3	0	0	0	0	0	28	0	0	34
その他の資料	収集数	82	1	0	12	2	31	0	17	12	42	0	23	222
〃	整理数	81	4	0	0	0	0	31	0	0	0	45	0	161

(2) 主な収集資料

1	米国バージニア州在ローレンス•フナコシ夫妻より沖縄関係米国図書受贈	8冊
2	松川重一氏よりニューヨーク沖縄県人会会員•関係者名簿受贈	1冊
3	北米沖縄県人会より北米沖縄県人会会員住所録他受贈	3冊
4	ジョー•山川氏より救援ニュース他受贈	6冊
5	湧川勢津子氏より日誌他受贈	99冊
6	日本共産党中央委員会新原昭治氏より日本共産党国会議員団編受贈	
7	「調査報告　沖縄米軍基地」他を受贈	2冊
8	船越ローレンス•ミヤコ夫妻より「基地沖縄　カメラで捉えた10年」他受贈	15冊
9	外間正四郎氏より「沖縄日米最後の戦闘」他受贈	10冊
10	沖縄県監査委員会よりの引継文書	91簿冊
11	米国カリフォルニア州在ジョン•オオヒラ氏よりUSCAR行政刊行物等受贈	13冊
12	元沖縄県祖国復帰協議会会長他より祖国復帰運動に関するすべての資料受贈	
13	名護高等学校図書館より沖縄関係刊行物受贈	12冊
14	おきなん農業共同組合伊差川久敏氏より「創立50周年記念誌」受贈	5冊
15	沖縄県八重山支庁より引継の琉政文書	160簿冊
16	米須興文氏より昭和20年〜30年頃の沖縄の写真資料受贈	47件
17	首里高等学校より沖縄関係刊行物受贈	18箱
18	宮古支庁より引継の琉政文書	212簿冊
19	沖縄県生活福祉部引継の琉政文書	11簿冊
20	元琉球政府主席大田政作氏より沖縄関係写真資料受贈	4枚
21	稲嶺惠一氏より稲嶺一郎関係資料受贈	162箱
22	総務部文書学事課より廃棄文書の引継	1,103箱
23	沖縄県教育庁保健体育課より引き継ぎ国体関係書類、写真、記録映画フィルム等	60箱
24	幸地努氏より昭和30年代の琉球政府刊行物受贈	5冊
25	新崎盛暉氏より「吉田嗣廷氏関係資料」受贈	50箱
26	山路安清氏より「早川知事関係新聞スクラップ等」受贈	8点
27	沖縄県議会図書室所蔵琉球政府公報（昭和27年〜昭和47年）マイクロフィルム受入	25リール
28	琉球気象台気候表（昭和34年9月）外を受入	11冊
29	国立国会図書館所蔵「沖縄毎日新聞•大正3年1月〜12月）マイクロフィルム受入	1リール
30	NTT沖縄支店より「琉球電信電話関係新聞スクラップ」外受贈	457冊
31	沖縄県立図書館所蔵沖縄県産業組合会30年史マイクロフィルム受入	12リール
32	外務省外交資料館収蔵資料「琉球藩取扱書」外マイクロフィルム受贈	6リール
33	南風原公民館収蔵資料「仕明け請地帳」外受入	4リール
34	青森県立図書館収蔵資料「笹森儀助文書」外を受贈	2リール

(3) 琉球政府文書

総務局総務課文書の件名採り作業を実験的に行いつつ、琉球政府文書全体の収集基準、整理基準要領を作成した。また、未整理の琉球政府刊行物や、沖縄県立図書館より引き継いだ資料、および社団法人沖縄県対米請求権事業協会から寄贈された資料の仮目録を作成した。

琉球政府文書	155,667簿冊
土地所有申請書のマイクロ撮影終了	4,219簿冊
一筆限調書	597簿冊

県立図書館史料編纂室引継資料	120箱（約1,200簿冊）
対米請求権事業協会引継資料	149箱（965簿冊）
労働省沖縄婦人少年室引継資料	13箱（150簿冊）
宮古支庁引継資料	14箱（199簿冊）
八重山支庁引継資料	15箱（約160簿冊）
群島政府・民政府関係広報	11冊
国際交流課引継資料	7箱（約50簿冊）

平成８年度から継続して作業している琉球政府行政機構図作成作業を完了して発刊する。

(4) 沖縄県文書

公文書館県政文書収集基準の制定により、廃棄文書の引継時における第１次選別を開始した。これは次のような文書を収集対象外とするものである。

①庶務及び予算経理等の日常業務を遂行していく過程で作成される、きわめてルーティーンな公文書

②行政刊行物を作成するうえでその基礎となり、作成された刊行物をみればその目的が達成されるような公文書

③出先機関等に保存されている文書のうち、その機関が作成し本庁に送付されたような公文書

④原本以外の国及び本庁からの通知文書。

その他に教育庁保健体育課から海邦国体関係資料等を受け入れた。

① 平成９年度末現在の整理簿冊数

単位：冊

ID	作成部名	簿冊	写真	マイクロフィルム	図面	計
1	総務部	182	271	0	0	453
2	企画開発部	112	0	0	0	112
3	生活福祉部	15	0	5	0	20
4	環境保健部	123	0	0	0	123
5	農林水産部	74	0	0	0	74
6	商工労働部	20	0	0	0	20
7	土木建築部	32	0	0	0	32
8	出納事務局	23	0	0	0	23
9	八重山支庁	48	0	0	0	48
10	宮古支庁	17	0	0	0	17
11	海洋博文書	5,321	590	0	573	6,484
12	戦前の県文書	0	0	0	1	1
		5,967	861	5	574	7,407

② 平成９年度　知事部局からの受入文書数

ＩＤ	部	課名	箱数
1	総務部	総務部総務課	24
2		秘書課	1
3		基地対策室	1
4		人事課	8
5		財政課	1
6		文書学事課	3
7		消防防災課	15
8		土地対策課	5
9		統計課	1
10		地域振興課	1
11		市町村課	14
12		八重山支庁	44
13		宮古支庁	11
14	生活福祉部	福祉総務課	1
15		社会福祉課	55
16		長寿社会対策室	30
17		児童家庭課	35
18		障害福祉課	23
19		援護課	4
20		県民生活課	3
21		国民健康保険課	1
22	環境保健部	保健総務課	9
23		予防課	14
24		生活衛生課	19
25		医務課	14
26		薬務課	11
27		環境保全課	8
28		自然保護課	1
29		病院管理局管理課	2
30	農林水産部	農林総務課	3
31		農政課	32
32		農林経済課	17
33		農政経済課	30
34		流通園芸課	13
35		畜産課	2
36		糖業農産課	7
37		営農推進課	10
38		農地水利課	70
39		農林建設課	70
40		林務課	7
41		みどり推進課	11
42		漁政課	9
43		水産振興課	15
44		漁港課	28
45		工業振興課	2
46		商工課	3
47		経営金融課	2
48		観光振興課	6
49		工芸産業課	5
50		渉外労務課	2
51		労政課	4
52	土木建築部	土木総務課	54
53		技術管理課	9
54		道路建設課	60
55		道路維持課	53
56		港湾課	44
57		空港課	2
58		河川課	55
59		都市計画課	22
60		建築課	106
61		住宅課	4
62		用地課	63
63	出納事務局	会計課	1
	計		1,180

その他の収集資料
企業局文書　７箱
池間キヨ子氏寄贈　大野山植林計画図　１点
教育庁保健体育課引渡海邦国体文書　38箱
県立図書館保管知事部局文書　16箱

(5) USCAR資料

公文書専門員を一人採用し、米国に駐在させた。また、USCAR資料の収集について以前から調整をすすめていた国立国会図書館との間に合意が成立、覚書を交わし、共同事業を開始した。整理においては、ユースカーニュースリリースを件単位で登録したほか、写真資料のアルバム整理の手法が確立してきた。

[1]USCAR資料収集業務

	資料の区分又は名称	単　位	9年度収集数
1	在米沖縄関係写真資料	件／簿冊	1,705
2	USCAR写真（含軍関係）	件	973
3	沖縄占領関係資料	簿冊	97
4	〃	箱	2
5	〃	マイクロ(本)	72

[2]USCAR資料整理業務

	資料の区分又は名称	単　位	9年度整理数
1	ユースカーニュースリリース	件	2,700
2	在米沖縄関係写真資料	件／簿冊	1,705
3	USCAR写真（含軍関係）	件	973
4	GHQ／SCAP マイクロフィッシェ	件	1,094
5	刊行物	簿冊	944

注

① 水道公社は、1958年に創設されたUSCARの付属機関。1972年の本土復帰とともに解消、その業務は県企業局へと引き継がれたが、沖縄県公文書館では、約6,000点近い同公社文書を整理、保管している。

② USCARが、マスメディアに提供したニュース・テキスト。

③ 英文で書かれた「琉球の歴史」で有名なアメリカの歴史家、ジョージ・H・カーの私文書。

④〜⑤ 米国立公文書館等が所蔵する沖縄関係の写真資料。

⑦ 国立国会図書館が収集したGHQ文書のうちの、沖縄関連資料を複製収集。

⑧〜⑩ 米国務省、国防総省の公文書の中から沖縄関係のものを調査、ゼロックスコピーにて収集。

(6) 地域資料

稲嶺一郎資料、吉田嗣延資料等を受贈した。また、沖縄県祖国復帰協議会（現在は解散）の組織資料が寄贈された。岸秋正氏の蔵書を継続して整理。松岡政保資料の選別、第一次整理を行う。

平成９年度　寄贈者一覧

	寄　贈　者　氏　名
1	アシュレイ＆ショーン＝クィン
2	新崎盛暉
3	稲嶺惠一
4	大城喜信
5	大田政作
6	大濱用一
7	大嶺弘子
8	沖縄県祖国復帰協議会
9	おきなん農業共同組合
10	川上哲也
11	神田照夫
12	キヨシ＝オオクボ＝コンラッド＝ホカマ
13	金城棟永
14	金城美智子
15	金城義信
16	首里高等学校
17	尚生堂
18	ジョー＝ヤマカワ
19	末次智
20	鈴木いと子
21	高嶺悟
22	武石和実
23	津嘉山朝芳
24	照屋榮一
25	佐久川政一
26	豊田沖人
27	仲地洋

	寄　贈　者　氏　名
28	名護高等学校図書館
29	南島研究所
30	新原昭治
31	西原光雄
32	平敷謙七
33	外間正四郎
34	北部農林高等学校
35	北米沖縄県人会
36	星雅彦
37	真喜志康二
38	松川重一
39	宮城実
40	宮古郷土史研究会
41	ミヤコ＆ローレンス＝フナコシ
42	村永美和子
43	望月雅彦
44	本井晴信
45	山川岩実
46	山里純一
47	山路安清
48	山城博明
49	山田義良
50	屋良朝夫
51	与儀九英
52	レイモンド＝アカ
53	泡瀬復興期成会
54	湧川勢津子

五十音順　略敬称

(7) 地図・空中写真収集整理業務

米軍撮影の空中写真を購入し、琉球政府、国土地理院撮影空中写真を含めて整理作業を行った。

収集

本年度に収集した空中写真は次のとおりである。

種　別	収集のタイプ	受　入　日	作成又は撮影機関名	備　　考	数　量
空中写真	購　入	Ｈ９（1997） 11／28	米軍	米軍撮影空中写真	2,168枚
空中写真	９年度計				2,168枚
	累　　計				4,392枚

整理

米軍撮影空中写真、琉球政府及び国土地理院撮影空中写真の整理業務を行う。

(8) 映像・音声資料収集一覧

①映像資料

番号	種 別	資 料 タ イ ト ル	数量(巻)	受入方法	受 入 先	備 考
1	VHS BETA	吾が島の文化と伝統 他 国際交流と沖縄の将来	15 1	寄贈	稲嶺恵一氏	
2	35㎜	「沖縄」 他	4	購入	日経映画社	複製
3	VHS	県広報テレビ番組「ふるさとNOW」 平成3年度（H4.1） 他	301	移管	沖縄県広報課	
4	35㎜	沖縄（上下巻） 他	4		財団法人 沖縄協会	
5	16㎜ BETACAM Umatic	豊かな郷土を築く(1) 他 豊かな郷土を築く－沖縄県庁舎警察棟の建設記録 2号 他 沖縄県庁舎行政棟建設工事の記録 2号他	11 2 2	移管	県管財課	
6	VHS	沖縄戦時記録等 他	7	複製	ノルウェー人慶応大学研究生より	米国ワシントン国立公文書館収蔵
7	VHS	沖縄空手古武道世界選手権大会	1	寄贈	沖縄空手古武道世界大会実行委員会	
8	VHS	沖縄の歴史と文化「外間守善」 他	13	購入	NHK市民大学	
9	16㎜	南洋における戦友の慰霊 他	2	寄贈	森口 豁氏	
10	8㎜	河村只雄・南方文化の研究関係 他	15	寄贈	河村 望氏	
		合 計	378			

※番号は配架して閲覧しているビデオテープの番号

② 音声資料

番号	種 別	資料タイトル	数 量	受入方法	受 入 先	備 考
1	カセットテープ	沖縄県日本復帰協議会資料	7巻	寄 贈	沖縄県日本復帰協議会	
2	オープンテープ	沖縄県日本復帰協議会資料	33	寄 贈	沖縄県日本復帰協議会	
3	カセットテープ	稲嶺一郎関係資料	2	寄 贈	稲嶺恵一氏	
4	カセットテープ	沖縄戦米兵インタビュー	10	寄 贈	吉田健正氏	
5	カセットテープ	県民投票	1	移 管		
6	カセットテープ	森口豁調査関係資料	1	寄 贈	森口豁氏	
7	オープンテープ	森口豁調査関係資料	6	寄 贈	森口豁氏	
8	オープンテープ	沖縄県広報関係資料	30	移 管	沖縄県総務部広報課	
9	カセットテープ	沖縄県広報関係資料	11	移 管	沖縄県総務部広報課	
合 計			101巻			

3 保存・修復・マイクロ・電算業務

(1) 資料保存・修復業務

主として、岸秋正文庫古典籍・古文書の修復処置を行い、帙を作成して収納した。この他、琉球政府公報を全て保存箱に収納、琉球政府文書、岸文庫近現代資料、県公文書の脱酸処理及び修復処置を行った。

表３．平成９年度月別業務実績　　単位：簿冊　　単位：枚数

月	資料数	作業内容										のべ計	修復内容			のべ計
		劣化調査	修復			製本			保存容器				裏打ち等	リーフ	脱酸処理	
			A	B	C	機械	簡易	上	箱	フォ	エン					
4	3	3	28		2				1			6	1,379	21	1,379	2,779
5	3				3				1			4	834	5	583	1,422
6	5	2	1		3		2		1	1		10	253		198	451
7	7	3			5						3	11	49			49
8	11		9		1		1					11	1	1		2
9	37	40			3							43	92	57,	90	239
10	26	18	6	1	1				3			29	10	7	13	30
11	29	28	1	7	3				2	1		42	137	3	257	397
12	17			12	1		12		1			26	179	10	197	386
1	68			1	1		1		66			69	63		62	125
2	61	3	36						32	11		82	2			2
3	92				1		1		88	2	3	95		3	4	7
合計	359	97	53	21	24	0	17	0	195	15	6	428	2,999	107	2,783	5,889

注）＊１　表中の「修復」は、作業の難易度によりＡ・Ｂ・Ｃの３段階に区分。Ａ＝所要時間４時間以内（簡単な補填や綴じ直し、しわ伸ばし等）、Ｂ＝所要時間16時間以内（簿冊解体後に簡単な補修をし、綴じ直す場合等）、Ｃ＝所要時間16時間以上（簿冊解体後は、裏打ち等による補填やリーフキャスティング、脱酸処理を行い、綴じ直す場合）。
＊２　平成９年度は、修復内容別の処置枚数の統計をとり、表中では作業内容別総数は簿札単位、修復内容別総数は枚数単位で示した。
＊３　表中の「フォ」＝フォルダー、「エン」＝エンキャプスレーションを示す。

(2)　燻蒸業務

表７．平成９年度業務実績

燻蒸方式	回数	実施月日	使用薬剤	実施形態
書庫燻蒸　１／９・10／11号書庫	１回	７／18～22	エキボン	委託
館内燻蒸設備での燻蒸	31	随時	〃	〃
館外委託燻蒸（那覇青果）	1	10／21～23	〃	〃

(3) マイクロ・写真撮影業務

前年度に引き続き土地所有申請書のマイクロ化の他、沖縄県対米請求権事業協会から寄贈された地図（第二次分）１／4,800の地形図のマイクロ化と複製資料作成及び特別展－岸秋正文庫の世界一の展示資料の図録掲載用写真撮影を行った。

①マイクロ撮影・複製実績

	撮影フィルム（ネガ）			複製フィルム（ネガ）				複製フィルム（ポジ）			
	16mm*	35mm*	35mmJ*	16mm	35mm	16mmJ	35mmJ	16mm	35mm	16mmJ*	35AP*
数量	62	71	0	25	215	0	0	88	386	0	0
コマ数	198,568	28,854	0	57,362	223,496	0	0	285,901	351,039	0	0

マイクロフィルム総数：133（撮影）＋714（複製）＝847リール

総コマ数：227,422（撮影）＋917,798（複製）＝1.145,220コマ

*注釈：16mm:16mmロール　35mm:35mmロール　35mmJ:35mmジャケット　16mmJ:16mmジャケット　35mmAP:35mmアパチュアカード

②マイクロ引伸ばし

サイズ	A４版	A３版	A２版	A１版	A０版	B４版	B３版	B２版	B１版	不定形
枚数	59	496	26	229	0	0	0	1	1	27

引伸ばし総枚数：842枚

③写真撮影・写真引伸ばし

	カラーフィルム				モノクロフィルム		プリント現像枚数（モノクロのみ）			
	ネガフィルム		ポジフィルム		ネガフィルム					
サイズ	35mm*	6×7*	35mm	6×7	35mm	6×7	全　紙	四　切	六　切	キャビネット
枚数	168	10	567	824	899	180	0	213	322	257

写真撮影総枚数：1,569枚（カラー）＋1,079（モノクロ）＝2,648枚

引伸ばし総枚数：792枚

*注釈：35mm：35mmフィルム　６×７ブローニーフィルム（６×７サイズ）

(4) 電算関連業務

① 公文書館システムの保守作業

公文書館システムの保守作業の他に、次の項目の性能向上開発を行なった。

改善項目一覧

No.	機 能	改善項目概要
01	資料検索	検索実行中の中断機能の修正。
02	貸出・返却	貸出単位と返却単位が異なる時の対応。
03	行政機構図	行政機構変遷図の変更。

② ホームページの構築作業

ホームページのコンテンツ作業として、収蔵資料約200点のデジタル化を行い、ホームページ用に編集した。

4　普及啓発事業

(1)　講座

第３回沖縄県公文書館講座

戦後沖縄文化の諸相

①　目的：　沖縄県の歴史・文化に関する講座を開催し、県民の学習活動へ寄与すると共に公文書館活動の普及を図る。

②　期間：　平成10年１月22日（木）～３月12日（木）（毎週木曜日、全８回）

③　時間：　午後６時30分～８時（会場６時）

④　場所：　沖縄県公文書館講堂

⑤　講座内容及び講師

日　　程	テ　ー　マ	講　　師	
第１回　１月22日（木）	住まいに活かす先人の教え～風水～	照屋寛公（建築アトリエトレッペン）	121人
第２回　１月29日（木）	戦後沖縄の音楽～民謡・ロックを中心に～	備瀬善勝（キャンパスレコード店主）	54人
第３回　２月５日（木）	沖縄の伝統染織と現代ファッション	仲井間文子（三越デザイナー）	86
第４回　２月12日（木）	戦後沖縄の演劇	幸喜良秀（県商工労働部長）	38
第５回　２月19日（木）	沖縄芝居～よもやま話～	真喜志康忠（劇団ときわ座主宰）	91
第６回　２月26日（木）	沖縄の食文化～王朝料理再現の話～	金城須美子（琉球大学教授）	58
第７回　３月５日（木）	戦後沖縄のスポーツ (1) 高校野球	栽　弘義（沖縄水産高校野球部監督）	59
第８回　３月12日（木）	戦後沖縄のスポーツ (2) ボクシング	金城真吉（那覇市消防本部司令補）	22

(2)　講演会

第６回沖縄県公文書館講演会

沖縄と私　～屋良先生の思い出～

講　師：　末次一郎氏（末次事務所新樹会代表幹事）

日　時：　1997（平成９年）４月３日（木）　午後６時30分～８時（６時開場）

場　所：　沖縄県公文書館講堂

沖縄県公文書館では、平成９年２月14日に亡くなられた屋良朝苗元琉球政府行政主席、元沖縄県知事追悼企画として、講演会を開催しました。

(3)　講習会

第２回　保存箱教室

１．開催日時／場所

日　時：　平成９年８月10日（日）／平成９年８月24日（日）　午後２時～４時

＊当初予定していた８月17日は台風のため24日に延期

場　所：　製本補修室、マイクロ撮影室、コミュニティーラウンジ

２．参加者数

８月10日：16名

24日：10名

3．開催状況

内　容：　前年度に行った内容の他、新たに補修作業（裏打ち法と脱酸処理）のビデオ作成とフィルム・エンキャプスレーションの実習を追加。展示は主に保存・修復作業の内容と設備、備品等の説明を行い、ビデオで具体的な作業風景を紹介。講演会では、まず資料の劣化原因や保存の考え方等を説明し、公文書館の保存・修復業務の流れや内容を紹介した。

次に、修復方法の一例としてリーフキャスティング法を実演。その後、参加者が各自持参したハガキや写真で専用の保存箱やフィルム・エンキャプスレーションの作成作業を体験してもらった。

(4)　資料保存講習会　－図書の補修と製本－

1．開催日時：平成10年１月20日（火）午後１時30分～５時

2．場　　所：沖縄県公文書館

3．参加者数：49名

4．開催プログラム

第一部　講演「資料保存の概要について」

講師：国立国会図書館収集部資料保存課和装製本係長　大山清二氏

内容：資料保存の歴史や現在の考え方、保存技術の詳細（保存環境から修復、マイクロ化、利用まで）

第二部　実習｜図書の補修と製本｜

講師：同上　洋装製本第二係長　丸澤勝利氏

内容：無せん綴じの図書を解体し、糸綴じして再製本する方法を指導していただいた。また、紙片の破れや欠損を補修する方法も実習した。その他、和装の綴じ片も同時に学習した。

(5)　展示会

特別展　沖縄へのまなざし　～岸秋正文庫の世界～

期日　前期　平成９年８月１日～24日

「古典籍にみる琉球ものの世界」「渡地村文書」「一点もの資料」

後期　平成９年８月30日～９月28日

「琉球・沖縄学の系譜」「近代沖縄の文学者たち」「行政資料にみる近代」

場所　沖縄県公文書館閲覧棟１階展示室

(6)　映写会

復帰25周年記念　映像資料で見る復帰前の沖縄

－復帰前に制作された映像資料上映会－

趣　旨　　復帰前に制作された沖縄関係の記録映画を上映し、この時代を理解すると共に、映像、音声資料の収集、保存、活用等の公文書館業務の重要性の周知を図る。

期　日　　平成８年５月15日～平成８年９月26日　　18時～20時

場　所　　沖縄県公文書館講堂

５月15日（木）RKBニュース（屋良・喜屋武・佐藤・ニクソン共同声明、22年ぶりに日の丸沖縄によみがえる。沖縄の貨物船に日の丸贈呈、芥川賞に大城氏）

復帰への選択（1970年制作、28年ぶり国会に参加する沖縄議員）

海を越えてこの感激を（1972年制作、ブラジルで祝った沖縄祖国復帰）

6月27日（金）台風の沖縄本島接近のため中止した。

7月25日（金）沖縄列島（1968制作、東陽一、東プロダクション）
沖縄の風物（日本民芸協会制作、昭和初期の沖縄の人々の生活と名所、風物の紹介）

8月22日（金）RKBニュース（自衛隊沖縄派遣混成部隊編成式、立法院各党インタビュー、那覇市～軍港、漁村、工事現場～）
切手のふるさと1「沖縄切手たどりがき」（RKB制作）
ドキュメンタリー「弧の果ての島、八重山群島」（1964年RKB制作、八重山群島の人々の生活、また歴史調査の記録」

9月26日（金）RKBニュース（基地と沖縄）（1972年撮影）
切手ふるさと2「沖縄風土記」（RKB制作）
奄美大島（1958年RKB制作、1951年に米軍より返還された奄美大島の人々の生活風景）

付　　録

○ 公 文 書 館 法

（昭和62年12月15日
法 律 第 115 号）

公文書館法をここに公布する。

公文書館法

（目的）

第1条　この法律は、公文書等を歴史資料として保存し、利用に供することの重要性にかんがみ、公文書館に関し必要な事項を定めることを目的とする。

（定義）

第2条　この法律において「公文書等」とは、国又は地方公共団体が保管する公文書その他の記録（現用のものを除く。）をいう。

（責務）

第3条　国及び地方公共団体は、歴史資料として重要な公文書等の保存及び利用に関し、適切な措置を講ずる責務を有する。

（公文書館）

第4条　公文書館は、歴史資料として重要な公文書等を保存し、閲覧に供するとともに、これに関連する調査研究を行うことを目的とする施設とする。

2　公文書館には、館長、歴史資料として重要な公文書等についての調査研究を行う専門職員その他必要な職員を置くものとする。

第5条　公文書館は、国又は地方公共団体が設置する。

2　地方公共団体の設置する公文書館の当該設置に関する事項は、当該地方公共団体の条例で定めなければならない。

（資金の融通等）

第6条　国は、地方公共団体に対し、公文書館の設置に必要な資金の融通又はあっせんに努めるものとする。

（技術上の指導等）

第7条　内閣総理大臣は、地方公共団体に対し、その求めに応じて、公文書館の運営に関し、技術上の指導又は助言を行うことができる。

附　則　抄

（施行期日）

1　この法律は、公布の日から起算して6月を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。

（昭和63年政令第166 号で昭和63年 6 月 1 日から施行）

（専門職員についての特例）

2　当分の間、地方公共団体が設置する公文書館には、第 4 条第 2 項の専門職員を置かないことができる。

沖縄県公文書館の設置及び管理に関する条例

沖縄県公文書館の設置及び管理に関する条例をここに公布する。

平成７年３月31日

沖縄県知事　大　田　昌　秀

沖縄県条例第６号

沖縄県公文書館の設置及び管理に関する条例

（設置）

第１条　歴史資料として重要な公文書その他の記録（以下「公文書等」という。）を収集し、整理し、及び保存するとともに、これらの利用を図り、もって学術及び文化の振興に寄与することを目的として、沖縄県公文書館（以下「公文書館」という。）を設置する。

（位置）

第２条　公文書館の位置は、南風原町字新川148番地の３とする。

（業務）

第３条　公文書館の業務は、次のとおりとする。

(1)　公文書等の収集、整理及び保存に関すること。

(2)　公文書等の閲覧、展示その他の利用に関すること。

(3)　公文書等の調査及び研究に関すること。

(4)　公文書等についての専門的知識の普及啓発に関すること。

(5)　公文書等の目録、史誌、資料集等の編さん及び刊行に関すること。

(6)　その他公文書館の設置の目的を達成するために必要な業務に関すること。

（委任）

第４条　この条例に定めるもののほか、公文書館の管理に関し必要な事項は、規則で定める。

附　則

この条例は、公布の日から起算して６月を超えない範囲において規則で定める日から施行する。

○ 沖縄県公文書館管理規則

（平成７年８月１日 規則第 50 号）

〔沿革〕　平成８年３月31日規則第22号改制

沖縄県公文書館管理規則をここに公布する。

沖縄県公文書館管理規則

（趣旨）

第１条　この規則は、沖縄県公文書館の設置及び管理に関する条例（平成７年沖縄県条例第６号）第４条の規定に基づき、沖縄県公文書館（以下「公文書館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第２条　公文書館の開館時間は、午前９時から午後５時までとする。

２　公文書館の長（以下「館長」という。）は、必要があると認めるときは、前項の開館時間を臨時に変更することができる。

（休館日）

第３条　公文書館の休館日は、次のとおりとする。

⑴　月曜日

⑵　国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178 号）に規定する休日

⑶　12月28日から翌年の１月４日までの日（前号に掲げる日を除く。）

⑷　６月23日（沖縄県慰霊の日を定める条例（昭和49年沖縄県条例第42号）第２条に規定する慰霊の日）

⑸　特別整理期間（年間20日以内で館長が定める日）

２　前項第２号及び第４号に規定する休館日が同項第１号に規定する日に当たるときは、その日の後日において最も近い休館日でない日をもって、これに替えるものとする。

３　館長は、必要があると認めるときは、前２項に規定する休館日において臨時に開館し、又は前２項に規定する休館日以外の日において臨時に休館することができる。

４　館長は、前項の規定により臨時に休館しようとするときは、あらかじめその旨を公告しなければならない。

（遵守事項）

第４条　公文書館を利用しようとする者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

⑴　行政資料、文書等で公文書館において保存する資料（以下「公文書館資料」という。）を紛失し、改ざんし、汚損し、又は破損しないこと。

⑵　公文書館の施設、附属設備、展示物等を汚損し、又は破損しないこと。

⑶　公文書館資料の閲覧は、館長が指定する場所で行うこと。

⑷　所定の場所以外で飲食し、又は喫煙しないこと。

⑸　他の利用者に迷惑を及ぼし、又はそのおそれのある行為をしないこと。

⑹　その他館長の指示に従うこと。

（入館の制限等）

第５条　館長は、前条の規定に違反した者又は違反するおそれのある者に対して、公文書館への入館を拒否し、又は退館を命ずることができる。

（利用に供しない公文書館資料）

第６条　館長は、次に掲げる公文書館資料については、利用に供しないものとする。ただし、館長が特に必要と認めた場合は、この限りでない。

⑴　個人若しくは団体の秘密保持のため、又は公益上の理由により利用に供することが不適当なもの

(2) 整理又は検索資料の作成が終了していない公文書館資料
(3) 保存上支障がある公文書館資料
(4) 寄贈又は寄託を受けた公文書館資料で、当該文書等の寄贈又は寄託者と利用に供さない旨の特約があるもの

（利用証）

第7条 公文書館資料を利用しようとする者は、あらかじめ沖縄県公文書館利用証（第1号様式。以下「利用証」という。）の交付を受けなければならない。ただし、参考資料室の公文書館資料については、この限りでない。

2 前項の利用証の交付の申請は、利用証交付申請書（第2号様式）により行うものとする。この場合において、当該申請をしようとする者は、身分証明証又は運転免許証等本人の住所及び氏名を確認できるものを提示しなければならない。

3 利用証の有効期間は、交付の日から1年とする。

4 利用証の交付を受けた者は、利用証を紛失した場合又はその住所若しくは氏名を変更した場合は、速やかにその旨を館長に届け出なければならない。

5 利用証は、他人に譲渡し、若しくは貸与し、又は不正に使用してはならない。

6 館長は、利用証の交付状況を明らかにするため、利用証交付台帳（第3号様式）を備えなければならない。

（閲覧の手続）

第8条 公文書館資料を閲覧しようとする者は、公文書館資料閲覧申請書（第4号様式）に利用証を添えて館長に提出しなければならない。

2 同時に閲覧できる公文書館資料は、1人1回につき5点以内とする。

（返納）

第9条 公文書館資料の閲覧を終了した者は、速やかに当該公文書館資料を返納しなければならない。

2 公文書館資料の返納は、当該公文書館資料に異常がない旨の確認を受けて行わなければならない。

（複写）

第10条 公文書館資料の複写を希望する者は、館長が別に定める方法及び範囲内で複写を受けることができる。

2 前項の複写に必要な費用は、当該複写を希望する者の負担とする。

（出版物等への掲載）

第11条 公文書館資料の全部又は一部を出版物等に掲載しようとする者は、あらかじめ出版物等掲載許可申請書（第5号様式）を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

（公文書館資料の館外貸出し）

第12条 公文書館資料の館外貸出しは、行わないものとする。

2 前項の規定にかかわらず、館長は、次に掲げるものに、特にその必要があり、かつ、持ち出してもその管理に支障がないと認めたときは、公文書館資料の館外貸出しを許可することができる。

(1) 公文書館法（昭和62年法律第115号）第4条第1項に規定する公文書館
(2) 図書館法（昭和25年法律第118号）第2条第1項に規定する図書館
(3) 博物館法（昭和26年法律第285号）第2条第1項に規定する博物館及び同法第29条の規定により文部大臣の指定した博物館に相当する施設
(4) 社会教育法（昭和24年法律第207号）第21条に規定する公民館
(5) 国又は地方公共団体の機関
(6) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する学校

(7)　その他館長が適当と認めるもの

3　公文書館資料の館外貸出しを受けようとするものは、館長の許可を受けなければならない。

4　前項の許可を受けようとするものは、館外貸出許可申請書（第6号様式）を館長に提出し、館外貸出許可書（第7号様式）の交付を受けなければならない。

（館外貸出期間）

第13条　公文書館資料の館外貸出期間は、30日以内とする。ただし、館長は、特に必要があると認めるときは、これを延長することができる。

2　前項の館外貸出期間は、当該公文書館資料を引き渡した日から起算してその返還を受ける日までの日数により計算するものとする。

3　館長は、業務の都合により必要があるときは、公文書館資料の館外貸出期間中であっても、当該公文書館資料の返還を求めることができる。

（貸出資料の利用方法）

第14条　公文書館資料の館外貸出しを受けたものは、当該公文書館資料を、許可を受けた利用の目的及び場所以外で利用してはならない。

（文書等の寄贈及び寄託）

第15条　館長は、文書等の寄贈及び寄託を受けることができる。

2　寄託を受けた文書等は、その保管、利用等に関し、寄託者との特約がある場合を除き、公文書館資料と同様の取扱いをするものとする。

3　寄託を受けた文書等が、天災地変その他不可抗力により損害を受けたときは、館長はその責めを負わないものとする。

（寄贈手続）

第16条　文書等の寄贈の申込みは、文書等寄贈申込書（第8号様式）により行うものとする。

2　館長は、前条第1項の規定による寄贈を受けたときは、寄贈者に対し寄贈文書等受取証（第9号様式）を交付するものとする。

（寄託手続）

第17条　文書等の寄託の申込みは、文書等寄託申込書（第10号様式）により行うものとする。

2　館長は、前項の規定による寄託の申込みを受けたときは、速やかに寄託文書等目録（第11号様式）を作成し、当該申込みをした者に対しこれを提示して、当該申込みに係る文書等の内容、数量等について確認を求めるとともに、文書等受託証（第12号様式）を交付しなければならない。

（損害賠償）

第18条　公文書館資料又は公文書館の施設若しくは設備を紛失し、改ざんし、汚損し、又は破損した者は、紛失等届出書（第13号様式）を館長に提出するとともに、これを修復し、又はその損害を賠償しなければならない。

（委任）

第19条　この規則に定めるもののほか、公文書館の管理に関する事項については、館長が別に定める。

附　則

この規則は、公布の日から施行する。

一部改正〔平成8年規則22号〕

附　則〔平成8年3月31日規則第22号〕

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

第１号様式（第７条関係）

表

沖縄県公文書館利用証

OKINAWA PREFECTURAL ARCHIVES PATRON CARD

勤務先又は学校名	登録番号
	発行年月日：　年　月　日

氏名：

裏

- 閲覧室入室の際にこの利用証を係員に提示してください。
- 閲覧申請をするときは、申請書と利用証を係員に提出してください。
- 資料の館外貸出しは原則として行っていません。
- この利用証を使用できるのは本人のみです。紛失した場合、また住所等を変更した場合にはお知らせください。紛失した利用証が無断使用されても当館は責任を負いませんので、紛失の通知は早急に願います。
- この利用証の有効期間は、発行日より１年間です。

沖縄県公文書館
Okinawa Prefectural Archives
〒901-11　沖縄県南風原町字新川143-3
電話（098)888-3875　FAX（098)888-3879

第２号様式（第７条関係）

※　利用証番号

利用証交付申請書

年　月　日

沖縄県公文書館長　殿

（ふりがな） 氏　名		生年月日	年 齢
		（明治・大正・昭和・平成） 年　月　日	歳
住　所	〒		
勤　務　先 又は学校名			
※ 有効期間	年　月　日から　年　月　日まで		

（注）※印の欄は、記入しないでください。

第３号様式（第７条関係）

利　用　証　交　付　台　帳

番号	氏名	住所・電話番号	交付日	有効期限	利　用

第４号様式（第８条関係）

発行日　　年　月　日

公　文　書　館　資　料　閲　覧　申　請　書

沖縄県公文書館長　殿

（カ　ナ）	
氏　名	
住　所	
ＴＥＬ	
事　由	

タイトル	区分	メディアタイプ	書架コード	箱コード	箱番号	簿冊コード	処理

タイトル	区分	メディアタイプ	書架コード	箱コード	箱番号	簿冊コード	処理

タイトル	区分	メディアタイプ	書架コード	箱コード	箱番号	簿冊コード	処理

タイトル	区分	メディアタイプ	書架コード	箱コード	箱番号	簿冊コード	処理

タイトル	区分	メディアタイプ	書架コード	箱コード	箱番号	簿冊コード	処理

第５号様式（第11条関係）

出版物等掲載許可申請

年　月　日

沖縄県公文書館長　殿

申請書　住所
氏名　印
（法人その他の団体にあっては、主たる事務所の所在地及び名称並びに代表者の氏名）
電話番号　（　）　－

次のとおり公文書館資料の出版物等への掲載の許可を申請します。

許可を求める公文書館資料	登録番号	
	表題	
	掲載部分	
	件数	
掲載目的		
掲載方法		
掲載する出版物等	図書名	
	著者名	
	発行所	
	発行年月日	

※　掲載許可年月日	年　月　日

（注）　※印の欄は、記入しないでください。

第６号様式（第12条関係）

館外貸出許可申請書

年　月　日

沖縄県公文書館長　殿

申請者　住所
氏名　印
（法人その他の団体にあっては、主たる事務所の所在地及び名称並びに代表者の氏名）
電話番号　（　）　－

次のとおり公文書館資料の館外貸出しの許可を申請します。

	登録番号	表題（文書名又は簿冊名等）	冊・点数
館外貸出しを申請する公文書館資料			
利用目的			
利用目的			
貸出期間	年　月　日から 年　月　日まで　　日間		

（注）　利用目的は、詳細に記入すること。

7号様式（第12条関係）

館　外　貸　出　許　可　書

年　　月　　日

殿

沖縄県公文書館長　印

次のとおり公文書館資料の館外貸出しを許可します。

館外貸出しを申請する公文書館資料	登録番号	表題（文書名又は簿冊名等）	冊・点数
利用目的			
利用目的			
貸出期間	年　月　日から 年　月　日まで　　日間		

備考　1　館外貸出しを受けた公文書館資料の返還は、貸出期間の最終日の午後5時までに行ってください。
2　館務の都合により必要があるときは、貸出期間中であっても公文書館資料の返還を求めることがあります。
3　館外貸出しを受けた公文書館資料は、上記の目的又は場所以外で利用しないでください。
4　館外貸出しを受けた公文書館資料を損傷し、又は紛失したときは、直ちに紛失等届出書を館長に提出するとともに、原状に復し、又はその損害を賠償していただきます。
5　その他公文書館に関する規定を遵守し、館長の指示に従ってください。

第8号様式（第16条関係）

文　書　等　寄　贈　申　込　書

年　　月　　日

沖縄県公文書館長　殿

申請者　住所

氏名　　印

私所有の下記の文書等を公文書館に寄贈します。

記

文書等の種類	数量	備考

第９号様式（第16条関係）

寄　贈　文　書　等　受　取　証

年　　月　　日

殿

沖縄県公文書館長　印

下記のとおり文書等を受け取りました。

記

文書等の種類	数　量	備　　考

第10号様式（第17条関係）

文　書　等　寄　託　申　込　書

年　　月　　日

沖縄県公文書館長　殿

申　請　書　　住所

氏名　　印

私所有の下記の文書等を公文書館に寄託します。

記

文書等の種類	数　量	備　　考

第11号様式（第17条関係）

寄託文書等目録			
番号	文書等名	数量	備考

第12号様式（第17条関係）

発行番号

文書等受託証

年　月　日

殿

沖縄県公文書館長　印

沖縄県公文書館資料として、別紙目録のとおり受託しました。

第13号様式（第18条関係）

紛　失　等　届　出　書

年　　月　　日

沖縄県公文書館長　殿

届出者　住　　所
氏　　名　　印
利用証番号
電話番号　（　　）　－

次のとおり（紛失・改ざん・汚損・破損）したので届け出ます。
なお、修復又は損害賠償については、館長の指示に従います。

紛失し、改ざんし、汚損し、又は破損した公文書館資料又は公文書館の施設若しくは設備の名称	
（紛失・改ざん・汚損・破損）した年月日	年　　月　　日
紛失し、改ざんし、汚損し、又は破損した理由	

※ 処　　置	

（注）※印の欄は、記入しないでください。

沖縄県行政組織規則

（沖縄県行政組織規則）

第８款　公文書館

追加〔平成７年規則15号〕

（設置、名称、内部組織及び位置）

第125 条の４　歴史資料として重要な公文書その他の記録（以下「公文書等」という。）を収集し、整理し、及び保存するとともにこれらの利用を図り、もって学術及び文化の振興に寄与することを目的として、公文書館を設置する。

２　公文書館の名称、内部組織及び位置は、次のとおりとする。

名　　称	内 部 組 織	位　　置
沖縄県公文書館	総　務　課	南　風　原　町
	資　料　課	

追加〔平成７年規則15号〕

（所掌事務）

第125 条の５　公文書館の所掌事務は、次のとおりとする。

(1)　公文書等の収集、整理及び保存に関すること。

(2)　公文書等の閲覧、展示その他の利用に関すること。

(3)　公文書等の調査及び研究に関すること。

(4)　公文書等についての専門的知識の普及啓発に関すること。

(5)　公文書等の目録、史誌、資料集等の編さん及び刊行に関すること。

(6)　その他公文書館の設置の目的を達成するために必要な業務に関すること。

追加〔平成７年規則15号〕

○ 沖縄県文書編集保存規定

（昭和49年11月10日
訓 令 第 38 号）

〔沿革〕　昭和60年12月24日訓令第38号、平成８年３月31日第18号、９年３月４日第１号改正

知　事　部　局

文書編さん保存規定を次のように定める。

沖縄県文書編集保存規定

目次

第１章　総則（第１条・第２条）……221
第２章　本庁（第３条―第17条）……221
第３章　出先機関（第18条）……245
附則……245

第１章　総則

（趣旨）

第１条　この訓令は、文書の編集及び保存について必要な事項を定めるものとする。

（文書）

第２条　この訓令で「文書」とは、県に所属する公文書、図書、簿冊、官報、県公報その他の公用文書をいう。

第２章　本庁

（文書の保存及び保管）

第３条　文書の保存は、文書学事課において行い、文書保存管理室に収蔵する。ただし、保存期間が１年のものについては、各課（室を含む。以下「主管課」という。）において保管する。

２　第14条第３項に規定する保存期間を延長した文書のうち、第１種文書については、公文書館において保存するものとする。

（文書保存管理主任）

第４条　文書学事課に文書保存管理主任（以下「管理主任」という。）を置き、文書担当の課長補佐を充てる。

（業務）

第５条　管理主任は、次の業務を行う。

⑴　文書保存管理室の管理運営に関すること。

⑵　保存文書の編集事務の指導に関すること。

（保存期間）

第６条　文書の保存期間は、法令に特別の定めがあるもののほか、次の５種とし、その区分基準は、別表に定めるところによる。

第１種　20年保存

第２種　10年保存

第３種　５年保存

第４種　３年保存

第５種　１年保存

（保存期間の計算）

第７条　文書の保存期間は、年度により整理するものは処理完結の日の属する年度の翌年度の初日から、暦年により整理するものは処理完結の日の属する年の翌年の初日から起算する。

（文書分類表等）

第８条　主管課の長（以下「主管課長」という。）は、別表に掲げる基準に基づき文書分類表を定めなければならない。ただし、共通文書分類表については、文書学事課長が定めるものとする。

２　主管課長は、文書分類表を定め、又はその内容を変更しようとするときは、文書学事課長に合議するものとする。

３　主管課長は、文書分類表を定め、又はその内容を変更したときは、当該文書分類表（変更の場合は、その変更に係る部分に限る。）の写し１部を文書学事課長に送付しなければならない。

４　第１項の文書分類表及び共通文書分類表は、第１号様式によるものとする。

（完結文書の編集）

第９条　文書が完結したときは、次の各号に定めるところにより、部局の庶務担当課の長（以下「文書主管課長」という。）の指示にしたがい編集するものとする。

(1)　完結文書は、文書管理規程（昭和49年沖縄県訓令第37号）第12条の文書年度ごとに編集すること。

(2)　文書の編集は、前条第１項の文書分類表及び共通文書分類表によるものとし、完結年月日の古いものを最上位にして月日の順に、同一事案の文書については、初回の回議文書を最上位に置き、他は往復月日順にその下に編集すること。

(3)　事件が２年以上にわたる文書は、最も新しい文書の日付に属する年に編集すること。

(4)　２以上の類名に関係がある文書は、最も関係の深い類名に編集し、他の類名にその旨を表示すること。

(5)　種別を異にする文書を一緒に編集するときは、長期の種別の文書に編集すること。

(6)　３年以上保存する文書は、索引目次をつけること。

(7)　枚数の関係で３年以上の文書を同じ文書保存箱（第２号様式）に入れる場合は区分紙を入れて年度の区別を明らかにすること。

(8)　枚数の関係で分納する必要のあるときは、文書保存箱に分納したことを表示すること。

２　図面、図書その他規格又は厚みの関係で文書保存箱に納めることができないものは、適宜、箱若しくは紙袋に入れ又は結束する等の方法で別に処理することができる。この場合には、管理主任の承認を得るものとする。

（文書の引継ぎ）

第10条　主管課長は、前条の手続を経た完結文書を、その完結の日の属する年度の翌年度（暦年により整理するものは、処理完結の日の属する年の翌年）の初日から起算して１年間当該課において保管したあと、第５種の文書を除き、文書主管課長を経由して文書学事課長に引き継ぐものとする。

2　主管課長は、文書の引継ぎに当たって、文書引継目録（第3号様式）を4部作成し、文書主管課長に1部、文書学事課長に2部提出するとともに、文書保存箱に1部を収納するものとする。

3　主管課長は、引継文書について、保存文書票（第4号様式）を作成し、文書学事課長に提出しなければならない。

4　主管課長は、第1項の規程にかかわらず、秘密文書その他事務処理上特に必要な文書を、その必要とする期間に限り、別に保管することができる。

5　文書学事課長は、第1項から第3項までの規定によって引継ぎを受けた文書のうち、保存に当を得ないもの又はその内容に不備があるものは、主管課長に対し、その補正を求めることができる。

（文書保存箱）

第11条　完結文書の保存は、文書保存箱によって行うものとする。ただし、管理主任が必要と認める場合は別の方法により保存することができる。

（借覧、閲覧）

第12条　職員は、文書学事課文書保存管理室に保存する文書（以下「保存文書」という。）を借覧又は閲覧しようとするときは、文書借覧簿（第5号様式）又は文書閲覧簿（第6号様式）に所要事項を記入し、管理主任の承認を受けなければならない。

2　借覧期間は、5日以内とする。ただし、やむを得ない理由があるときは、管理主任の承認を受けて延長することができる。

3　管理主任は、借覧期間内にあっても、必要があると認めるときは、借覧文書の返還を求めることができる。

4　借覧文書は、転貸し、又は庁外に持出してはならない。ただし、やむを得ない理由により、あらかじめ管理主任の承認を受けたときは、この限りでない。

5　借覧文書を破損又は紛失したときは、直ちに管理主任に届け出てその指示を受けなければならない。

6　借覧文書は、抜取り、取換え、追補、訂正等をしてはならない。

（保存文書の廃棄決定等）

第13条　文書学事課長は、保存期間の満了した保存文書について、主管課長と協議の上、廃棄の決定をしなければならない。

2　文書学事課長は、前項の規定により廃棄の決定をした文書について、知事が別に定めるものを除き、公文書館長に引き渡さなければならない。

3　保存期間の満了した文書であって、なお保存する必要があると認められるものについて、主管課長は、文書学事課長と協議して、その保存期間を延長することができる。

（各課保管文書の廃棄決定等）

第14条　主管課長は、保存期間の満了した主管課保管の文書について、廃棄の決定を行い、文書学事課長と協議の上、保管文書引渡書（第7号様式）を添えて、知事が別に定めるものを除き、公文書館長に引き渡さなければならない。ただし、第3条第1項ただし書に規定する保管文書については、この限りでない。

（文書の廃棄）

第15条　前２条の規定により、廃棄の決定を行った文書のうち、公文書館長への引き渡しを要しない文書は、保存文書にあっては文書学事課長が、各課保存文書にあっては主管課長がそれぞれ廃棄するものとする。

２　文書を廃棄する場合には、焼却、裁断等他に利用されるおそれのないような方法で処理するものとする。

（保存文書の表記）

第16条　管理主任は、文書保存管理室の書架に収蔵してある保存文書の所在がわかるように、その保存文書の分類、保存期間を表記しておかなければならない。

（冊数等の点検）

第17条　管理主任は、定期的に保存文書を保存文書票及び文書引継目録と照合し、その冊数等を点検しなければならない。

第３章　出先機関

（出先機関における取扱い）

第18条　出先機関における文書の保存は、各出先機関において行うものとする。

２　保存文書の編集、管理等については、本庁に準じて処理するものとする。ただし、これにより難いときは、文書主管課長の指示にしたがうものとする。

附　則

１　この訓令は、昭和49年12月１日から施行する。

２　第３条の規定にかかわらず、文書保存管理室において保存する文書は、当分の間文書学事課長が定めるものとする。

附　則（昭和60年12月24日訓令第38号）

１　この訓令は、昭和60年12月24日から施行する。

２　改正前の文書編さん保存規程に定める第２号様式から第４号様式まで、第７号様式及び第８号様式による用紙は、当分の間、所要の調整をして使用することができる。

沖縄県公文書館県政文書収集基準

県政文書とは、沖縄県が廃藩置県以降に作成または取得した公文書等をいう。公文書館長は、次の各号に掲げる基準に該当しない県政文書を収集することとする。ただし、昭和20年以前に作成されたものにあってはこの限りではない。

1　庶務及び予算経理等の日常業務を遂行していく過程で作成される次の各号に掲げる文書

(1)　調定調書、予算執行伺、支出負担行為、支出命令等の歳入・歳出に関する文書及び帳簿

(2)　給与及び地共済関係書類およびその電算報告書

(3)　文書件名簿

(4)　出勤簿、有給休暇簿、職務専念義務免除簿、欠勤簿

(5)　旅行命令（依頼）簿

(6)　超過勤務命令簿、特殊勤務命令簿

(7)　各種手当の認定簿

(8)　嘱託員、賃金の雇用手続に関する書類

(9)　物品及び切手等の受払簿、被服貸与簿

(10)　研修に関する書類

(11)　車両運行日誌、車両修繕簿、車両燃料記録簿

(12)　扶助費の請求に関する書類

(13)　定期監査調書

(14)　公有財産及び備品に関する台帳及び報告書

(15)　その他の文書で前各号に準ずる文書

2　行政刊行物を作成する基礎資料となった文書で、行政刊行物にその内容が反映されている、次の各号に掲げるような文書

(1)　予算概算要求書及び関連資料

(2)　決算書作成の基礎となった資料

(3)　重点施策、主要施策報告書その他これらに準ずる文書の作成の基礎となった文書及び資料（主管課が保存していたものを除く）

3　出先機関等に保存されている文書のうち、その機関が作成し本庁に送付済みである、次に掲げるような文書

(1)　補助金の交付申請書及び実績報告書

(2)　国及びその他の公共団体からの照会等に対する回答文書

(3)　その他主管課に対して行っている報告書

4　国及び本庁からの通知文書（原本を除く）

沖縄県公文書館運営懇話会設置要綱

（設置）

第１条　沖縄県公文書館（以下「公文書館」という。）の機能の充実、利用の促進等を図るため、沖縄県公文書館運営懇話会（以下「懇話会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第２条　懇話会は、次の各号に掲げる事項について、沖縄県公文書館長に対して意見を述べるものとする。

(1)　公文書館の運営に必要な情報の収集、提供に関する事項

(2)　公文書館の資料の収集、整理及び閲覧に関すること

(3)　その他公文書館に関すること

（組織）

第３条　懇話会の委員（以下「委員」という。）は、15人以内で組織する。

（委員）

第４条　委員は、県民、学識経験者及び関係団体職員の中から知事が依頼する。

2　委員の任期は、２年とする。ただし、再任を妨げない。

3　委員に、欠員が生じた場合の補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

（会長及び副会長）

第５条　懇話会に、会長及び副会長を置く。

2　会長は、委員の互選により定め、副会長は委員の中から会長が指名する者をもって充てる。

3　会長は、懇話会の会務を総理し、懇話会を代表する。

4　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第６条　懇話会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長が議長となる。

2　会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3　会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4　会議は、関係者の意見を聞くことができる。

（庶務）

第７条　懇話会の庶務は、公文書館において処理する。

（その他）

第８条　この要綱に定めるもののほか、懇話会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附　則

1　この要綱は、平成７年10月27日から施行する。

財団法人沖縄県文化振興会組織規程

（目的）

第１条　この規程は、財団法人沖縄県文化振興会（以下「財団」という。）の事務を適正かつ能率的に遂行するために必要な組織、職制及び事務の分掌を定めることを目的とする。

（組織）

第２条　財団の事務を処理するため、事務局を置く。

２　事務局に次の部、課及び室を置く。

部	課及び室
文化振興部	総務課
	文化事業課
公文書館管理部	公文書館総務課
	公文書館資料第１課
	公文書館資料第２課
	史料編集室

（課の所掌事務）

第３条　総務課の所掌事務は、次のとおりとする。

⑴　財団及び文化振興部の庶務及び人事に関すること。

⑵　寄附行為その他諸規程の立案に関すること。

⑶　財団及び文化振興部の事業計画に関すること。

⑷　財団及び文化振興部の予算、決算その他財務に関すること。

⑸　職員の給与及び手当等に関すること。

⑹　職員の福利厚生に関すること。

⑺　理事会に関すること。

⑻　文化振興基金に関すること。

⑼　前各号に掲げるもののほか、他課室等の所掌に属さない事務に関すること。

２　文化事業課の所掌事務は、次のとおりとする。

⑴　自主企画事業に関すること。

⑵　支援及び助成事業に関すること。

⑶　受託事業に関すること。

⑷　その他財団の目的達成に必要な事業に関すること。

3　公文書館総務課の所掌事務は、次のとおりとする。

(1)　公文書館管理部の庶務及び人事に関すること。

(2)　公文書館管理部の予算、決算その他財務に関すること。

(3)　その他公文書館管理部の事務に関すること。

4　公文書館資料第1課の所掌事務は、次のとおりとする。

(1)　沖縄県政文書（移管文書）の収集及び整理に関すること。

(2)　档案及び漢文資料の収集及び整理に関すること。

(3)　古文書、地域資料、行政刊行物、音声・映像資料の収集及び整理に関すること。

(4)　公文書等の修復及び薫蒸に関すること。

(5)　公文書等のマイクロ撮影に関すること。

(6)　刊行物の発行、特別展、講演会及び公開講座の企画に関すること。

5　公文書館資料第2課の所掌事務は、次のとおりとする。

(1)　琉球政府文書の整理に関すること。

(2)　ユースカー文書の収集及び整理に関すること。

6　史料編集室の所掌事務は、次のとおりとする。

(1)　琉球歴史及び沖縄県史の収集、編集及び発行に関すること。

(2)　琉球歴史及び沖縄県史の史料の調査研究及び史料の活用に関すること。

（職制）

第４条　次の表の左欄に掲げる職を、それぞれ同表の中欄に掲げる組織に置き、その職務は、それぞれ上司の命令を受けて同表の右欄に掲げるとおりとする。

職　　名	組　織	職　　務
参　事　監	財　団	上司の命を受けて特定重要事項を処理する。
事　務　局　長	事　務　局	事務局の事務を掌理し、職員を指揮難得監督する。
参　　事	財　団	上司の命を受けて重要事項を処理する。
部　　長	部	部の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副　参　事	部	部の特定重要事項を処理し、職員の担任事務を整理する。
室　　長	室	室の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
課　　長	課	課の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
主　　幹	課　、　室	課又は室の特定事項を処理する。
主任専門員	室	上司の命を受け、担任業務を分掌する。
主　　査	課　、　室	課又は室の特定事務を分掌する。
公文書主任専門員	課	公文書等の記録の収集、整理及び調査研究に関する特定業務分掌する。
公文書専門員	課	公文書等の記録の収集、整理及び調査研究に関すること。
修　復　士	課	公文書等の記録の修復及び保存に関する業務に従事する。
専　門　員	室	上司の命を受け、専門的事務に従事する。
副　主　査	課　、　室	課又は室の担任業務を分掌する。
主　　任	課　、　室	事務及び技術に関する一般業務を分掌する。
主　　事	課　、　室	一般的な事務を処理する。

（細則）

第５条　この規程に定めるもののほか、必要な事項は、理事長が別に定める。

附　則

この規程は、理事会の承認があった日から施行し、平成５年３月８日から適用する。

附　則

この規程は、理事会の承認があった日から施行し、平成８年４月１日から適用する。

附　則

この規程は、理事会の承認があった日から施行し、平成９年４月１日から適用する。

財団法人沖縄県文化振興会事務決裁規程

（目的）

第１条　この規程は、財団法人沖縄県文化振興会の理事長の権限に属する事務の決裁について責任の所在を明確にし、合理的かつ能率的な事務処理を図るために必要な事項を定めることを目的とする。

（定義）

第２条　この規程において、「専決」とは、理事長の権限に属する事務を常時理事長に代わって決裁することをいう。

２　この規程において、「代決」とは、決裁について権限を有する者（以下「決裁者」という。）が不在の場合において、あらかじめ認められた範囲内で他の者が決裁者に代わって決裁することをいう。

（理事長決裁）

第３条　理事長の決裁を受けなければならない事項は、別表のとおりとする。

（専決）

第４条　常務理事、事務局長、部長及び課長（室長）は、別表に定めるところにより専決することができる。

（類推による専決）

第５条　この規程に専決することができる事項として定めてないものであっても、事務の内容により専決することが適当と類推できるものは、別表の定めに準じて専決することができる。

（重要事項の専決留保）

第６条　第４条の規定により専決できる者は、その専決に属する事務が次の各号の一に該当するときは、上司の決裁を受けなければならない。

⑴　事案の内容が重要であると認められるとき。

⑵　取扱い上異例に属し、又は先例になると認められるとき。

⑶　疑義若しくは重大な紛争があるとき、又は処理の結果重大な紛争が生ずるおそれがあると認められるとき。

⑷　あらかじめその処理について、特に上司の指示をうけたとき。

（代決）

第７条　決裁権者が不在であるときは、次の表に掲げる決裁区分に対応する第１位代決者が、決裁者及び第１位決裁者がともに不在であるときは、同表に掲げる第２位代決者がそれぞれ代決することができる。ただし、第２位代決者による代決は、事務の内容が急施を要すると認められたものに限る。

決　裁　者	第　1　位　代　決　者	第　2　位　代　決　者
理　事　長	副　理　事　長	常　務　理　事
常務理事	事　務　局　長	文　化　振　興　部　長
事務局長	文　化　振　興　部　長	総　務　課　長
部　　長	部長があらかじめ指定した課（室）長	部長があらかじめ指定した左欄の課長以外の課（室）長
課（室）長	課（室）長があらかじめ指定した者	

（代決の禁止）

第8条　前条の規定にかかわらず、事案が次の各号の一に該当するものであるときは、代決することができない。ただし、上司の指示を受けて処理することができるものについては、この限りでない。

(1)　事案の重要度及び緊急度を衡量して緊急に実施する必要がないと認められるもの。

(2)　新たな計画に関するもの。

(3)　上司があらかじめ代決の禁止について指示したもの。

（報告及び後閲）

第9条　専決を行った者は、専決した事務のうち特に上司において了知しておく必要があると認められるものについては、適宜その内容を整理して上司に報告しなければならない。

2　代決を行った者は、代決した事務の関係書類等を決裁者が不在でなくなったときは速やかに自ら後閲に供し、又は、起案者に対して後閲に供するよう指示しなければならない。

（処務要領）

第10条　部長は、担当する事務の処理に関し、必要な事項について処務要領を定めることができる。

附　則

この規程は、理事会の承認のあった日から施行し、平成5年3月8日から適用する。

附　則

1　この規程は、理事会の承認のあった日から施行し、平成8年4月1日から適用する。

2　別表に規定する常務理事の決裁事項及び事務局長の決裁事項のうち、公文書館管理部に係る決裁事項については、別表の規定にかかわらず、当分の間、公文書館業務担当理事が決裁するものとする。

別表（第３条・第４条関係）

理事長の決裁事項

(1) 理事会の招集に関すること。

(2) 職員の任命、分限、懲戒及び賞罰に関すること。

(3) 常務理事の出張命令に関すること。

(4) 常務理事の休暇、欠勤その他服務に関すること。

(5) その他特に重要若しくは異例又は疑義の事項で、理事長のおいて了知しておく必要のあるものの処理及び報告の受理に関すること。

常務理事の専決事項

(1) 事業計画及び実施方針の決定並びに変更に関すること。

(2) 予算及び決算に関すること。

(3) 寄附行為の変更及び諸規程の改廃に関すること。

(4) １件の金額1,000万円以上の予算執行に関すること。

(5) 県、その他団体からの業務の受託に関すること。

(6) 重要な通知、報告、回答、申請及び届出の処理に関すること。

(7) 事務局長の出張命令に関すること。

(8) 事務局長の休暇、欠勤その他服務に関すること。

(9) その他前各号に準ずる事項に関すること。

事務局長の専決事項

(1) 職員の退職手当の承認に関すること。

(2) 嘱託職員の委嘱及び解職に関すること。

(3) １件の金額100万円以上1,000万円未満の予算執行に関すること。

(4) 予算の中科目以下の流用承認に関すること。

(5) 部長の出張命令に関すること。

(6) 部長の休暇、欠勤その他の服務に関すること。

(7) その他前各号に準ずる事項に関すること。

部長及び室長の専決事項

(1) 軽易な事業計画及び実施方針の決定並びに変更に関すること

(2) 軽易な通知、照会、申請及び届出の処理に関すること。

(3) １件の金額100万円未満の契約及び予算執行に関すること。

(4) 課（室）長の出張命令に関すること。

(5) 課（室）長の休暇、欠勤その他の服務に関すること。

(6)　賃金職員の任免に関すること。

(7)　その他前各号に準ずる事項に関すること。

課長の専決事項

(1)　職員の出張命令に関すること。

(2)　職員の休暇、欠勤その他の服務に関すること。

(3)　職員の勤務時間に関すること。

(4)　職員の時間外勤務及び休日勤務に関すること。

(5)　職員の勤務を要しない日の指定に関すること。

(6)　その他前各号に準ずる事項に関すること。

沖縄県公文書館年報　第１号

（平成７年度～平成９年度）

平成11年３月31日　発行

編集：沖縄県文化振興会公文書館管理部

〒901－1105　沖縄県南風原町字新川148－3

TEL　098（888）3875

発行：沖縄県公文書館

印刷：有限会社　平 山 印 刷

〒901－1111　沖縄県南風原町字兼城270－1

TEL　098（889）8748